質問紙調査

令和２年度

まちづくりに関する町民アンケート

報告書

第5次最上町総合計画策定調査事業

令和２年９月

最上町

目　次

◆調査の概要　*1p*
◆調査の方法　*2p*
◆回答者の属性　*3p*
1.性別 ---------- 3p
2.年代別 ---------- 5p
3.居住区別 ---------- 7p
4.世帯構成別 ---------- 9p
5.就業形態別 ---------- 11p
6.業種別 ---------- 13p
7.居住年数別 ---------- 15p
◆施策に関する満足度と重要度について　*17p*
8.最上町の取り組みに対する満足度と重要度について ----- 17p
A 人にやさしいまちづくり ---------- 17p
B 食にやさしいまちづくり ---------- 21p
C 環境にやさしいまちづくり ---------- 23p
D 持続から発展のまちづくり ---------- 25p
●評価区分 ---------- 27p
総括 ---------- 28p
●満足度と重要度のランキング ---------- 28p
●グラフおよび総括 ---------- 30p
●評価区分 ---------- 33p
◆最上町について　*34p*
9.最上町に対する愛着 ---------- 34p
10.居住継続の意向 ---------- 37p
11.住み続けたくない理由 ---------- 40p
12.日常的に感じる不安 ---------- 43p
13.町政への関心 ---------- 46p
14.重点的に取り組むべき施策 ---------- 49p
◆その他の意見、自由記述　*53p*

◆ 調査の概要

Ⅰ. 目的

第５次総合計画の策定にあたり、現行計画の公平かつ客観的な総括にむけた一助とするために、町民を対象にしたアンケート調査を実施し、まちづくりの評価と今後における対決すべき課題を明らかにすることを目的とする。

Ⅱ. 対象者

① 調査対象

・本町在住の１８歳以上の町民１，６００人

※住民基本台帳からの多段階（①男女比②年齢比；10 歳区分③地域比）による無作為抽出とする。

※９５％有意性を確保。

② 調査方法

・留置き法

③ 調査日程

・配布日・・２０２０年　７月　　６日

・締切日・・２０２０年　７月　２２日

Ⅲ. 回収数

	標本数	回収数	回収率(%)
総数	1,600	681	42.6
男性	808	303	37.5
女性	792	349	44.1
18-29歳	171	43	25.1
30-39歳	220	71	32.3
40-49歳	250	83	33.2
50-59歳	269	119	44.2
60-69歳	324	171	52.8
70-79歳	211	115	54.5
80歳以上	155	59	38.1

Ⅳ. 調査項目

① 回答者の属性について

② 施策に関する満足度と重要度について

③ 最上町について

④ その他の意見、自由記述

◆ 調査の方法

Ⅰ. 集計・分析

単純集計及びクロス集計の双方を用いる。

《クロス集計》

・性別、年代別、居住区別、世帯構成別、就業形態別、業種別、居住年数別の属性に応じて行う。

《満足度と重要度について》

・満足度の重み付けは、そう思う＝100、ややそう思う＝67、
あまり思わない＝33、思わない・分からない＝0　とする。

【得点】 ＝ 重み付け後の１～５の総和 / 回答者総数（－不明・無回答者数）

・満足度と影響度の相関関係を指標化し、改善すべき点を明確にする。

Ⅱ. 留意事項

●アンケート標本数に関して、属性についての回答がないものが１９件あった。
集計・分析の関係上、１９件を除いた６６２件を有効回答とし集計を行った。
また、集計から除いた１９件の記述回答に関しては、有効としている。

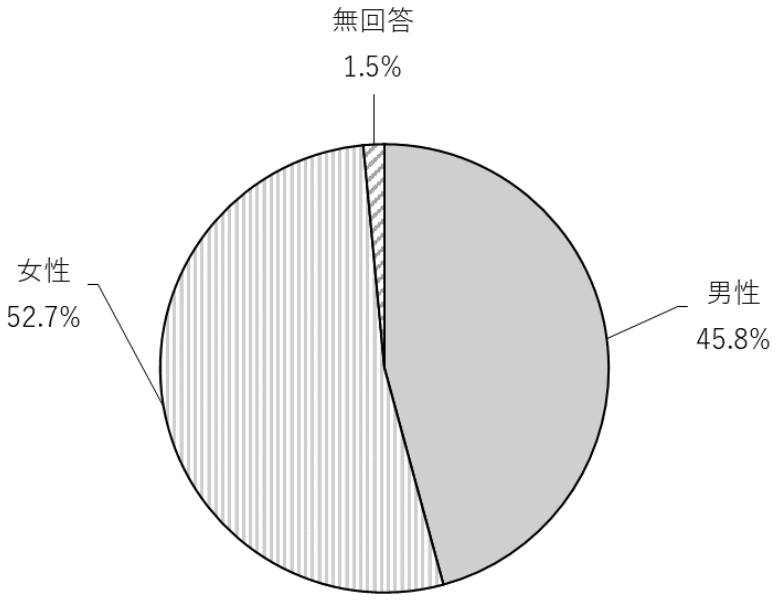
●アンケートの属性に関して、「業種」の回答数は、「無職」を除いた人数を示しており、全体の人数６６２人に対し、４６７人となっている。

●回答結果に関して、構成比は小数点以下第２位を四捨五入、重み付け後の得点は小数点以下第４位を四捨五入し算出。

●グラフ中の「N」とは、Number of Cases の略であり、各設問に該当する回答者総数を表す。複数回答の設問の場合は、「N」に対する各選択肢の回答者数を示す。

◆ 回答者の属性について

１．性　別



N＝662

・全体では、女性が男性より数パーセント多く占めているものの、男女割合はほぼ半数となっている。

・年齢別では、30 代において、女性が男性より 20 ポイントほど高くなっている。

・居住区別では、男女割合はほぼ半数となっているが、旧瀬見小学校区では女性の割合が男性より 30 ポイント以上高くなっている。

・世帯構成別では、「夫婦のみ」「こどもと同居」「その他」では、女性の割合が男性を 10 ポイント以上高い傾向がみられた。

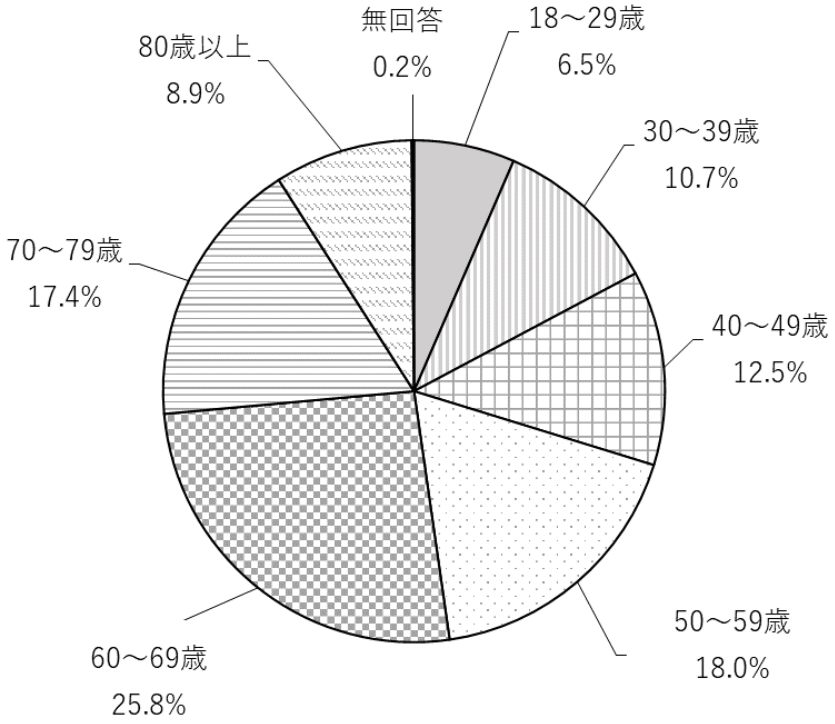
・就業形態別では、経営者が男性の割合が高い一方、臨時雇用および無職では女性が男性より高くなっている。

・業種別では、1 次・2 次産業で男性の割合が高い一方、3 次産業では女性の割合が高くなっている。

・居住年数別では、10 年未満は女性が 8 割、10～30 年では 6 割を占めている。

区分	性別	全体		男性		女性		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
		662	100.0%	303	45.8%	349	52.7%	10	1.5%
年齢	18～29歳	43	100.0%	20	46.5%	22	51.2%	1	5.0%
	30～39歳	71	100.0%	21	29.6%	49	69.0%	1	4.8%
	40～49歳	83	100.0%	36	43.4%	47	56.6%	0	0.0%
	50～59歳	119	100.0%	62	52.1%	55	46.2%	2	3.2%
	60～69歳	171	100.0%	77	45.0%	93	54.4%	1	1.3%
	70～79歳	115	100.0%	59	51.3%	56	48.7%	0	0.0%
	80歳以上	59	100.0%	28	47.5%	26	44.1%	5	8.5%
	無回答	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%
居住区	旧富沢小学校区	80	100.0%	37	46.3%	40	50.0%	3	8.1%
	旧赤倉小学校区	39	100.0%	22	56.4%	17	43.6%	0	0.0%
	旧向町小学校区	237	100.0%	106	44.7%	128	54.0%	3	2.8%
	旧満沢小学校区	28	100.0%	12	42.9%	14	50.0%	2	16.7%
	旧東法田小学校区	30	100.0%	13	43.3%	17	56.7%	0	0.0%
	旧月楯小学校区	36	100.0%	16	44.4%	19	52.8%	1	6.3%
	旧大堀小学校区	183	100.0%	87	47.5%	95	51.9%	1	1.1%
	旧瀬見小学校区	22	100.0%	7	31.8%	15	68.2%	0	0.0%
	無回答	7	100.0%	3	42.9%	4	57.1%	0	0.0%
世帯構成	単身	28	100.0%	14	50.0%	13	46.4%	1	7.1%
	夫婦のみ	122	100.0%	54	44.3%	68	55.7%	0	0.0%
	子どもと同居	168	100.0%	68	40.5%	93	55.4%	7	10.3%
	親と同居	131	100.0%	66	50.4%	65	49.6%	0	0.0%
	子どもと親と三世代同居	173	100.0%	86	49.7%	86	49.7%	1	1.2%
	その他	36	100.0%	14	38.9%	21	58.3%	1	7.1%
	無回答	4	100.0%	1	25.0%	3	75.0%	0	0.0%
就業形態	経営者（自営業を含む）	132	100.0%	94	71.2%	37	28.0%	1	1.1%
	常時雇用	250	100.0%	133	53.2%	116	46.4%	1	0.8%
	臨時雇用（パートを含む）	85	100.0%	12	14.1%	71	83.5%	2	16.7%
	無職	185	100.0%	58	31.4%	121	65.4%	6	10.3%
	無回答	10	100.0%	6	60.0%	4	40.0%	0	0.0%
業種	第１次産業（農林水産業）	75	100.0%	56	74.7%	19	25.3%	0	0.0%
	第2次産業（製造業、建設業、砕石業等）	132	100.0%	88	66.7%	43	32.6%	1	1.1%
	第3次産業（小売・卸売業、サービス業、公務）	232	100.0%	84	36.2%	145	62.5%	3	3.6%
	無回答	28	100.0%	11	39.3%	17	60.7%	0	0.0%
居住年数	5年未満	17	100.0%	2	11.8%	14	82.4%	1	50.0%
	5～９年	17	100.0%	3	17.6%	14	82.4%	0	0.0%
	１０～１９年	31	100.0%	11	35.5%	20	64.5%	0	0.0%
	２０～２９年	67	100.0%	22	32.8%	44	65.7%	1	4.5%
	３０年以上	528	100.0%	265	50.2%	256	48.5%	7	2.6%
	無回答	2	100.0%	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%

２．年 代 別



N＝662

・全体では、60 代が 25.8%と最も多く、次いで 50 代 18.0%、70 代が 17.4%となっている。

・性別では、30 代、40 代、60 代では女性の割合が男性より高く、一方、70 代以上になると男性の割合が高くなっている。

・居住区別では、いずれの居住区においても、50～60 代の割合が高くなっており、30 歳未満では富沢・満沢・東法田旧小学校区で、他地区より割合が高くなっている。

・世帯構成別では、子供と親と三世代同居は 40 代の割合が高く、親と同居では、50 代・単身・夫婦のみ・その他では、60 代の割合が高くなっている。

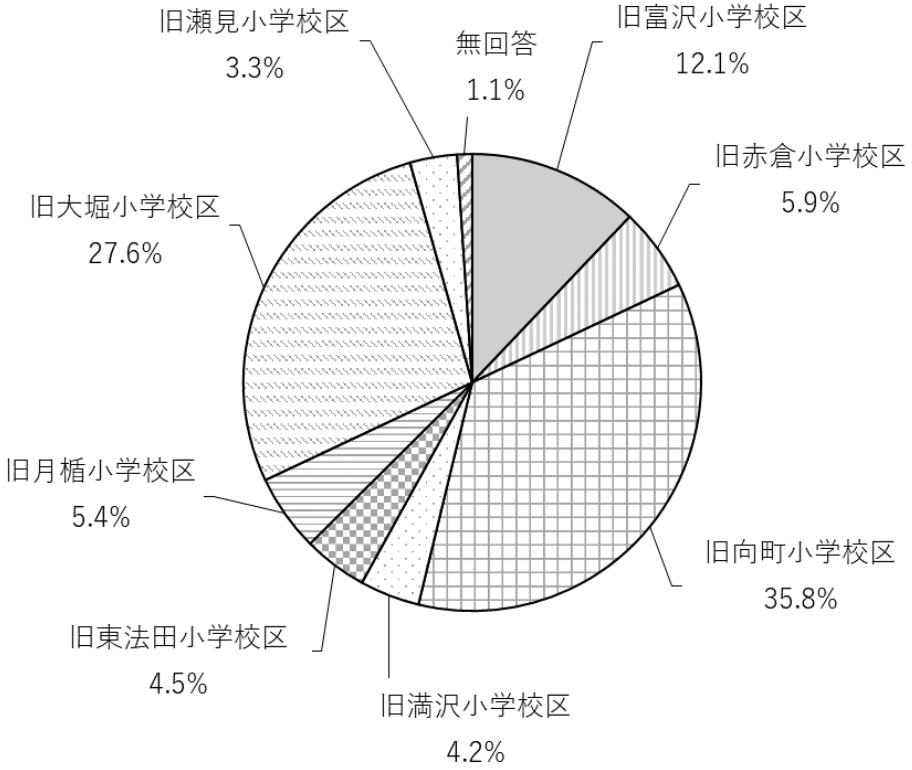
・就業形態別では、経営者および臨時雇用で 60 代の割合が高く、常用雇用は 50 代、無職は 70 代以上で高くなっている。

・業種別では、1 次・2 次産業で 60 代の割合が多く、3 次産業は 50 代で高くなっている。

・居住年数別では、5～9 年では 30 代の割合が最も高く、10～19 年では 40 代、20～29 年では 20 代、30 年以上では 60 代以上の割合がそれぞれ高くなっている。

区分	年齢	全体		18～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳以上		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
		662	100.0%	43	6.5%	71	10.7%	83	12.5%	119	18.0%	171	25.8%	115	17.4%	59	8.9%	1	0.2%
性別	男性	303	100.0%	20	6.6%	21	6.9%	36	11.9%	62	20.5%	77	25.4%	59	19.5%	28	9.2%	0	0.0%
	女性	349	100.0%	22	6.3%	49	14.0%	47	13.5%	55	15.8%	93	26.6%	56	16.0%	26	7.4%	1	0.3%
	無回答	10	100.0%	1	10.0%	1	10.0%	0	0.0%	2	20.0%	1	10.0%	0	0.0%	5	50.0%	0	0.0%
居住区	旧富沢小学校区	80	100.0%	10	12.5%	7	8.8%	6	7.5%	18	22.5%	20	25.0%	13	16.3%	6	7.5%	0	0.0%
	旧赤倉小学校区	39	100.0%	1	2.6%	2	5.1%	7	17.9%	8	20.5%	13	33.3%	6	15.4%	2	5.1%	0	0.0%
	旧向町小学校区	237	100.0%	11	4.6%	29	12.2%	30	12.7%	37	15.6%	61	25.7%	42	17.7%	27	11.4%	0	0.0%
	旧満沢小学校区	28	100.0%	4	14.3%	2	7.1%	1	3.6%	8	28.6%	7	25.0%	3	10.7%	3	10.7%	0	0.0%
	旧東法田小学校区	30	100.0%	4	13.3%	2	6.7%	5	16.7%	5	16.7%	6	20.0%	6	20.0%	2	6.7%	0	0.0%
	旧月楯小学校区	36	100.0%	3	8.3%	2	5.6%	1	2.8%	9	25.0%	13	36.1%	7	19.4%	1	2.8%	0	0.0%
	旧大堀小学校区	183	100.0%	9	4.9%	23	12.6%	32	17.5%	28	15.3%	40	21.9%	34	18.6%	16	8.7%	1	0.5%
	旧瀬見小学校区	22	100.0%	1	4.5%	3	13.6%	0	0.0%	4	18.2%	9	40.9%	4	18.2%	1	4.5%	0	0.0%
	無回答	7	100.0%	0	0.0%	1	14.3%	1	14.3%	2	28.6%	2	28.6%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%
世帯構成	単身	28	100.0%	1	3.6%	1	3.6%	1	3.6%	4	14.3%	10	35.7%	7	25.0%	4	14.3%	0	0.0%
	夫婦のみ	122	100.0%	0	0.0%	1	0.8%	7	5.7%	13	10.7%	52	42.6%	40	32.8%	9	7.4%	0	0.0%
	子どもと同居	168	100.0%	2	1.2%	11	6.5%	16	9.5%	17	10.1%	43	25.6%	41	24.4%	37	22.0%	1	0.6%
	親と同居	131	100.0%	28	21.4%	21	16.0%	10	7.6%	41	31.3%	27	20.6%	4	3.1%	0	0.0%	0	0.0%
	子どもと親と三世代同居	173	100.0%	6	3.5%	33	19.1%	45	26.0%	41	23.7%	28	16.2%	16	9.2%	4	2.3%	0	0.0%
	その他	36	100.0%	6	16.7%	4	11.1%	4	11.1%	3	8.3%	11	30.6%	4	11.1%	4	11.1%	0	0.0%
	無回答	4	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	75.0%	1	25.0%	0	0.0%
就業形態	経営者（自営業を含む）	132	100.0%	0	0.0%	2	1.5%	13	9.8%	32	24.2%	43	32.6%	36	27.3%	6	4.5%	0	0.0%
	常時雇用	250	100.0%	32	12.8%	48	19.2%	50	20.0%	64	25.6%	46	18.4%	10	4.0%	0	0.0%	0	0.0%
	臨時雇用（パートを含む）	85	100.0%	4	4.7%	15	17.6%	11	12.9%	18	21.2%	26	30.6%	10	11.8%	1	1.2%	0	0.0%
	無職	185	100.0%	7	3.8%	5	2.7%	8	4.3%	5	2.7%	52	28.1%	56	30.3%	51	27.6%	1	0.5%
	無回答	10	100.0%	0	0.0%	1	10.0%	1	10.0%	0	0.0%	4	40.0%	3	30.0%	1	10.0%	0	0.0%
業種	第１次産業（農林水産業）	75	100.0%	3	4.0%	4	5.3%	5	6.7%	11	14.7%	28	37.3%	22	29.3%	2	2.7%	0	0.0%
	第2次産業（製造業、建設業、砕石業等）	132	100.0%	7	5.3%	18	13.6%	24	18.2%	32	24.2%	39	29.5%	11	8.3%	1	0.8%	0	0.0%
	第3次産業（小売・卸売業、サービス業、公務）	232	100.0%	22	9.5%	40	17.2%	41	17.7%	62	26.7%	44	19.0%	20	8.6%	3	1.3%	0	0.0%
	無回答	28	100.0%	4	14.3%	3	10.7%	4	14.3%	9	32.1%	4	14.3%	3	10.7%	1	3.6%	0	0.0%
居住年数	5年未満	17	100.0%	5	29.4%	8	47.1%	2	11.8%	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.9%
	5～９年	17	100.0%	0	0.0%	10	58.8%	4	23.5%	2	11.8%	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	１０～１９年	31	100.0%	6	19.4%	9	29.0%	11	35.5%	3	9.7%	1	3.2%	1	3.2%	0	0.0%	0	0.0%
	２０～２９年	67	100.0%	31	46.3%	4	6.0%	12	17.9%	12	17.9%	6	9.0%	2	3.0%	0	0.0%	0	0.0%
	３０年以上	528	100.0%	1	0.2%	39	7.4%	54	10.2%	101	19.1%	163	30.9%	112	21.2%	58	11.0%	0	0.0%
	無回答	2	100.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%

３．居 住 区 別



N＝662

・全体では、旧向町小学校区が 35.8%と最も割合が高く、次いで、旧大堀小学校区 27.6%、旧富沢小学校区 12.1%と続いた。

・性別では、ほぼ全体の傾向と同様の結果となっている。

・年齢別では、ほぼ全体の傾向と同様の結果となっているが、18～29 歳では富沢・向町・大堀の旧小学校区で、それぞれ 2 割を超えている。

・世帯構成別では、ほぼ全体の傾向と同様の結果となっているが、子どもと親と三世代同居では、向町・大堀の両旧小学校区で、それぞれ 3 割を超えている。

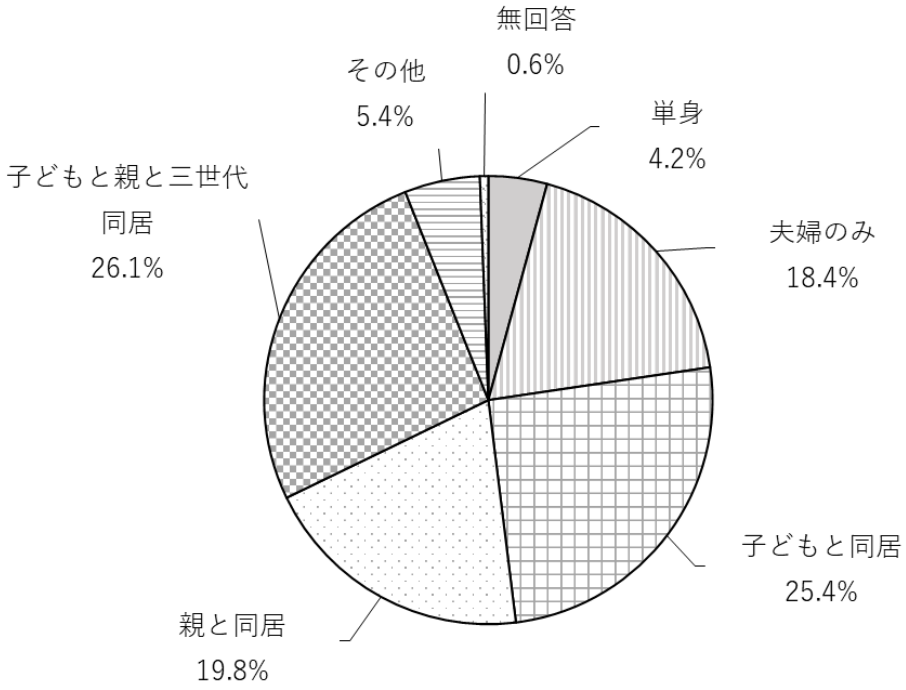
・就業形態別では、ほぼ全体の傾向と同様の結果となっている。

・業種別では、ほぼ全体の傾向と同様の結果となっているが、2 次産業に関しては旧向町小学校区より旧大堀小学校区の割合が高くなっている。

・居住年数別では、ほぼ全体の傾向と同様の結果となっている。

区分 ＼ 居住区		全体		旧富沢小学校区		旧赤倉小学校区		旧向町小学校区		旧満沢小学校区		旧東法田小学校区		旧月楯小学校区		旧大堀小学校区		旧瀬見小学校区		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
		662	100.0%	80	12.1%	39	5.9%	237	35.8%	28	4.2%	30	4.5%	36	5.4%	183	27.6%	22	3.3%	7	1.1%
性別	男性	303	100.0%	37	12.2%	22	7.3%	106	35.0%	12	4.0%	13	4.3%	16	5.3%	87	28.7%	7	2.3%	3	1.0%
	女性	349	100.0%	40	11.5%	17	4.9%	128	36.7%	14	4.0%	17	4.9%	19	5.4%	95	27.2%	15	4.3%	4	1.1%
	無回答	10	100.0%	3	30.0%	0	0.0%	3	30.0%	2	20.0%	0	0.0%	1	10.0%	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%
年齢	18～29歳	43	100.0%	10	23.3%	1	2.3%	11	25.6%	4	9.3%	4	9.3%	3	7.0%	9	20.9%	1	2.3%	0	0.0%
	30～39歳	71	100.0%	7	9.9%	2	2.8%	29	40.8%	2	2.8%	2	2.8%	2	2.8%	23	32.4%	3	4.2%	1	1.4%
	40～49歳	83	100.0%	6	7.2%	7	8.4%	30	36.1%	1	1.2%	5	6.0%	1	1.2%	32	38.6%	0	0.0%	1	1.2%
	50～59歳	119	100.0%	18	15.1%	8	6.7%	37	31.1%	8	6.7%	5	4.2%	9	7.6%	28	23.5%	4	3.4%	2	1.7%
	60～69歳	171	100.0%	20	11.7%	13	7.6%	61	35.7%	7	4.1%	6	3.5%	13	7.6%	40	23.4%	9	5.3%	2	1.2%
	70～79歳	115	100.0%	13	11.3%	6	5.2%	42	36.5%	3	2.6%	6	5.2%	7	6.1%	34	29.6%	4	3.5%	0	0.0%
	80歳以上	59	100.0%	6	10.2%	2	3.4%	27	45.8%	3	5.1%	2	3.4%	1	1.7%	16	27.1%	1	1.7%	1	1.7%
	無回答	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
世帯構成	単身	28	100.0%	4	14.3%	2	7.1%	9	32.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	28.6%	4	14.3%	1	3.6%
	夫婦のみ	122	100.0%	15	12.3%	7	5.7%	44	36.1%	5	4.1%	7	5.7%	9	7.4%	27	22.1%	6	4.9%	2	1.6%
	子どもと同居	168	100.0%	18	10.7%	9	5.4%	71	42.3%	6	3.6%	7	4.2%	6	3.6%	46	27.4%	2	1.2%	3	1.8%
	親と同居	131	100.0%	17	13.0%	12	9.2%	44	33.6%	8	6.1%	5	3.8%	9	6.9%	32	24.4%	4	3.1%	0	0.0%
	子どもと親と三世代同居	173	100.0%	22	12.7%	8	4.6%	53	30.6%	7	4.0%	9	5.2%	7	4.0%	61	35.3%	5	2.9%	1	0.6%
	その他	36	100.0%	3	8.3%	1	2.8%	14	38.9%	2	5.6%	2	5.6%	5	13.9%	8	22.2%	1	2.8%	0	0.0%
	無回答	4	100.0%	1	25.0%	0	0.0%	2	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%
就業形態	経営者（自営業を含む）	132	100.0%	18	13.6%	10	7.6%	45	34.1%	10	7.6%	7	5.3%	5	3.8%	30	22.7%	6	4.5%	1	0.8%
	常時雇用	250	100.0%	28	11.2%	17	6.8%	84	33.6%	9	3.6%	12	4.8%	14	5.6%	80	32.0%	4	1.6%	2	0.8%
	臨時雇用（パートを含む）	85	100.0%	10	11.8%	4	4.7%	30	35.3%	2	2.4%	4	4.7%	6	7.1%	24	28.2%	3	3.5%	2	2.4%
	無職	185	100.0%	24	13.0%	8	4.3%	74	40.0%	7	3.8%	6	3.2%	10	5.4%	45	24.3%	9	4.9%	2	1.1%
	無回答	10	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	40.0%	0	0.0%	1	10.0%	1	10.0%	4	40.0%	0	0.0%	0	0.0%
業種	第１次産業（農林水産業）	75	100.0%	14	18.7%	3	4.0%	23	30.7%	7	9.3%	5	6.7%	3	4.0%	20	26.7%	0	0.0%	0	0.0%
	第2次産業（製造業、建設業、砕石業等）	132	100.0%	12	9.1%	11	8.3%	37	28.0%	6	4.5%	5	3.8%	12	9.1%	45	34.1%	3	2.3%	1	0.8%
	第3次産業（小売・卸売業、サービス業、公務）	232	100.0%	28	12.1%	15	6.5%	94	40.5%	5	2.2%	11	4.7%	9	3.9%	60	25.9%	8	3.4%	2	0.9%
	無回答	28	100.0%	2	7.1%	2	7.1%	5	17.9%	3	10.7%	2	7.1%	1	3.6%	9	32.1%	2	7.1%	2	7.1%
居住年数	5年未満	17	100.0%	2	11.8%	1	5.9%	9	52.9%	1	5.9%	0	0.0%	1	5.9%	2	11.8%	1	5.9%	0	0.0%
	5～９年	17	100.0%	0	0.0%	2	11.8%	5	29.4%	1	5.9%	1	5.9%	1	5.9%	4	23.5%	1	5.9%	2	11.8%
	１０～１９年	31	100.0%	2	6.5%	1	3.2%	13	41.9%	1	3.2%	3	9.7%	2	6.5%	8	25.8%	0	0.0%	1	3.2%
	２０～２９年	67	100.0%	11	16.4%	4	6.0%	20	29.9%	5	7.5%	4	6.0%	4	6.0%	16	23.9%	2	3.0%	1	1.5%
	３０年以上	528	100.0%	65	12.3%	31	5.9%	190	36.0%	20	3.8%	22	4.2%	28	5.3%	151	28.6%	18	3.4%	3	0.6%
	無回答	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%

４．世 帯 構 成 別



N＝662

・全体では、子どもと親と三世代同居の割合が 26.1%と最も高く、次いで、子どもと同居の割合も 25.4%とほぼ同率となっており、以下、親と同居 19.8%、夫婦のみ 18.4%の順と続いた。

・性別では、男性が子どもと親と三世代同居の割合が高く、一方、女性では子どもと同居の割合が高くなっている。

・年齢別では、18～29 歳と 50 代が親と同居の割合が高く、30～40 代では、子どもと親と三世代同居、60 代で夫婦のみ、70 代以上で子どもと同居の割合がそれぞれ高くなっている。

・居住区別では、旧向町小学校区で子どもと同居の割合が高く、また、大堀・富沢・東法田の旧小学校区で子どもと親と三世代同居、赤倉・満沢・月楯の旧小学校区で親と同居、瀬見・月楯の旧小学校区で夫婦のみの割合が高くなっている。

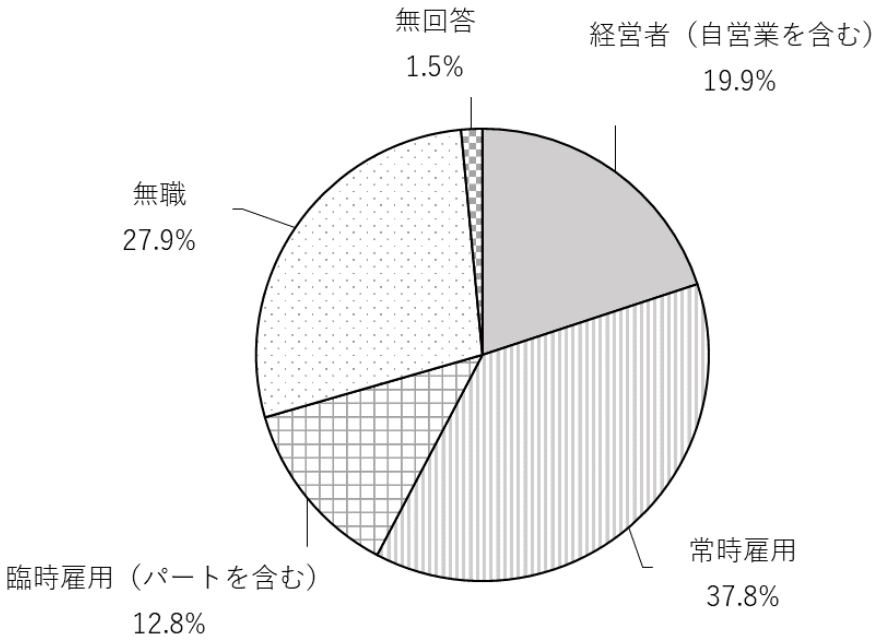
・就業形態別では、経営者・無職は子どもと同居している割合が高く、常用雇用は子どもと親と三世代同居、臨時雇用は親と同居の割合が高くなっている。

・業種別では、全ての業種において、子どもと親と三世代同居の割合が高くなっている。

・居住年数別では、5 年未満・30 年以上に、子どもと同居している割合が高く、5～19 年では子どもと親と三世代同居、20～29 年では親と同居の割合が高くなっている。

区分	世帯構成	全体		単身		夫婦のみ		子どもと同居		親と同居		子どもと親と三世代同居		その他		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
		662	100.0%	28	4.2%	122	18.4%	168	25.4%	131	19.8%	173	26.1%	36	5.4%	4	0.6%
性別	男性	303	100.0%	14	4.6%	54	17.8%	68	22.4%	66	21.8%	86	28.4%	14	4.6%	1	0.3%
	女性	349	100.0%	13	3.7%	68	19.5%	93	26.6%	65	18.6%	86	24.6%	21	6.0%	3	0.9%
	無回答	10	100.0%	1	10.0%	0	0.0%	7	70.0%	0	0.0%	1	10.0%	1	10.0%	0	0.0%
年齢	18～29歳	43	100.0%	1	2.3%	0	0.0%	2	4.7%	28	65.1%	6	14.0%	6	14.0%	0	0.0%
	30～39歳	71	100.0%	1	1.4%	1	1.4%	11	15.5%	21	29.6%	33	46.5%	4	5.6%	0	0.0%
	40～49歳	83	100.0%	1	1.2%	7	8.4%	16	19.3%	10	12.0%	45	54.2%	4	4.8%	0	0.0%
	50～59歳	119	100.0%	4	3.4%	13	10.9%	17	14.3%	41	34.5%	41	34.5%	3	2.5%	0	0.0%
	60～69歳	171	100.0%	10	5.8%	52	30.4%	43	25.1%	27	15.8%	28	16.4%	11	6.4%	0	0.0%
	70～79歳	115	100.0%	7	6.1%	40	34.8%	41	35.7%	4	3.5%	16	13.9%	4	3.5%	3	2.6%
	80歳以上	59	100.0%	4	6.8%	9	15.3%	37	62.7%	0	0.0%	4	6.8%	4	6.8%	1	1.7%
	無回答	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
居住区	旧富沢小学校区	80	100.0%	4	5.0%	15	18.8%	18	22.5%	17	21.3%	22	27.5%	3	3.8%	1	1.3%
	旧赤倉小学校区	39	100.0%	2	5.1%	7	17.9%	9	23.1%	12	30.8%	8	20.5%	1	2.6%	0	0.0%
	旧向町小学校区	237	100.0%	9	3.8%	44	18.6%	71	30.0%	44	18.6%	53	22.4%	14	5.9%	2	0.8%
	旧満沢小学校区	28	100.0%	0	0.0%	5	17.9%	6	21.4%	8	28.6%	7	25.0%	2	7.1%	0	0.0%
	旧東法田小学校区	30	100.0%	0	0.0%	7	23.3%	7	23.3%	5	16.7%	9	30.0%	2	6.7%	0	0.0%
	旧月楯小学校区	36	100.0%	0	0.0%	9	25.0%	6	16.7%	9	25.0%	7	19.4%	5	13.9%	0	0.0%
	旧大堀小学校区	183	100.0%	8	4.4%	27	14.8%	46	25.1%	32	17.5%	61	33.3%	8	4.4%	1	0.5%
	旧瀬見小学校区	22	100.0%	4	18.2%	6	27.3%	2	9.1%	4	18.2%	5	22.7%	1	4.5%	0	0.0%
	無回答	7	100.0%	1	14.3%	2	28.6%	3	42.9%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%
就業形態	経営者（自営業を含む）	132	100.0%	6	4.5%	33	25.0%	36	27.3%	19	14.4%	34	25.8%	2	1.5%	2	1.5%
	常時雇用	250	100.0%	3	1.2%	20	8.0%	41	16.4%	73	29.2%	98	39.2%	15	6.0%	0	0.0%
	臨時雇用（パートを含む）	85	100.0%	4	4.7%	16	18.8%	20	23.5%	24	28.2%	15	17.6%	6	7.1%	0	0.0%
	無職	185	100.0%	14	7.6%	49	26.5%	70	37.8%	14	7.6%	23	12.4%	13	7.0%	2	1.1%
	無回答	10	100.0%	1	10.0%	4	40.0%	1	10.0%	1	10.0%	3	30.0%	0	0.0%	0	0.0%
業種	第１次産業（農林水産業）	75	100.0%	1	1.3%	17	22.7%	20	26.7%	12	16.0%	22	29.3%	1	1.3%	2	2.7%
	第2次産業（製造業、建設業、砕石業等）	132	100.0%	3	2.3%	20	15.2%	23	17.4%	39	29.5%	41	31.1%	6	4.5%	0	0.0%
	第3次産業（小売・卸売業、サービス業、公務）	232	100.0%	7	3.0%	27	11.6%	49	21.1%	61	26.3%	72	31.0%	16	6.9%	0	0.0%
	無回答	28	100.0%	2	7.1%	5	17.9%	5	17.9%	4	14.3%	12	42.9%	0	0.0%	0	0.0%
居住年数	5年未満	17	100.0%	1	5.9%	1	5.9%	7	41.2%	4	23.5%	1	5.9%	3	17.6%	0	0.0%
	5～９年	17	100.0%	0	0.0%	1	5.9%	3	17.6%	1	5.9%	10	58.8%	2	11.8%	0	0.0%
	１０～１９年	31	100.0%	2	6.5%	3	9.7%	2	6.5%	6	19.4%	17	54.8%	1	3.2%	0	0.0%
	２０～２９年	67	100.0%	2	3.0%	9	13.4%	5	7.5%	33	49.3%	14	20.9%	4	6.0%	0	0.0%
	３０年以上	528	100.0%	23	4.4%	108	20.5%	150	28.4%	87	16.5%	130	24.6%	26	4.9%	4	0.8%
	無回答	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%

５．就 業 形 態 別



N＝662

・全体では、常時雇用の割合が最も高く 37.8%となっており、次いで、無職 27.9%、経営者 19.9%、臨時雇用 12.8%と続いた。

・性別では、男性で経営者および常時雇用が女性の割合を上回っている一方、臨時雇用・無職では女性が高い傾向がみられた。

・年齢別では、18～59 歳で常時雇用が半数以上の割合を占めているほか、60 代以上は無職の割合が高くなっている。

・居住区別では、ほぼ全ての地区において常時雇用の割合が最も高くなっているが、旧満沢小学校区では、経営者の割合が高い傾向がみられ、旧瀬見小学校区では無職の割合が最も高くなっている。

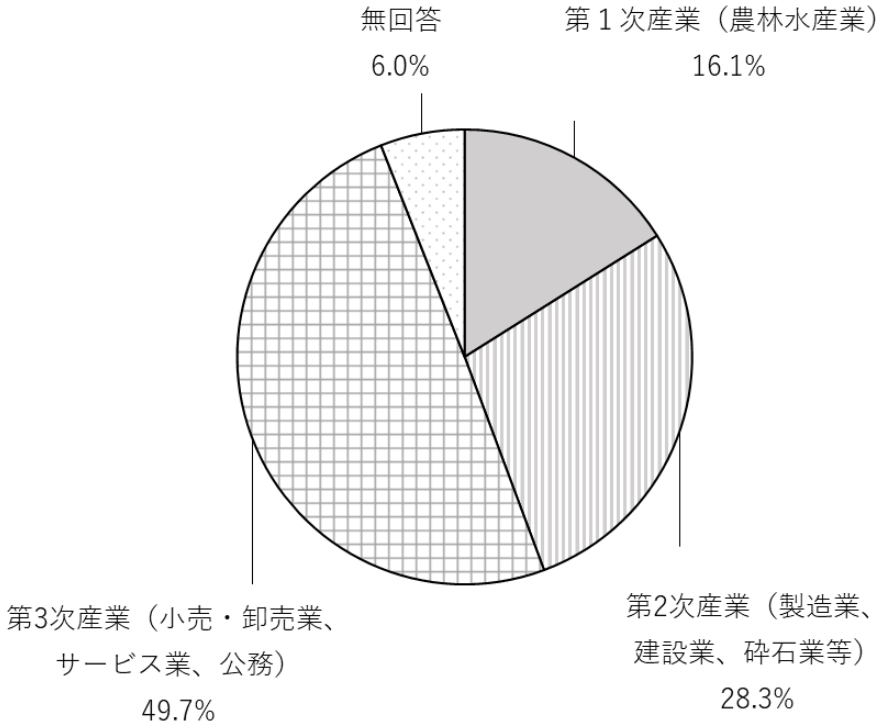
・世帯構成別では、単身・夫婦のみ・子どもと同居で無職が 4 割以上を占めており、親と同居・子どもと親と三世代同居・その他では、常時雇用の割合が高くなっている。

・業種別では、1 次産業では経営者が約 8 割を占めており、2 次・3 次産業では、常時雇用が 6 割以上となっている。

・居住年数別では、全ての年数別において、常時雇用の割合が高い傾向となった。

区分	就業形態	全体		経営者（自営業を含む）		常時雇用		臨時雇用（パートを含む）		無職		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
		662	100.0%	132	19.9%	250	37.8%	85	12.8%	185	27.9%	10	1.5%
性別	男性	303	100.0%	94	31.0%	133	43.9%	12	4.0%	58	19.1%	6	2.0%
	女性	349	100.0%	37	10.6%	116	33.2%	71	20.3%	121	34.7%	4	1.1%
	無回答	10	100.0%	1	10.0%	1	10.0%	2	20.0%	6	60.0%	0	0.0%
年齢	18～29歳	43	100.0%	0	0.0%	32	74.4%	4	9.3%	7	16.3%	0	0.0%
	30～39歳	71	100.0%	2	2.8%	48	67.6%	15	21.1%	5	7.0%	1	1.4%
	40～49歳	83	100.0%	13	15.7%	50	60.2%	11	13.3%	8	9.6%	1	1.2%
	50～59歳	119	100.0%	32	26.9%	64	53.8%	18	15.1%	5	4.2%	0	0.0%
	60～69歳	171	100.0%	43	25.1%	46	26.9%	26	15.2%	52	30.4%	4	2.3%
	70～79歳	115	100.0%	36	31.3%	10	8.7%	10	8.7%	56	48.7%	3	2.6%
	80歳以上	59	100.0%	6	10.2%	0	0.0%	1	1.7%	51	86.4%	1	1.7%
	無回答	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%
居住区	旧富沢小学校区	80	100.0%	18	22.5%	28	35.0%	10	12.5%	24	30.0%	0	0.0%
	旧赤倉小学校区	39	100.0%	10	25.6%	17	43.6%	4	10.3%	8	20.5%	0	0.0%
	旧向町小学校区	237	100.0%	45	19.0%	84	35.4%	30	12.7%	74	31.2%	4	1.7%
	旧満沢小学校区	28	100.0%	10	35.7%	9	32.1%	2	7.1%	7	25.0%	0	0.0%
	旧東法田小学校区	30	100.0%	7	23.3%	12	40.0%	4	13.3%	6	20.0%	1	3.3%
	旧月楯小学校区	36	100.0%	5	13.9%	14	38.9%	6	16.7%	10	27.8%	1	2.8%
	旧大堀小学校区	183	100.0%	30	16.4%	80	43.7%	24	13.1%	45	24.6%	4	2.2%
	旧瀬見小学校区	22	100.0%	6	27.3%	4	18.2%	3	13.6%	9	40.9%	0	0.0%
	無回答	7	100.0%	1	14.3%	2	28.6%	2	28.6%	2	28.6%	0	0.0%
世帯構成	単身	28	100.0%	6	21.4%	3	10.7%	4	14.3%	14	50.0%	1	3.6%
	夫婦のみ	122	100.0%	33	27.0%	20	16.4%	16	13.1%	49	40.2%	4	3.3%
	子どもと同居	168	100.0%	36	21.4%	41	24.4%	20	11.9%	70	41.7%	1	0.6%
	親と同居	131	100.0%	19	14.5%	73	55.7%	24	18.3%	14	10.7%	1	0.8%
	子どもと親と三世代同居	173	100.0%	34	19.7%	98	56.6%	15	8.7%	23	13.3%	3	1.7%
	その他	36	100.0%	2	5.6%	15	41.7%	6	16.7%	13	36.1%	0	0.0%
	無回答	4	100.0%	2	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%	0	0.0%
業種	第１次産業（農林水産業）	75	100.0%	59	78.7%	11	14.7%	5	6.7%	0	0.0%	0	0.0%
	第2次産業（製造業、建設業、砕石業等）	132	100.0%	28	21.2%	85	64.4%	19	14.4%	0	0.0%	0	0.0%
	第3次産業（小売・卸売業、サービス業、公務）	232	100.0%	38	16.4%	141	60.8%	53	22.8%	0	0.0%	0	0.0%
	無回答	28	100.0%	7	25.0%	13	46.4%	8	28.6%	0	0.0%	0	0.0%
居住年数	5年未満	17	100.0%	0	0.0%	7	41.2%	6	35.3%	4	23.5%	0	0.0%
	5～９年	17	100.0%	1	5.9%	10	58.8%	4	23.5%	2	11.8%	0	0.0%
	１０～１９年	31	100.0%	5	16.1%	16	51.6%	5	16.1%	5	16.1%	0	0.0%
	２０～２９年	67	100.0%	4	6.0%	43	64.2%	8	11.9%	11	16.4%	1	1.5%
	３０年以上	528	100.0%	122	23.1%	174	33.0%	62	11.7%	161	30.5%	9	1.7%
	無回答	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%

６．業 種 別



N＝467

・全体では、3 次産業の割合が 49.7%と約半数を占めており、次いで 2 次産業 28.3%、1 次産業 16.1%と続いた。

・性別では、1 次・2 次産業では男性の割合が女性より高くなっており、3 次産業では女性の割合が高くなっている。

・年齢別では、ほぼ全ての年代で 3 次産業の割合が高くなっているが、70 代では、1 次産業の割合が高くなっている。

・居住区別では、ほぼ全ての居住区で 3 次産業が 4 割以上を占めている一方、旧満沢小学校区で 1 次産業、旧月楯小学校区で 2 次産業の割合が最も高くなっている。

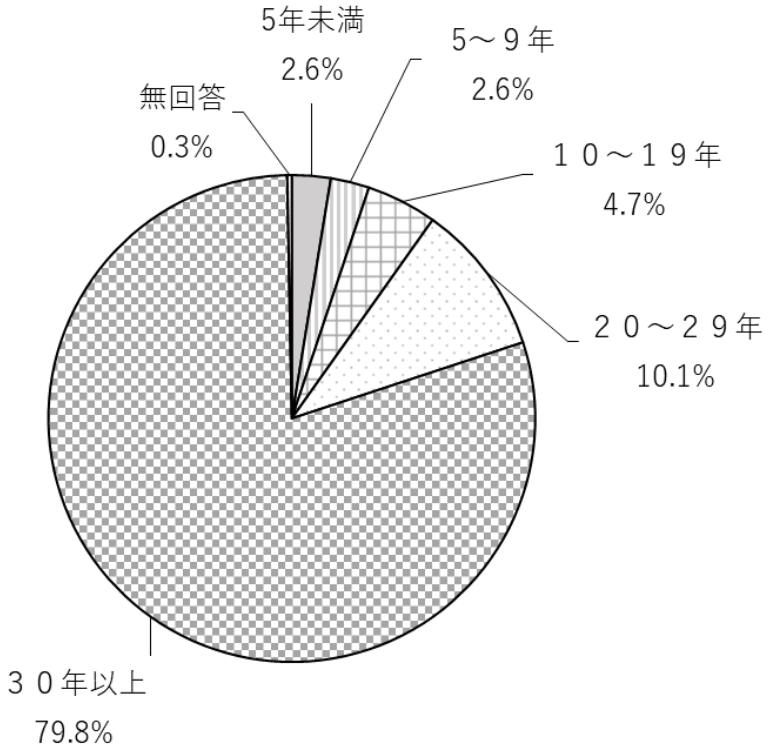
・世帯構成別では、全ての世帯構成で、3 次産業の割合が最も高くなっている。

・就業形態別では、最も高い割合になっているのが、経営者で 1 次産業、常時雇用・臨時雇用で 3 次産業となっている。

・居住年数別では、全ての年数別において、3 次産業の割合が最も高くなっている。

区分	業種	全体		第１次産業（農林水産業）		第2次産業（製造業、建設業、砕石業等）		第3次産業（小売・卸売業、サービス業、公務）		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
		467	100.0%	75	16.1%	132	28.3%	232	49.7%	28	6.0%
性別	男性	239	100.0%	56	23.4%	88	36.8%	84	35.1%	11	4.6%
	女性	224	100.0%	19	8.5%	43	19.2%	145	64.7%	17	7.6%
	無回答	4	100.0%	0	0.0%	1	25.0%	3	75.0%	0	0.0%
年齢	18～29歳	36	100.0%	3	8.3%	7	19.4%	22	61.1%	4	11.1%
	30～39歳	65	100.0%	4	6.2%	18	27.7%	40	61.5%	3	4.6%
	40～49歳	74	100.0%	5	6.8%	24	32.4%	41	55.4%	4	5.4%
	50～59歳	114	100.0%	11	9.6%	32	28.1%	62	54.4%	9	7.9%
	60～69歳	115	100.0%	28	24.3%	39	33.9%	44	38.3%	4	3.5%
	70～79歳	56	100.0%	22	39.3%	11	19.6%	20	35.7%	3	5.4%
	80歳以上	7	100.0%	2	28.6%	1	14.3%	3	42.9%	1	14.3%
居住区	旧富沢小学校区	56	100.0%	14	25.0%	12	21.4%	28	50.0%	2	3.6%
	旧赤倉小学校区	31	100.0%	3	9.7%	11	35.5%	15	48.4%	2	6.5%
	旧向町小学校区	159	100.0%	23	14.5%	37	23.3%	94	59.1%	5	3.1%
	旧満沢小学校区	21	100.0%	7	33.3%	6	28.6%	5	23.8%	3	14.3%
	旧東法田小学校区	23	100.0%	5	21.7%	5	21.7%	11	47.8%	2	8.7%
	旧月楯小学校区	25	100.0%	3	12.0%	12	48.0%	9	36.0%	1	4.0%
	旧大堀小学校区	134	100.0%	20	14.9%	45	33.6%	60	44.8%	9	6.7%
	旧瀬見小学校区	13	100.0%	0	0.0%	3	23.1%	8	61.5%	2	15.4%
	無回答	5	100.0%	0	0.0%	1	20.0%	2	40.0%	2	40.0%
世帯構成	単身	13	100.0%	1	7.7%	3	23.1%	7	53.8%	2	15.4%
	夫婦のみ	69	100.0%	17	24.6%	20	29.0%	27	39.1%	5	7.2%
	子どもと同居	97	100.0%	20	20.6%	23	23.7%	49	50.5%	5	5.2%
	親と同居	116	100.0%	12	10.3%	39	33.6%	61	52.6%	4	3.4%
	子どもと親と三世代同居	147	100.0%	22	15.0%	41	27.9%	72	49.0%	12	8.2%
	その他	23	100.0%	1	4.3%	6	26.1%	16	69.6%	0	0.0%
	無回答	2	100.0%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
就業形態	経営者（自営業を含む）	132	100.0%	59	44.7%	28	21.2%	38	28.8%	7	5.3%
	常時雇用	250	100.0%	11	4.4%	85	34.0%	141	56.4%	13	5.2%
	臨時雇用（パートを含む）	85	100.0%	5	5.9%	19	22.4%	53	62.4%	8	9.4%
居住年数	5年未満	13	100.0%	0	0.0%	4	30.8%	9	69.2%	0	0.0%
	5～９年	15	100.0%	2	13.3%	1	6.7%	9	60.0%	3	20.0%
	１０～１９年	26	100.0%	0	0.0%	11	42.3%	13	50.0%	2	7.7%
	２０～２９年	55	100.0%	4	7.3%	8	14.5%	37	67.3%	6	10.9%
	３０年以上	358	100.0%	69	19.3%	108	30.2%	164	45.8%	17	4.7%

7．居 住 年 数 別



N＝662

・全体では、居住年数 30 年以上が約 8 割を占めている。10～30 年で約 15%、10 年以下は 10%未満であった。

・居住年数 30 年以上が 8 割を占めていることから、ほぼ全ての属性区分において、30 年以上での割合が高くなっている。ただ、18～29 歳においては、年齢の関係から 20～29 年の割合が高くなっている。

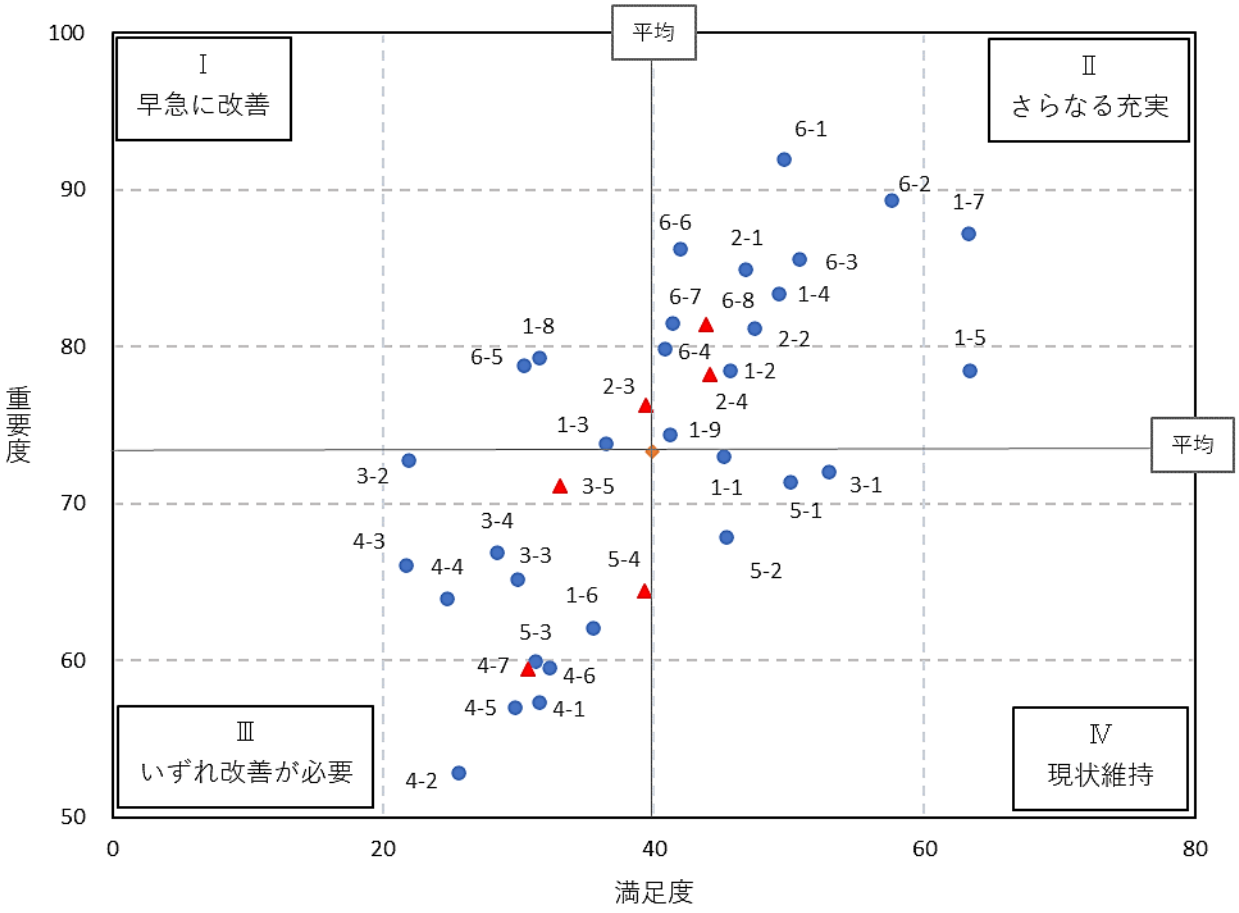
区分 ＼ 居住年数		全体		5年未満		5～９年		１０～１９年		２０～２９年		３０年以上		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
		662	100.0%	17	2.6%	17	2.6%	31	4.7%	67	10.1%	528	79.8%	2	0.3%
性別	男性	303	100.0%	2	0.7%	3	1.0%	11	3.6%	22	7.3%	265	87.5%	0	0.0%
	女性	349	100.0%	14	4.0%	14	4.0%	20	5.7%	44	12.6%	256	73.4%	1	0.3%
	無回答	10	100.0%	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	10.0%	7	70.0%	1	10.0%
年齢	18～29歳	43	100.0%	5	11.6%	0	0.0%	6	14.0%	31	72.1%	1	2.3%	0	0.0%
	30～39歳	71	100.0%	8	11.3%	10	14.1%	9	12.7%	4	5.6%	39	54.9%	1	1.4%
	40～49歳	83	100.0%	2	2.4%	4	4.8%	11	13.3%	12	14.5%	54	65.1%	0	0.0%
	50～59歳	119	100.0%	1	0.8%	2	1.7%	3	2.5%	12	10.1%	101	84.9%	0	0.0%
	60～69歳	171	100.0%	0	0.0%	1	0.6%	1	0.6%	6	3.5%	163	95.3%	0	0.0%
	70～79歳	115	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	2	1.7%	112	97.4%	0	0.0%
	80歳以上	59	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	58	98.3%	1	1.7%
	無回答	1	100.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
居住区	旧富沢小学校区	80	100.0%	2	2.5%	0	0.0%	2	2.5%	11	13.8%	65	81.3%	0	0.0%
	旧赤倉小学校区	39	100.0%	1	2.6%	2	5.1%	1	2.6%	4	10.3%	31	79.5%	0	0.0%
	旧向町小学校区	237	100.0%	9	3.8%	5	2.1%	13	5.5%	20	8.4%	190	80.2%	0	0.0%
	旧満沢小学校区	28	100.0%	1	3.6%	1	3.6%	1	3.6%	5	17.9%	20	71.4%	0	0.0%
	旧東法田小学校区	30	100.0%	0	0.0%	1	3.3%	3	10.0%	4	13.3%	22	73.3%	0	0.0%
	旧月楯小学校区	36	100.0%	1	2.8%	1	2.8%	2	5.6%	4	11.1%	28	77.8%	0	0.0%
	旧大堀小学校区	183	100.0%	2	1.1%	4	2.2%	8	4.4%	16	8.7%	151	82.5%	2	1.1%
	旧瀬見小学校区	22	100.0%	1	4.5%	1	4.5%	0	0.0%	2	9.1%	18	81.8%	0	0.0%
	無回答	7	100.0%	0	0.0%	2	28.6%	1	14.3%	1	14.3%	3	42.9%	0	0.0%
世帯構成	単身	28	100.0%	1	3.6%	0	0.0%	2	7.1%	2	7.1%	23	82.1%	0	0.0%
	夫婦のみ	122	100.0%	1	0.8%	1	0.8%	3	2.5%	9	7.4%	108	88.5%	0	0.0%
	子どもと同居	168	100.0%	7	4.2%	3	1.8%	2	1.2%	5	3.0%	150	89.3%	1	0.6%
	親と同居	131	100.0%	4	3.1%	1	0.8%	6	4.6%	33	25.2%	87	66.4%	0	0.0%
	子どもと親と三世代同居	173	100.0%	1	0.6%	10	5.8%	17	9.8%	14	8.1%	130	75.1%	1	0.6%
	その他	36	100.0%	3	8.3%	2	5.6%	1	2.8%	4	11.1%	26	72.2%	0	0.0%
	無回答	4	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	100.0%	0	0.0%
就業形態	経営者（自営業を含む）	132	100.0%	0	0.0%	1	0.8%	5	3.8%	4	3.0%	122	92.4%	0	0.0%
	常時雇用	250	100.0%	7	2.8%	10	4.0%	16	6.4%	43	17.2%	174	69.6%	0	0.0%
	臨時雇用（パートを含む）	85	100.0%	6	7.1%	4	4.7%	5	5.9%	8	9.4%	62	72.9%	0	0.0%
	無職	185	100.0%	4	2.2%	2	1.1%	5	2.7%	11	5.9%	161	87.0%	2	1.1%
	無回答	10	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	10.0%	9	90.0%	0	0.0%
業種	第１次産業（農林水産業）	75	100.0%	0	0.0%	2	2.7%	0	0.0%	4	5.3%	69	92.0%	0	0.0%
	第2次産業（製造業、建設業、砕石業等）	132	100.0%	4	3.0%	1	0.8%	11	8.3%	8	6.1%	108	81.8%	0	0.0%
	第3次産業（小売・卸売業、サービス業、公務）	232	100.0%	9	3.9%	9	3.9%	13	5.6%	37	15.9%	164	70.7%	0	0.0%
	無回答	28	100.0%	0	0.0%	3	10.7%	2	7.1%	6	21.4%	17	60.7%	0	0.0%

◆　施策に関する満足度と重要度について

８. 最上町の取り組みに対する満足度と重要度について

Ａ　人にやさしいまちづくり

人にやさしいまちづくり			満足度							重要度						
			そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	分からない	無回答	得点	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	分からない	無回答	得点
町民と行政との信頼関係	1-1	活発な集落や地域におけるまちづくり	59	244	207	59	74	19	45.224	269	241	41	7	50	54	73.026
	1-2	良好な町民と町との信頼・協働関係	47	276	194	65	66	14	45.670	333	205	27	7	39	51	78.439
	1-3	町民と町との話し合いの場	50	169	220	108	100	15	36.450	268	256	39	6	44	49	73.799
	1-4	良好な町の職員の対応	98	253	161	107	32	11	49.253	389	172	20	7	25	49	83.334
	1-5	広報もがみの充実度	162	324	102	32	31	11	63.401	310	236	35	7	23	51	78.506
	1-6	町ホームページの充実度	59	191	125	54	213	20	35.548	215	218	50	5	120	54	62.099
	1-7	防災無線による情報提供	193	287	83	65	24	10	63.294	435	144	17	3	17	46	87.190
	1-8	健全な町の財政運営	51	159	142	76	220	14	31.542	415	98	9	5	83	52	79.284
	1-9	町民と行政との全体的な信頼関係	37	237	173	59	135	21	39.451	347	158	18	3	76	60	76.213
子育て環境の充実	2-1	子どもが健やかに育つための地域環境	72	270	152	83	71	14	46.769	424	134	10	3	38	53	84.906
	2-2	充実している子育て環境	92	269	109	53	126	13	47.488	394	145	10	3	57	53	81.190
	2-3	保育所・こども園と小学校との連携	83	231	79	21	226	22	41.225	340	161	14	2	91	54	74.423
	2-4	子育て環境の全体的な充実度	70	262	110	57	138	25	44.245	370	149	10	3	73	57	78.203
学校教育の充実	3-1	適切な小学校の再編（統廃合）	157	241	63	30	149	22	53.009	305	182	24	8	85	58	71.997
	3-2	子どもの学力の向上	18	102	161	77	279	25	21.895	356	120	12	2	115	57	72.787
	3-3	地域に開かれた学校経営	46	162	110	43	276	25	29.959	260	181	31	5	124	61	65.141
	3-4	まちに誇りと愛着をもつための教育	33	151	142	58	252	26	28.464	268	184	32	8	109	61	66.862
	3-5	学校教育の全体的な充実度	42	202	104	40	250	24	33.176	314	168	11	0	112	57	71.106
生涯学習・芸術文化の振興	4-1	充実した公民館の学級・講座	38	173	150	59	224	18	31.585	153	255	79	13	110	52	57.364
	4-2	中央公民館・すこやかプラザの図書サービス	31	140	117	66	284	24	25.613	137	230	83	16	137	59	52.818
	4-3	まちづくりの担い手やリーダーの育成	16	98	176	121	232	19	21.733	267	178	44	7	111	55	66.026
	4-4	活発な若者や女性の地域活動	23	110	193	141	180	15	24.790	224	224	48	10	104	52	63.921
	4-5	充実した文化芸術に関する催しやイベント	28	154	180	101	177	22	29.778	160	234	90	17	107	54	56.987
	4-6	良好な文化財や伝統行事等の保存・伝承	36	181	150	77	195	23	32.358	174	248	62	15	107	56	59.508
	4-7	全体的な生涯学習・芸能文化の振興	27	174	159	68	209	25	30.777	173	254	50	8	120	57	59.451
健康づくり・生涯スポーツの推進	5-1	生涯現役生活を目指した健康づくり	89	294	109	37	113	20	50.148	241	271	24	5	62	59	71.391
	5-2	集落や地域での健康体力づくり	95	230	137	90	96	14	45.418	220	264	54	11	62	51	67.872
	5-3	活発なスポーツ活動	42	141	200	133	131	15	31.294	152	280	68	21	83	58	59.940
	5-4	全体的な健康づくり・生涯スポーツの推進	53	211	176	75	126	21	39.384	187	272	54	12	76	61	64.403
安全・安心のまちづくりの推進	6-1	安心して受けられる医療機関	106	240	159	101	37	19	49.653	499	79	5	1	18	60	91.957
	6-2	充実した介護サービス施設	137	305	100	55	53	12	57.592	466	110	8	3	20	55	89.348
	6-3	充実した健康や介護に関する相談体制	96	296	100	41	111	18	50.826	421	141	9	2	33	56	85.551
	6-4	充実した集落や高齢者への支え合い活動	57	219	178	82	106	20	40.883	343	203	19	3	40	54	79.816
	6-5	充実した高齢者等の外出支援（移動手段等）	32	153	186	162	110	19	30.465	345	188	18	3	51	57	78.826
	6-6	充実した地震や洪水等への防災対策	50	235	186	66	103	22	42.005	426	141	9	2	29	55	86.234
	6-7	交通安全対策等の安全なまちづくり	53	224	187	58	118	22	41.373	380	156	18	5	43	60	81.472
	6-8	安全・安心なまちづくりの全体的な推進	52	260	169	60	101	20	43.921	376	165	15	3	45	58	81.374



1-1	活発な集落や地域におけるまちづくり	2-1	子どもが健やかに育つための地域環境	3-1	適切な小学校の再編（統廃合）
1-2	良好な町民と町との信頼・協働関係	2-2	充実している子育て環境	3-2	子どもの学力の向上
1-3	町民と町との話し合いの場	2-3	保育所・こども園と小学校との連携	3-3	地域に開かれた学校経営
1-4	良好な町の職員の対応	2-4	子育て環境の全体的な充実度	3-4	まちに誇りと愛着をもつための教育
1-5	広報もがみの充実度			3-5	学校教育の全体的な充実度
1-6	町ホームページの充実度				
1-7	防災無線による情報提供				
1-8	健全な町の財政運営				
1-9	町民と行政との全体的な信頼関係				

4-1	充実した公民館の学級・講座	5-1	生涯現役生活を目指した健康づくり	6-1	安心して受けられる医療機関
4-2	中央公民館・すこやかプラザの図書サービス	5-2	集落や地域での健康体力づくり	6-2	充実した介護サービス施設
4-3	まちづくりの担い手やリーダーの育成	5-3	活発なスポーツ活動	6-3	充実した健康や介護に関する相談体制
4-4	活発な若者や女性の地域活動	5-4	全体的な健康づくり・生涯スポーツの推進	6-4	充実した集落や高齢者への支え合い活動
4-5	充実した文化芸術に関する催しやイベント			6-5	充実した高齢者等の外出支援（移動手段等）
4-6	良好な文化財や伝統行事等の保存・伝承			6-6	充実した地震や洪水等への防災対策
4-7	全体的な生涯学習・芸能文化の振興			6-7	交通安全対策等の安全なまちづくり
				6-8	安全・安心なまちづくりの全体的な推進

１. 町民と行政との信頼関係について

満足度が最も高いのが「広報もがみによる情報提供」であり、次は「防災無線による情報提供」であった。反対に最も低いのが「健全な町の財政運営」であった。重要度では、「防災無線による情報提供」が最も高く、次いで「良好な町職員の対応」「健全な町の財政運営」「町民と町との信頼・協働関係」と続いた。

満足度に関する 9 つの質問で「分からない」と回答した合計値は 895 であり、全回答数の約 15%を占めている。これを属性でみると、総体的に「旧富沢小学校区」と「臨時雇用」「第 1 次産業」「居住年数 5～9 年」に他と比較して若干高い数値がみられた。

２. 子育て環境の充実について

満足度が最も高いのが「充実している子育て環境」であり、反対に最も低いのが「保育所・こども園と小学校との連携」であった。重要度では、「子どもが健やかに育つための地域環境」が最も高かった。

満足度に関する 4 つの質問で「分からない」と回答した合計値は 561 であり、全回答数の約 21%を占めている。これを属性でみると、総体的に「18～29 歳」と「旧月楯小学校区」「親と同居」に若干高い数値がみられた。

３. 学校教育の充実について

満足度が最も高いのが「小学校の再編」であり、反対に最も低いのが「子どもの学力の向上」であった。重要度では、「子どもの学力の向上」と「小学校の再編」がほぼ同率で高かった。

満足度に関する 5 つの質問で「分からない」と回答した合計値は 1206 であり、全回答数の 36%を占めている。これを属性でみると、総体的に「18～29 歳」「親と同居」「臨時雇用」「居住年数 5 年未満」にこの傾向が多くみられた。

４. 生涯学習・芸術文化の振興について

満足度が最も高いのが「文化財や伝統文化の保存・伝承」であり、「公民館の学級・講座」「文化芸術活動の催しやイベント」と続いた。満足度が低かったのが「まちづくりの担い手やリーダーの育成」であり、次いで「若者や女性の地域活動」であった。これらは逆に重要度では高い数値がみられた。なお、“人にやさしいまちづくり”の中では、この項目の満足度が最も低い結果となった。

満足度に関する 7 つの質問で「分からない」と回答した合計値は 1501 であり、全回答数の約 32%を占めている。これを属性でみると、総体的に「18～29 歳」「30～39 歳」「親と同居」「居住年数 10 年未満」にこの傾向が多くみられた。

５.健康づくり・生涯スポーツの推進について

満足度が最も高いのが「生涯現役生活を目指した健康づくり」であり、重要度でも最も高い結果であった。反対に満足度が最も低かったのが「活発なスポーツ活動」であった。

満足度に関する 4 つの質問で「分からない」と回答した合計値は 466 であり、全回答数の約 18%を占めている。これを属性でみると、総体的に「30～39 歳」「旧月楯小学校区」「臨時職員」「第 2 次産業」「居住年数 5～9 年」にこの傾向が多くみられた。

６.安全・安心のまちづくりの推進について

満足度が最も高いのが「充実した介護サービス施設」であり、次いで「健康や介護に関する相談体制」「安心して受けられる医療機関」と続いた。満足度が最も低かったのは「高齢者等の外出支援」であった。重要度では「安心して受けられる医療体制」が最も高く、次いで「充実した介護サービス施設」「地震や洪水等の防災対策」と続いた。

満足度に関する 8 つの質問で「分からない」と回答した合計値は 739 であり、全回答数の約 14%を占めている。これを属性でみると、総体的に「臨時雇用」「5 年未満」にこの傾向が多くみられた。

〈人にやさしいまちづくりの総括〉

“人にやさしいまちづくり”に関する全 37 の質問事項の評価を 4 つに分類すると、概ね以下のとおりとなった。※詳細を 27 ページに掲載

Ⅰ 最重要課題（満足度は低いが重要度が高い施策）※緊急に取り組むべき課題

・健全な町の財政運営
・町民と行政との話し合いの場
・保育所・こども園と小学校との連携
・高齢者の外出支援

Ⅱ 重要課題（満足度と重要度が共に高い施策）※さらに充実して解決すべき課題

・町民と町との信頼関係
・良好な町職員の対応
・防災無線による情報提供
・安心して受けられる医療機関
・充実した介護サービス　ほか

Ⅲ 要検討（満足度と重要度が共に低い施策）※必要に応じ推進・見直しの検討

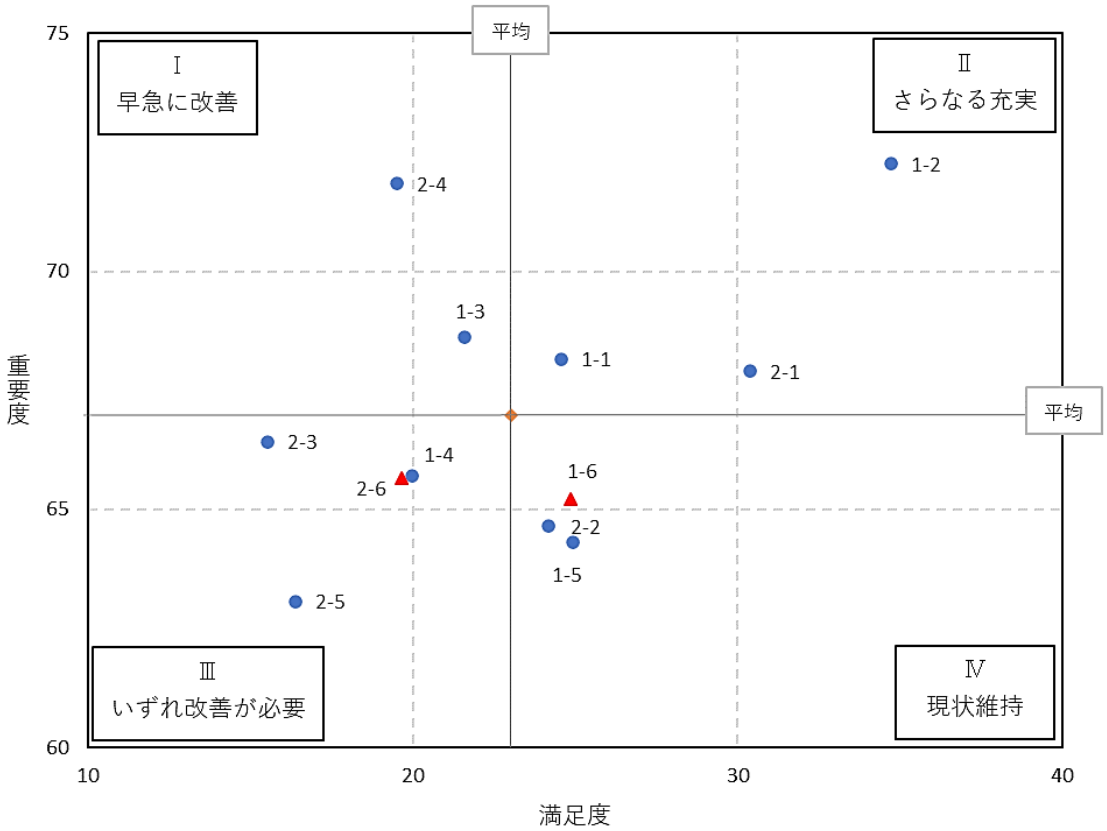
・まちに誇りと愛着を持つための教育
・まちづくりの担い手やリーダーの育成
・若者や女性の地域活動
・町ホームページの充実　ほか

Ⅳ 現状維持（満足度は高いが重要度が低い施策）※施策の効果・効率の検討

・集落や地域における活発なまちづくり活動
・適切な小学校の再編
・集落や地域での健康体力づくり　ほか

B　食にやさしいまちづくり

食にやさしいまちづくり			満足度							重要度						
			そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	分からない	無回答	得点	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	分からない	無回答	得点
農林業の振興について	1-1	農業経営の安定・農家所得の増加	37	111	136	105	247	26	24.568	284	176	13	8	115	66	68.156
	1-2	適正な水路や農道の管理・整備	47	203	119	77	194	22	34.731	297	197	16	5	86	61	72.258
	1-3	農業後継者・担い手の育成、支援	17	101	161	120	239	24	21.599	285	172	20	9	107	69	68.607
	1-4	適正な鳥獣害対策	12	94	160	130	244	22	19.966	249	198	26	9	112	68	65.697
	1-5	適正な森林の管理や整備	22	137	136	98	243	26	24.948	232	211	30	9	114	66	64.307
	1-6	全体的な農林業の振興	24	125	151	73	260	29	24.894	249	196	25	5	121	66	65.196
商工業の振興について	2-1	良好な特産品の開発・普及にむけた取組	24	158	193	75	187	25	30.385	238	236	28	4	91	65	67.899
	2-2	良好な農業と商工業の連携	13	124	175	74	250	26	24.187	226	220	36	5	109	66	64.644
	2-3	良好な企業誘致にむけた取組	8	62	149	187	229	27	15.545	269	178	27	7	117	64	66.416
	2-4	良好な商店街の活性化	10	79	186	239	123	25	19.515	286	202	25	8	77	64	71.838
	2-5	充実した企業への支援	10	76	132	138	281	25	16.402	249	178	25	6	139	65	63.067
	2-6	全体的な商工業の振興	14	92	150	138	242	26	19.676	262	185	22	8	122	63	65.644



１.農林業の振興について

満足度が最も高いのが「水路や農道の適正な管理・整備」であり、次いで「農業経営の安定・農家所得の増加」「適正な森林の管理・整備」と続いた。一方で、最も低かったのが「適正な鳥獣対策」であった。

重要度では「水路や農道の適正な管理・整備」が最も高く、次に「農業後継者・担い手の育成支援」「農業経営の安定・農家所得の増加」の順で続いた。

満足度に関する 6 つの質問で「分からない」と回答した合計値は 1427 であり、全回答数の約 36%を占めている。これを属性でみると、総体的に「30～39 歳」「臨時雇用」「第 3 次産業」「10 年未満」に他と比較して高い数値がみられた。

２.商工業の振興について

満足度が最も高いのが「特産品の開発・普及」であり、次いで「農業と商工業との良好な連携」であった。一方、最も低かったのが「企業誘致にむけた取組み」であり、アンケートの全項目の中で二番目に低い数値となった。「商店街の活性化」「充実した企業への支援」についても低い数値がみられた。

重要度では「商店街の活性化」が最も高く、次いで「特産品の開発・普及」と「企業誘致にむけた取組み」が、ほぼ同率で高い数値となった。

満足度に関する 6 つの質問で「分からない」と回答した合計値は 1312 であり、全回答数の約 33%を占めている。これを属性でみると、総体的に「18～39 歳」「10 年未満」に他と比較して高い数値がみられた。

〈食にやさしいまちづくりの総括〉

“食にやさしいまちづくり”に関する全 12 の質問事項の評価を 4 つに分類すると、概ね以下のとおりとなった。※詳細を 27 ページに掲載

Ⅰ 最重要課題（満足度は低いが重要度が高い施策）※緊急に取り組むべき課題

・農業後継者、担い手の育成支援
・商店街の活性化

Ⅱ 重要課題（満足度と重要度が共に高い施策）※さらに充実して解決すべき課題

・農業経営の安定・農家所得の増加
・水路や農道の適正な管理・整備
・良好な特産品の開発・普及

Ⅲ 要検討（満足度と重要度が共に低い施策）※必要に応じ推進・見直しの検討

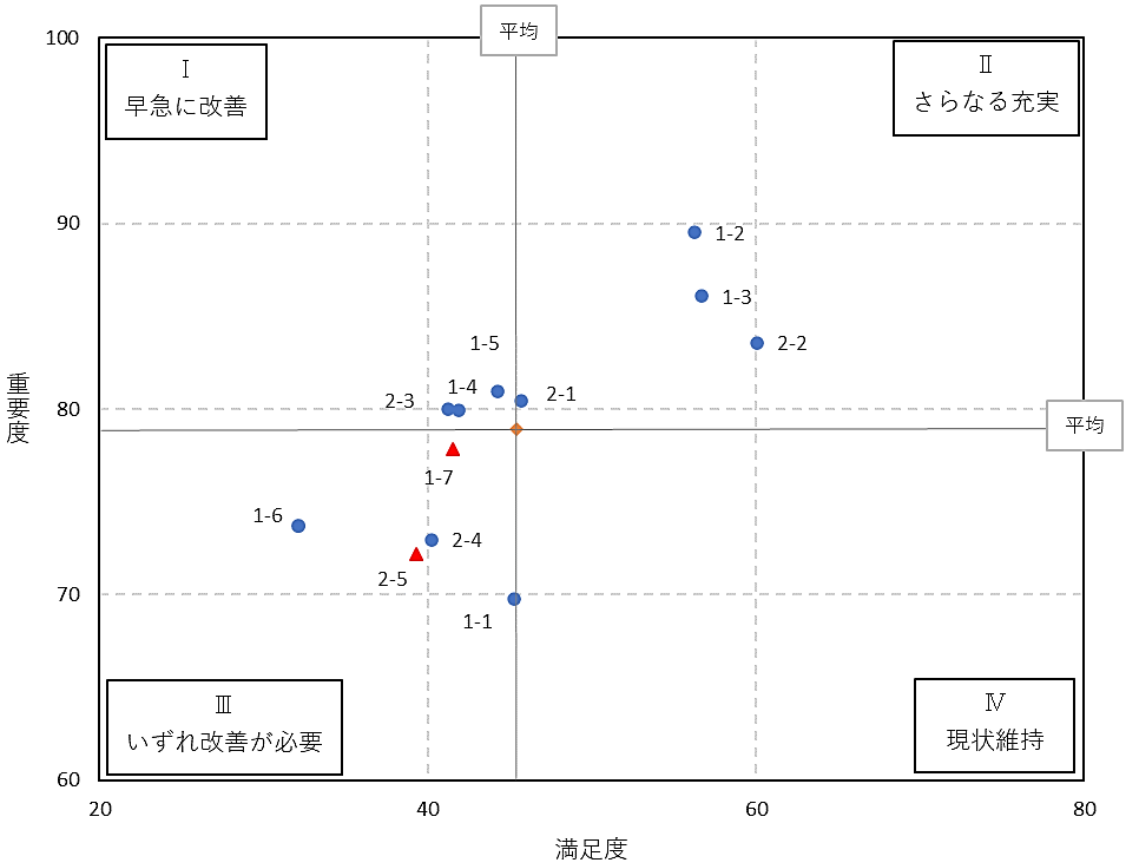
・適正な鳥獣対策
・企業への充実した支援　ほか

Ⅳ 現状維持（満足度は高いが重要度が低い施策）※施策の効果・効率の検討

・適正な森林の管理、整備
・農業と商工業との良好な連携

C　環境にやさしいまちづくり

環境にやさしいまちづくり			満足度							重要度						
			そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	分からない	無回答	得点	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	分からない	無回答	得点
生活基盤の整備について	1-1	町営住宅や若者定住住宅等の整備	75	261	122	82	101	21	45.262	248	235	51	25	46	57	69.798
	1-2	除雪や排雪処理の適切な遂行	129	291	117	81	26	18	56.301	453	131	5	3	14	56	89.508
	1-3	水道や下水道の供給・処理の適切な遂行	141	291	85	51	74	20	56.701	418	153	6	2	28	55	86.077
	1-4	河川整備の適切な遂行	68	226	149	74	124	21	41.902	352	186	16	3	46	59	79.917
	1-5	町道の適正管理	76	240	143	76	106	21	44.304	362	179	16	3	42	60	80.932
	1-6	道路整備の適切な遂行	45	167	150	102	178	20	32.148	310	185	27	6	73	61	73.687
	1-7	全体的な生活基盤整備	49	247	156	79	109	22	41.558	329	199	16	2	55	61	77.805
生活環境の整備について	2-1	適切なごみ減量化対策	89	240	132	61	120	20	45.695	343	207	13	1	40	58	80.460
	2-2	適切なゴミ分別やリサイクル対策	155	312	75	38	67	15	60.091	379	184	13	1	29	56	83.592
	2-3	不法投棄やポイ捨て対策の遂行	74	207	160	88	115	18	41.225	354	188	12	5	46	57	79.987
	2-4	再生可能エネルギーの適切な活用	74	216	121	48	184	19	40.226	301	192	27	7	74	61	72.970
	2-5	環境保全対策や低炭素社会の全体的な推進	56	224	141	41	180	20	39.347	298	193	22	4	85	60	72.188



１. 生活基盤の整備について

満足度では「適切な除雪や排雪処理」「水道・下水道の安定供給」がほぼ同率で高い数値であり、重要度でも同様に高い結果であった。最も低かったのが「適切な道路整備」であった。

満足度に関する 7 つの質問で「分からない」と回答した合計値は 718 であり、全回答数の約 15%を占めている。これを属性でみると、総体的に「18～29 歳」「旧月楯小学校区」「臨時雇用」に他と比較して高い数値がみられた。

２. 生活環境の整備について

満足度が最も高いのが「ゴミ分別やリサイクル対策」であった。一方、最も低かったのが「再生可能エネルギーの活用」「不法投棄やポイ捨て対策」であった。

重要度では「ゴミ分別やリサイクル対策」が最も高く、「ゴミ減量化対策」「不法投棄やポイ捨て対策」が、ほぼ同率で高い数値となった。

満足度に関する 5 つの質問で「分からない」と回答した合計値は 666 であり、全回答数の約 20%を占めている。これを属性でみると、総体的に「18～29 歳」「旧向町小学校区」「第 3 次産業」「5 年未満」に他と比較して高い数値がみられた。

〈環境にやさしいまちづくりの総括〉

“環境にやさしいまちづくり”に関する全 12 の質問事項の評価を 4 つに分類すると、概ね以下のとおりとなった。※詳細を 27 ページに掲載

Ⅰ 最重要課題（満足度は低いが重要度が高い施策）※緊急に取り組むべき課題

・河川整備
・町道の適正管理
・不法投棄やポイ捨て対策

Ⅱ 重要課題（満足度と重要度が共に高い施策）※さらに充実して解決すべき課題

・適切な除雪や排雪処理
・水道・下水道の安定供給
・ゴミ分別やリサイクル対策　ほか

Ⅲ 要検討（満足度と重要度が共に低い施策）※必要に応じ推進・見直しの検討

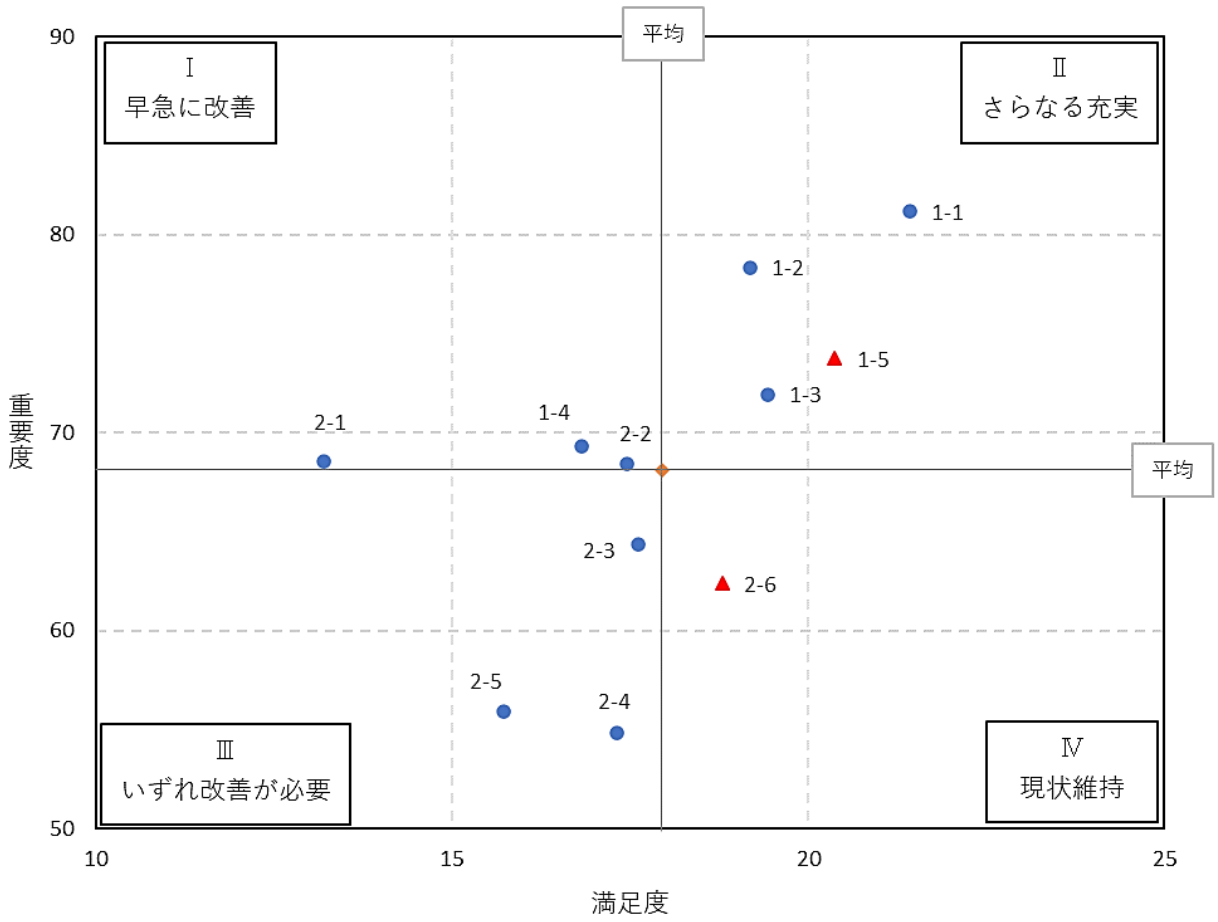
・町営住宅や若者定住住宅等の整備
・適切な道路整備
・再生可能エネルギーの活用　ほか

Ⅳ 現状維持（満足度は高いが重要度が低い施策）※施策の効果・効率の検討

・なし

D　持続から発展のまちづくり

持続から発展のまちづくり			満足度							重要度						
			そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	分からない	無回答	得点	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	分からない	無回答	得点
若者定住促進について	雇用環境整備や	1-1 良好な雇用環境	13	82	207	204	130	26	21.423	398	129	15	4	57	59	81.158
		1-2 良好な若者定住やUターン対策	13	64	204	221	140	20	19.190	360	165	13	10	58	56	78.356
		1-3 良好な空き家対策	17	77	169	226	151	22	19.431	287	199	43	9	66	58	71.940
		1-4 良好な婚活支援	16	57	160	204	199	26	16.822	282	187	39	8	90	56	69.333
		1-5 全体的な雇用環境整備や若者定住促進	11	83	191	193	158	26	20.384	311	194	15	7	78	57	73.707
交流促進について	観光業の振興及び	2-1 旅館等への宿泊利用者の増加	13	27	162	232	206	22	13.211	265	214	22	9	96	56	68.587
		2-2 活発な観光イベントの実施	13	58	181	218	169	23	17.463	256	217	36	8	87	58	68.422
		2-3 良好な農家と観光業の連携	13	58	185	180	205	21	17.615	223	230	45	12	99	53	64.360
		2-4 良好な国際交流の実践	12	77	143	154	254	22	17.309	166	201	95	19	124	57	54.879
		2-5 百万人交流にむけた着実性	15	53	152	171	249	22	15.730	170	210	84	19	122	57	55.937
		2-6 良好な観光業の振興及び交流促進	12	66	196	164	205	19	18.802	206	236	48	10	109	53	62.391



１. 雇用環境の整備・若者定住促進について

満足度が最も高いのが「良好な雇用環境」であり、次いで「良好な空き家対策」「若者定住やUターン対策」と続いた。しかしながら、全体として満足度の得点がいずれも 25 点を下回る低い結果となった。最も満足度が低かった「良好な婚活支援」は、16 点であった。

重要度では「良好な雇用環境」が最も高く、次いで「若者定住やUターン対策」であった。

満足度に関する 5 つの質問で「分からない」と回答した合計値は 778 であり、全回答数の約 24%を占めている。これを属性でみると、総体的に「女性」「18～29 歳」「無職」「5～9 年」に他と比較して高い数値がみられた。

２. 観光業の振興・交流促進について

満足度では、「活発な観光イベント」「国際交流」「農家と観光業との良好な連携」がほぼ同率で高い数値であった。しかしながら、全体として満足度の得点がいずれも 20 点を下回る低い結果となった。最も満足度が低かった「宿泊利用客の増加」は、13 点であり、アンケートの全質問のなかで最も低い数値であった。

重要度では「宿泊利用者の増加」「活発な観光イベント」が、ほぼ同率で高い数値となった。

満足度に関する 6 つの質問で「分からない」と回答した合計値は 1288 であり、全回答数の約 32%を占めている。これを属性でみると、総体的に「女性」「40～49 歳」、居住年数「5 年未満」「10～19 年」に他と比較して高い数値がみられた。

〈持続から発展のまちづくりの総括〉

“持続から発展まちづくり”に関する全 11 の質問事項の評価を 4 つに分類すると、概ね以下のとおりとなった。※詳細を 27 ページに掲載

Ⅰ 最重要課題（満足度は低いが重要度が高い施策）※緊急に取り組むべき課題

- 良好な婚活支援
- 活発な観光イベント
- 宿泊利用者の増加

Ⅱ 重要課題（満足度と重要度が共に高い施策）※さらに充実して解決すべき課題

- 良好な雇用環境
- 若者定住やＵターン対策
- 良好な空き家対策

Ⅲ 要検討（満足度と重要度が共に低い施策）※必要に応じ推進・見直しの検討

- 農家と観光業の連携
- 国際交流
- 百万人交流

Ⅳ 現状維持（満足度は高いが重要度が低い施策）※施策の効果・効率の検討

- 良好な観光業の振興および交流促進

●評価区分

人にやさしいまちづくり

番号	項目	分布	
1-3	町民と町との話し合いの場 ※	Ⅰ	最重要課題
1-8	健全な町の財政運営		
2-3	保育所・こども園と小学校との連携 ※		
6-5	充実した高齢者等の外出支援（移動手段等）		
1-2	良好な町民と町との信頼・協働関係	Ⅱ	重要課題
1-4	良好な町の職員の対応		
1-5	広報もがみの充実度		
1-7	防災無線による情報提供		
1-9	町民と行政との全体的な信頼関係		
2-1	子どもが健やかに育つための地域環境		
2-2	充実している子育て環境		
2-4	子育て環境の全体的な充実度		
6-1	安心して受けられる医療機関		
6-2	充実した介護サービス施設		
6-3	充実した健康や介護に関する相談体制		
6-4	充実した集落や高齢者への支え合い活動		
6-6	充実した地震や洪水等への防災対策		
6-7	交通安全対策等の安全なまちづくり		
6-8	安全・安心なまちづくりの全体的な推進		
1-6	町ホームページの充実度	Ⅲ	要検討
3-2	子どもの学力の向上 ※		
3-3	地域に開かれた学校経営		
3-4	まちに誇りと愛着をもつための教育		
3-5	学校教育の全体的な充実度		
4-1	充実した公民館の学級・講座		
4-2	中央公民館・すこやかプラザの図書サービス		
4-3	まちづくりの担い手やリーダーの育成		
4-4	活発な若者や女性の地域活動		
4-5	充実した文化芸術に関する催しやイベント		
4-6	良好な文化財や伝統行事等の保存・伝承		
4-7	全体的な生涯学習・芸能文化の振興		
5-3	活発なスポーツ活動		
5-4	全体的な健康づくり・生涯スポーツの推進		
1-1	活発な集落や地域におけるまちづくり ※	Ⅳ	現状維持
3-1	適切な小学校の再編（統廃合）		
5-1	生涯現役生活を目指した健康づくり		
5-2	集落や地域での健康体力づくり		

（注）※のある施策項目については、それぞれ「満足度」「重要度」において平均値に近かったことにより、明確な分布判断が難しい状況である。

食にやさしいまちづくり

番号	項目	分布	
1-3	農業後継者・担い手の育成、支援	Ⅰ	最重要課題
2-4	良好な商店街の活性化		
1-1	農業経営の安定・農家所得の増加	Ⅱ	重要課題
1-2	適正な水路や能動の管理・整備		
2-1	良好な特産品の開発・普及にむけた取組		
1-4	適正な鳥獣害対策	Ⅲ	要検討
2-3	良好な企業誘致にむけた取組		
2-5	充実した企業への支援		
2-6	全体的な商工業の振興		
1-5	適正な森林の管理や整備	Ⅳ	現状維持
1-6	全体的な農林業の振興		
2-2	良好な農業と商工業の連携		

環境にやさしいまちづくり

番号	項目	分布	
1-4	河川整備の適切な遂行	Ⅰ	最重要課題
1-5	町道の適正管理		
2-3	不法投棄やポイ捨て対策の遂行		
1-2	除雪や排雪処理の適切な遂行	Ⅱ	重要課題
1-3	水道や下水道の供給・処理の適切な遂行		
2-1	適切なごみ減量化対策 ※		
2-2	適切なゴミ分別やリサイクル対策		
1-1	町営住宅や若者定住住宅等の整備 ※	Ⅲ	要検討
1-6	道路整備の適切な遂行		
1-7	全体的な生活基盤整備		
2-4	再生可能エネルギーの適切な活用		
2-5	環境保全対策や低炭素社会の全体的な推進		

持続から発展のまちづくり

番号	項目	分布	
1-4	良好な婚活支援	Ⅰ	最重要課題
2-1	旅館等への宿泊利用者の増加 ※		
2-2	活発な観光イベントの実施 ※		
1-1	良好な雇用環境	Ⅱ	重要課題
1-2	良好な若者定住やUターン対策		
1-3	良好な空き家対策		
1-5	全体的な雇用環境整備や若者定住促進		
2-3	良好な農家と観光業の連携	Ⅲ	要検討
2-4	良好な国際交流の実践		
2-5	百万人交流にむけた着実性		
2-6	良好な観光業の振興及び交流促進	Ⅳ	現状維持

施策に関する満足度と重要度についての総括

●満足度と重要度の総合ランキング

≪満足度（低→高）≫

満足度			
D-2-1	旅館等への宿泊利用者の増加	13.211	低
B-2-3	良好な企業誘致にむけた取組	15.545	
D-2-5	百万人交流にむけた着実性	15.730	
B-2-5	充実した企業への支援	16.402	
D-1-4	良好な婚活支援	16.822	
D-2-4	良好な国際交流の実践	17.309	
D-2-2	活発な観光イベントの実施	17.463	
D-2-3	良好な農家と観光業の連携	17.615	
D-2-6	良好な観光業の振興及び交流促進	18.802	
D-1-2	良好な若者定住やUターン対策	19.190	
D-1-3	良好な空き家対策	19.431	
B-2-4	良好な商店街の活性化	19.515	
B-2-6	全体的な商工業の振興	19.676	
B-1-4	適正な鳥獣害対策	19.966	
D-1-5	全体的な雇用環境整備や若者定住促進	20.384	
D-1-1	良好な雇用環境	21.423	
B-1-3	農業後継者・担い手の育成、支援	21.599	
A-4-3	まちづくりの担い手やリーダーの育成	21.733	
A-3-2	子どもの学力の向上	21.895	
B-2-2	良好な農業と商工業の連携	24.187	
B-1-1	農業経営の安定・農家所得の増加	24.568	
A-4-4	活発な若者や女性の地域活動	24.790	
B-1-6	全体的な農林業の振興	24.894	
B-1-5	適正な森林の管理や整備	24.948	
A-4-2	中央公民館・すこやかプラザの図書サービス	25.613	
A-3-4	まちに誇りと愛着をもつための教育	28.464	
A-4-5	充実した文化芸術に関する催しやイベント	29.778	
A-3-3	地域に開かれた学校経営	29.959	
B-2-1	良好な特産品の開発・普及にむけた取組	30.385	
A-6-5	充実した高齢者等の外出支援（移動手段等）	30.465	
A-4-7	全体的な生涯学習・芸能文化の振興	30.777	
A-5-3	活発なスポーツ活動	31.294	
A-1-8	健全な町の財政運営	31.542	
A-4-1	充実した公民館の学級・講座	31.585	
C-1-6	道路整備の適切な遂行	32.148	
A-4-6	良好な文化財や伝統行事等の保存・伝承	32.358	

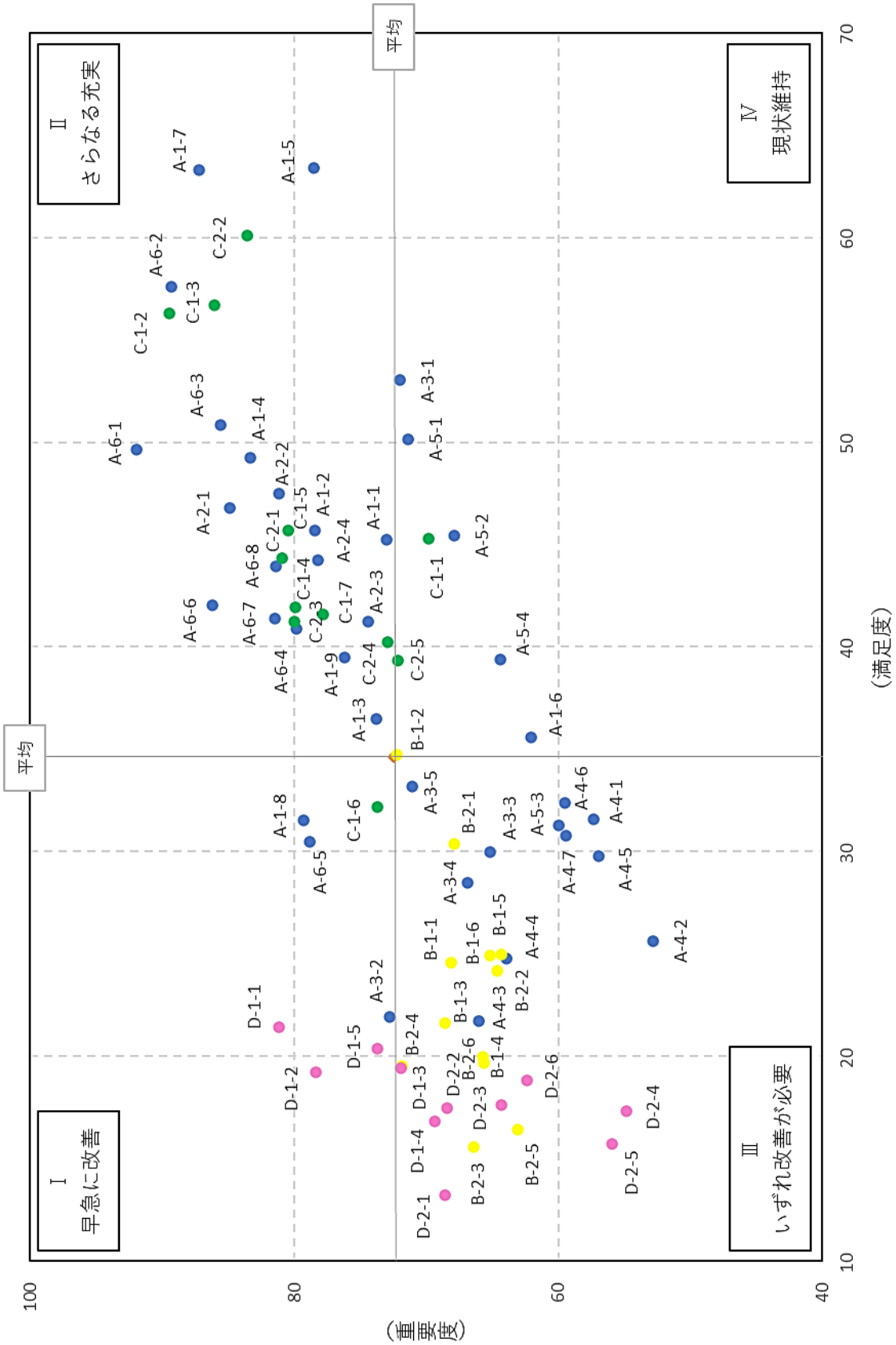
満足度			
A-3-5	学校教育の全体的な充実度	33.176	
B-1-2	適正な水路や農道の管理・整備	34.731	
A-1-6	町ホームページの充実度	35.548	
A-1-3	町民と町との話し合いの場	36.450	
C-2-5	環境保全対策や低炭素社会の全体的な推進	39.347	
A-5-4	全体的な健康づくり・生涯スポーツの推進	39.384	
A-1-9	町民と行政との全体的な信頼関係	39.451	
C-2-4	再生可能エネルギーの適切な活用	40.226	
A-6-4	充実した集落や高齢者への支え合い活動	40.883	
A-2-3	保育所・こども園と小学校との連携	41.225	
C-2-3	不法投棄やポイ捨て対策の遂行	41.225	
A-6-7	交通安全対策等の安全なまちづくり	41.373	
C-1-7	全体的な生活基盤整備	41.558	
C-1-4	河川整備の適切な遂行	41.902	
A-6-6	充実した地震や洪水等への防災対策	42.005	
A-6-8	安全・安心なまちづくりの全体的な推進	43.921	
A-2-4	子育て環境の全体的な充実度	44.245	
C-1-5	町道の適正管理	44.304	
A-1-1	活発な集落や地域におけるまちづくり	45.224	
C-1-1	町営住宅や若者定住住宅等の整備	45.262	
A-5-2	集落や地域での健康体力づくり	45.418	
A-1-2	良好な町民と町との信頼・協働関係	45.670	
C-2-1	適切なごみ減量化対策	45.695	
A-2-1	子どもが健やかに育つための地域環境	46.769	
A-2-2	充実している子育て環境	47.488	
A-1-4	良好な町の職員の対応	49.253	
A-6-1	安心して受けられる医療機関	49.653	
A-5-1	生涯現役生活を目指した健康づくり	50.148	
A-6-3	充実した健康や介護に関する相談体制	50.826	
A-3-1	適切な小学校の再編（統廃合）	53.009	
C-1-2	除雪や排雪処理の適切な遂行	56.301	
C-1-3	水道や下水道の供給・処理の適切な遂行	56.701	
A-6-2	充実した介護サービス施設	57.592	
C-2-2	適切なゴミ分別やリサイクル対策	60.091	
A-1-7	防災無線による情報提供	63.294	
A-1-5	広報もがみの充実度	63.401	高

≪重要度（高→低）≫

重要度			
A-6-1	安心して受けられる医療機関	91.957	高
C-1-2	除雪や排雪処理の適切な遂行	89.508	
A-6-2	充実した介護サービス施設	89.348	
A-1-7	防災無線による情報提供	87.190	
A-6-6	充実した地震や洪水等への防災対策	86.234	
C-1-3	水道や下水道の供給・処理の適切な遂行	86.077	
A-6-3	充実した健康や介護に関する相談体制	85.551	
A-2-1	子どもが健やかに育つための地域環境	84.906	
C-2-2	適切なゴミ分別やリサイクル対策	83.592	
A-1-4	良好な町の職員の対応	83.334	
A-6-7	交通安全対策等の安全なまちづくり	81.472	
A-6-8	安全・安心なまちづくりの全体的な推進	81.374	
A-2-2	充実している子育て環境	81.190	
D-1-1	良好な雇用環境	81.158	
C-1-5	町道の適正管理	80.932	
C-2-1	適切なごみ減量化対策	80.460	
C-2-3	不法投棄やポイ捨て対策の遂行	79.987	
C-1-4	河川整備の適切な遂行	79.917	
A-6-4	充実した集落や高齢者への支え合い活動	79.816	
A-1-8	健全な町の財政運営	79.284	
A-6-5	充実した高齢者等の外出支援（移動手段等）	78.826	
A-1-5	広報もがみの充実度	78.506	
A-1-2	良好な町民と町との信頼・協働関係	78.439	
D-1-2	良好な若者定住やUターン対策	78.356	
A-2-4	子育て環境の全体的な充実度	78.203	
C-1-7	全体的な生活基盤整備	77.805	
A-1-9	町民と行政との全体的な信頼関係	76.213	
A-2-3	保育所・こども園と小学校との連携	74.423	
A-1-3	町民と町との話し合いの場	73.799	
D-1-5	全体的な雇用環境整備や若者定住促進	73.707	
C-1-6	道路整備の適切な遂行	73.687	
A-1-1	活発な集落や地域におけるまちづくり	73.026	
C-2-4	再生可能エネルギーの適切な活用	72.970	
A-3-2	子どもの学力の向上	72.787	
B-1-2	適正な水路や農道の管理・整備	72.258	
C-2-5	環境保全対策や低炭素社会の全体的な推進	72.188	

重要度			
A-3-1	適切な小学校の再編（統廃合）	71.997	
D-1-3	良好な空き家対策	71.94	
B-2-4	良好な商店街の活性化	71.838	
A-5-1	生涯現役生活を目指した健康づくり	71.391	
A-3-5	学校教育の全体的な充実度	71.106	
C-1-1	町営住宅や若者定住住宅等の整備	69.798	
D-1-4	良好な婚活支援	69.333	
B-1-3	農業後継者・担い手の育成、支援	68.607	
D-2-1	旅館等への宿泊利用者の増加	68.587	
D-2-2	活発な観光イベントの実施	68.422	
B-1-1	農業経営の安定・農家所得の増加	68.156	
B-2-1	良好な特産品の開発・普及にむけた取組	67.899	
A-5-2	集落や地域での健康体力づくり	67.872	
A-3-4	まちに誇りと愛着をもつための教育	66.862	
B-2-3	良好な企業誘致にむけた取組	66.416	
A-4-3	まちづくりの担い手やリーダーの育成	66.026	
B-1-4	適正な鳥獣害対策	65.697	
B-2-6	全体的な商工業の振興	65.644	
B-1-6	全体的な農林業の振興	65.196	
A-3-3	地域に開かれた学校経営	65.141	
B-2-2	良好な農業と商工業の連携	64.644	
A-5-4	全体的な健康づくり・生涯スポーツの推進	64.403	
D-2-3	良好な農家と観光業の連携	64.36	
B-1-5	適正な森林の管理や整備	64.307	
A-4-4	活発な若者や女性の地域活動	63.921	
B-2-5	充実した企業への支援	63.067	
D-2-6	良好な観光業の振興及び交流促進	62.391	
A-1-6	町ホームページの充実度	62.099	
A-5-3	活発なスポーツ活動	59.94	
A-4-6	良好な文化財や伝統行事等の保存・伝承	59.508	
A-4-7	全体的な生涯学習・芸能文化の振興	59.451	
A-4-1	充実した公民館の学級・講座	57.364	
A-4-5	充実した文化芸術に関する催しやイベント	56.987	
D-2-5	百万人交流にむけた着実性	55.937	
D-2-4	良好な国際交流の実践	54.879	
A-4-2	中央公民館・すこやかプラザの図書サービス	52.818	低

●施策に関する満足度と重要度についての総括グラフ



人にやさしいまちづくり

A-1-1	活発な集落や地域におけるまちづくり
A-1-2	良好な町民と町との信頼・協働関係
A-1-3	町民と町との話し合いの場
A-1-4	良好な町の職員の対応
A-1-5	広報もがみの充実度
A-1-6	町ホームページの充実度
A-1-7	防災無線による情報提供
A-1-8	健全な町の財政運営
A-1-9	町民と行政との全体的な信頼関係
A-2-1	子どもが健やかに育つための地域環境
A-2-2	充実している子育て環境
A-2-3	保育所・こども園と小学校との連携
A-2-4	子育て環境の全体的な充実度
A-3-1	適切な小学校の再編（統廃合）
A-3-2	子どもの学力の向上
A-3-3	地域に開かれた学校経営
A-3-4	まちに誇りと愛着をもつための教育
A-3-5	学校教育の全体的な充実度
A-4-1	充実した公民館の学級・講座
A-4-2	中央公民館・すこやかプラザの図書サービス
A-4-3	まちづくりの担い手やリーダーの育成
A-4-4	活発な若者や女性の地域活動
A-4-5	充実した文化芸術に関する催しやイベント
A-4-6	良好な文化財や伝統行事等の保存・伝承
A-4-7	全体的な生涯学習・芸能文化の振興
A-5-1	生涯現役生活を目指した健康づくり
A-5-2	集落や地域での健康体力づくり
A-5-3	活発なスポーツ活動
A-5-4	全体的な健康づくり・生涯スポーツの推進
A-6-1	安心して受けられる医療機関
A-6-2	充実した介護サービス施設
A-6-3	充実した健康や介護に関する相談体制
A-6-4	充実した集落や高齢者への支え合い活動
A-6-5	充実した高齢者等の外出支援（移動手段等）
A-6-6	充実した地震や洪水等への防災対策
A-6-7	交通安全対策等の安全なまちづくり
A-6-8	安全・安心なまちづくりの全体的な推進

食にやさしいまちづくり

B-1-1	農業経営の安定・農家所得の増加
B-1-2	適正な水路や農道の管理・整備
B-1-3	農業後継者・担い手の育成、支援
B-1-4	適正な鳥獣害対策
B-1-5	適正な森林の管理や整備
B-1-6	全体的な農林業の振興
B-2-1	良好な特産品の開発・普及にむけた取組
B-2-2	良好な農業と商工業の連携
B-2-3	良好な企業誘致にむけた取組
B-2-4	良好な商店街の活性化
B-2-5	充実した企業への支援
B-2-6	全体的な商工業の振興

環境にやさしいまちづくり

C-1-1	町営住宅や若者定住住宅等の整備
C-1-2	除雪や排雪処理の適切な遂行
C-1-3	水道や下水道の供給・処理の適切な遂行
C-1-4	河川整備の適切な遂行
C-1-5	町道の適正管理
C-1-6	道路整備の適切な遂行
C-1-7	全体的な生活基盤整備
C-2-1	適切なごみ減量化対策
C-2-2	適切なゴミ分別やリサイクル対策
C-2-3	不法投棄やポイ捨て対策の遂行
C-2-4	再生可能エネルギーの適切な活用
C-2-5	環境保全対策や低炭素社会の全体的な推進

持続から発展のまちづくり

D-1-1	良好な雇用環境
D-1-2	良好な若者定住やUターン対策
D-1-3	良好な空き家対策
D-1-4	良好な婚活支援
D-1-5	全体的な雇用環境整備や若者定住促進
D-2-1	旅館等への宿泊利用者の増加
D-2-2	活発な観光イベントの実施
D-2-3	良好な農家と観光業の連携
D-2-4	良好な国際交流の実践
D-2-5	百万人交流にむけた着実性
D-2-6	良好な観光業の振興及び交流促進

≪総括≫

“人にやさしいまちづくり”“” 食にやさしいまちづくり” “環境にやさしいまちづくり” “持続から発展まちづくり”の 4 項目に関する全 72 の質問事項の評価を 1 つのグラフにまとめ、平均点を基準に 4 つに分類すると、概ね以下のとおりとなった。

Ⅰ 最重要課題（満足度は低いが重要度が高い施策）※緊急に取り組むべき課題

・健全な町の財政運営
・子どもの学力の向上
・充実した高齢者等の外出支援
・適切な道路整備
・良好な雇用環境
・良好な若者定住やＵターン対策　ほか

Ⅱ 重要課題（満足度と重要度が共に高い施策）※さらに充実して解決すべき課題

・広報もがみの充実度
・防災無線による情報提供
・充実した介護サービス施設
・除雪や排雪処理の適切な遂行
・適切なゴミ分別やリサイクル対策
・安心して受けられる医療機関　ほか

Ⅲ 要検討（満足度と重要度が共に低い施策）※必要に応じ推進・見直しの検討

・良好な国際交流の実践
・旅館等への宿泊利用者の増加
・良好な企業誘致にむけた取組
・中央公民館・すこやかプラザの図書サービス
・活発なスポーツ活動　ほか

Ⅳ 現状維持（満足度は高いが重要度が低い施策）※施策の効果・効率の検討

・町ホームページの充実度
・適切な小学校の再編
・生涯現役生活を目指した健康づくり
・集落や地域での健康体力づくり
・適正な水路や農道の管理・整備
・町営住宅や若者定住住宅等の整備　ほか

●評価区分

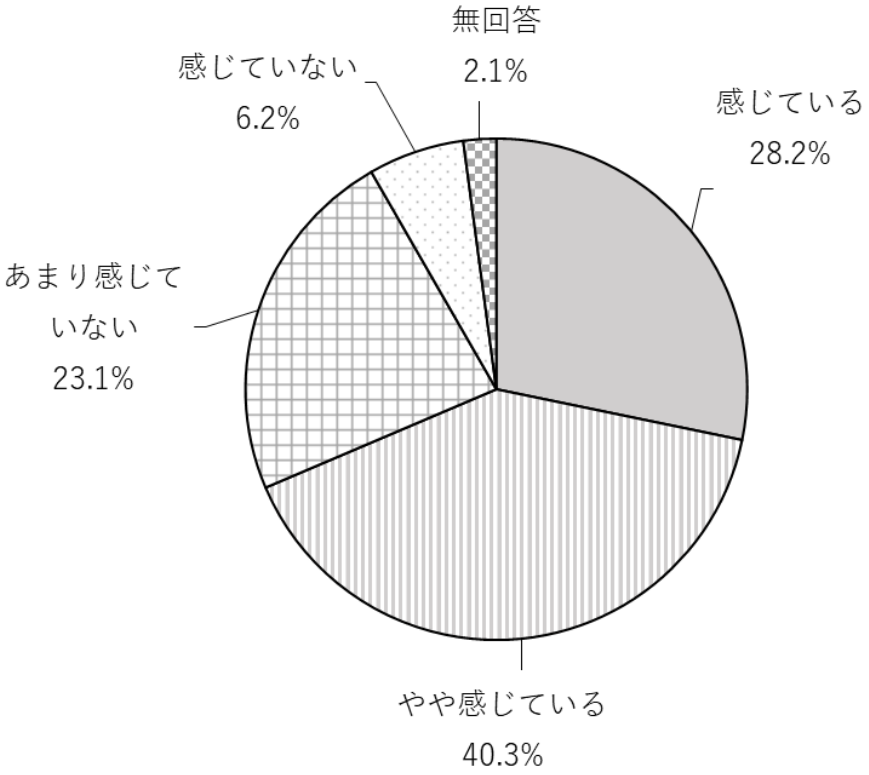
番号	項目	分布	
A-1-8	健全な町の財政運営	Ⅰ	最重要課題
A-3-2	子どもの学力の向上 ※		
A-6-5	充実した高齢者等の外出支援（移動手段等）		
C-1-6	道路整備の適切な遂行		
D-1-1	良好な雇用環境		
D-1-2	良好な若者定住やUターン対策		
D-1-5	全体的な雇用環境整備や若者定住促進		
A-1-1	活発な集落や地域におけるまちづくり ※	Ⅱ	重要課題
A-1-2	良好な町民と町との信頼・協働関係		
A-1-3	町民と町との話し合いの場		
A-1-4	良好な町の職員の対応		
A-1-5	広報もがみの充実度		
A-1-7	防災無線による情報提供		
A-2-1	子どもが健やかに育つための地域環境		
A-2-2	充実している子育て環境		
A-2-3	保育所・こども園と小学校との連携		
A-2-4	子育て環境の全体的な充実度 ※		
A-6-1	安心して受けられる医療機関		
A-6-2	充実した介護サービス施設		
A-6-3	充実した健康や介護に関する相談体制		
A-6-4	充実した集落や高齢者への支え合い活動		
A-6-6	充実した地震や洪水等への防災対策		
A-6-7	交通安全対策等の安全なまちづくり		
A-6-8	安全・安心なまちづくりの全体的な推進		
C-1-2	除雪や排雪処理の適切な遂行		
C-1-3	水道や下水道の供給・処理の適切な遂行		
C-1-4	河川整備の適切な遂行		
C-1-5	町道の適正管理		
C-1-7	全体的な生活基盤整備		
C-2-1	適切なごみ減量化対策		
C-2-2	適切なゴミ分別やリサイクル対策		
C-2-3	不法投棄やポイ捨て対策の遂行		
C-2-4	再生可能エネルギーの適切な活用		

（注）※のある施策項目については、それぞれ「満足度」「重要度」において平均値に近かったことにより、明確な分布判断が難しい状況である。

番号	項目	分布	
A-3-3	地域に開かれた学校経営	Ⅲ	要検討
A-3-4	まちに誇りと愛着をもつための教育		
A-3-5	学校教育の全体的な充実度		
A-4-1	充実した公民館の学級・講座		
A-4-2	中央公民館・すこやかプラザの図書サービス		
A-4-3	まちづくりの担い手やリーダーの育成		
A-4-4	活発な若者や女性の地域活動		
A-4-5	充実した文化芸術に関する催しやイベント		
A-4-6	良好な文化財や伝統行事等の保存・伝承		
A-4-7	全体的な生涯学習・芸能文化の振興		
A-5-3	活発なスポーツ活動		
B-1-1	農業経営の安定・農家所得の増加		
B-1-3	農業後継者・担い手の育成、支援		
B-1-4	適正な鳥獣害対策		
B-1-5	適正な森林の管理や整備		
B-1-6	全体的な農林業の振興		
B-2-1	良好な特産品の開発・普及にむけた取組		
B-2-2	良好な農業と商工業の連携		
B-2-3	良好な企業誘致にむけた取組		
B-2-4	良好な商店街の活性化 ※		
B-2-5	充実した企業への支援		
B-2-6	全体的な商工業の振興		
D-1-3	良好な空き家対策 ※		
D-1-4	良好な婚活支援		
D-2-1	旅館等への宿泊利用者の増加		
D-2-2	活発な観光イベントの実施		
D-2-3	良好な農家と観光業の連携		
D-2-4	良好な国際交流の実践		
D-2-5	百万人交流にむけた着実性		
D-2-6	良好な観光業の振興及び交流促進		
A-1-6	町ホームページの充実度	Ⅳ	現状維持
A-3-1	適切な小学校の再編（統廃合）※		
A-5-1	生涯現役生活を目指した健康づくり		
A-5-2	集落や地域での健康体力づくり		
A-5-4	全体的な健康づくり・生涯スポーツの推進		
B-1-2	適正な水路や農道の管理・整備 ※		
C-1-1	町営住宅や若者定住住宅等の整備		
C-2-5	環境保全対策や低炭素社会の全体的な推進 ※		

◆　最上町について

９. あなたは、最上町に「誇り」や「愛着」を感じていますか？



N＝662

・全体では、「感じている」「やや感じている」が約7割を占めている。

・性別では、男女間の差はほぼなく、「やや感じている」が男女ともに最も高く、4 割ほどとなっている。

・年齢別では、40 代で「あまり感じていない」が 32.5%と最も高く、30～40 代で「あまり感じていない」「感じていない」を合わせると 4 割を超えている。他年代では、「やや感じている」「感じている」での割合が高くなっている。

・居住区別では、全ての居住区で「感じている」「やや感じている」の割合が最も高くなっている。

・世帯構成別では、全ての世帯構成で「やや感じている」の割合が最も高くなっている。

・就業形態別では、ほぼ全ての就業形態で「やや感じている」の割合が高くなっている。経営者では「感じている」と答えた割合が最も高い一方、臨時雇用では「あまり感じていない」「感じていない」の割合に高い傾向がみられた。

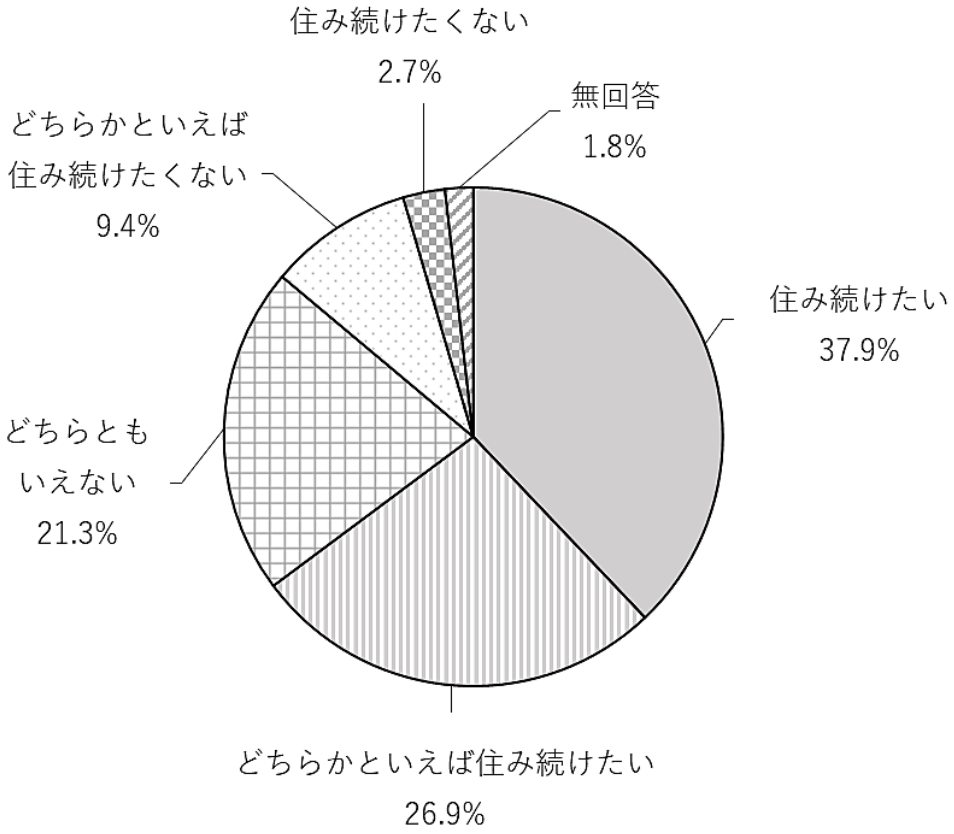
・業種別では、全ての業種において「感じている」「やや感じている」と答えた割合が高く、その中でも 1 次産業にその傾向が強くみられた。

・居住年数別では、5 年未満および 10 年以上で「やや感じている」の割合が最も高くなっているが、一方、5～9 年では約半数以上が「あまり感じていない」と回答している。

９. あなたは、最上町に「誇り」や「愛着」を感じていますか？

区分 ＼ 最上町に対する愛着		全体		感じている		やや感じている		あまり感じていない		感じていない		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
		662	100.0%	187	28.2%	267	40.3%	153	23.1%	41	6.2%	14	2.1%
性別	男性	303	100.0%	95	31.4%	123	40.6%	60	19.8%	19	6.3%	6	2.0%
	女性	349	100.0%	90	25.8%	141	40.4%	91	26.1%	21	6.0%	6	1.7%
	無回答	10	100.0%	2	20.0%	3	30.0%	2	20.0%	1	10.0%	2	20.0%
年齢	18～29歳	43	100.0%	7	16.3%	20	46.5%	13	30.2%	3	7.0%	0	0.0%
	30～39歳	71	100.0%	7	9.9%	33	46.5%	21	29.6%	9	12.7%	1	1.4%
	40～49歳	83	100.0%	21	25.3%	24	28.9%	27	32.5%	10	12.0%	1	1.2%
	50～59歳	119	100.0%	29	24.4%	51	42.9%	33	27.7%	5	4.2%	1	0.8%
	60～69歳	171	100.0%	52	30.4%	71	41.5%	34	19.9%	10	5.8%	4	2.3%
	70～79歳	115	100.0%	45	39.1%	45	39.1%	21	18.3%	3	2.6%	1	0.9%
	80歳以上	59	100.0%	26	44.1%	22	37.3%	4	6.8%	1	1.7%	6	10.2%
	無回答	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
居住区	旧富沢小学校区	80	100.0%	24	30.0%	27	33.8%	18	22.5%	9	11.3%	2	2.5%
	旧赤倉小学校区	39	100.0%	7	17.9%	23	59.0%	9	23.1%	0	0.0%	0	0.0%
	旧向町小学校区	237	100.0%	69	29.1%	87	36.7%	64	27.0%	12	5.1%	5	2.1%
	旧満沢小学校区	28	100.0%	10	35.7%	10	35.7%	7	25.0%	1	3.6%	0	0.0%
	旧東法田小学校区	30	100.0%	5	16.7%	16	53.3%	7	23.3%	1	3.3%	1	3.3%
	旧月楯小学校区	36	100.0%	7	19.4%	14	38.9%	11	30.6%	3	8.3%	1	2.8%
	旧大堀小学校区	183	100.0%	58	31.7%	74	40.4%	32	17.5%	14	7.7%	5	2.7%
	旧瀬見小学校区	22	100.0%	5	22.7%	12	54.5%	5	22.7%	0	0.0%	0	0.0%
	無回答	7	100.0%	2	28.6%	4	57.1%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%
世帯構成	単身	28	100.0%	7	25.0%	12	42.9%	8	28.6%	1	3.6%	0	0.0%
	夫婦のみ	122	100.0%	38	31.1%	50	41.0%	26	21.3%	6	4.9%	2	1.6%
	子どもと同居	168	100.0%	49	29.2%	69	41.1%	31	18.5%	12	7.1%	7	4.2%
	親と同居	131	100.0%	23	17.6%	57	43.5%	40	30.5%	10	7.6%	1	0.8%
	子どもと親と三世代同居	173	100.0%	57	32.9%	67	38.7%	37	21.4%	9	5.2%	3	1.7%
	その他	36	100.0%	10	27.8%	12	33.3%	11	30.6%	3	8.3%	0	0.0%
	無回答	4	100.0%	3	75.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%
就業形態	経営者（自営業を含む）	132	100.0%	53	40.2%	52	39.4%	19	14.4%	4	3.0%	4	3.0%
	常時雇用	250	100.0%	53	21.2%	110	44.0%	68	27.2%	18	7.2%	1	0.4%
	臨時雇用（パートを含む）	85	100.0%	15	17.6%	30	35.3%	30	35.3%	9	10.6%	1	1.2%
	無職	185	100.0%	64	34.6%	68	36.8%	35	18.9%	10	5.4%	8	4.3%
	無回答	10	100.0%	2	20.0%	7	70.0%	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%
業種	第１次産業（農林水産業）	75	100.0%	29	38.7%	31	41.3%	11	14.7%	3	4.0%	1	1.3%
	第2次産業（製造業、建設業、砕石業等）	132	100.0%	32	24.2%	61	46.2%	29	22.0%	10	7.6%	0	0.0%
	第3次産業（小売・卸売業、サービス業、公務）	232	100.0%	54	23.3%	88	37.9%	69	29.7%	16	6.9%	5	2.2%
	無回答	28	100.0%	6	21.4%	12	42.9%	8	28.6%	2	7.1%	0	0.0%
居住年数	5年未満	17	100.0%	2	11.8%	8	47.1%	2	11.8%	5	29.4%	0	0.0%
	5～９年	17	100.0%	1	5.9%	5	29.4%	10	58.8%	1	5.9%	0	0.0%
	１０～１９年	31	100.0%	8	25.8%	12	38.7%	7	22.6%	4	12.9%	0	0.0%
	２０～２９年	67	100.0%	11	16.4%	30	44.8%	25	37.3%	1	1.5%	0	0.0%
	３０年以上	528	100.0%	164	31.1%	212	40.2%	109	20.6%	29	5.5%	14	2.7%
	無回答	2	100.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%

10. あなたは、これからも最上町に住み続けたいと思いますか？



N＝662

・全体では、「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」が全体の約 6 割以上を占めている。また「どちらともいえない」が 21.3%、「どちらかといえば住み続けたくない」「住み続けたくない」と回答した割合は 12.1%となっている。

・性別では、「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」では男性の割合が女性を上回っており、逆に、「どちらともいえない」「どちらかといえば住み続けたくない」では女性の割合が高くなっている。

・年齢別では、30 代以下では「どちらかといえば住み続けたい」の割合が最も高く、40 代では「どちらともいえない」、50 代以上になると「住み続けたい」の割合が高くなっている。

・居住区別では、ほぼ全ての居住区において「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」の割合が最も高くなっているが、旧瀬見小学校区では「どちらともいえない」が高くなっており、「どちらかといえば住み続けたくない」が他の地域より 13.6%と高くなっている。

・世帯構成別では、全ての世帯構成において「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」の割合が最も高くなっている。

・就業形態別では、全ての就業形態において「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」の割合が最も高くなっているが、臨時雇用で「どちらかといえば住み続けたくない」が 17.6%で、他と比較して高くなっている。

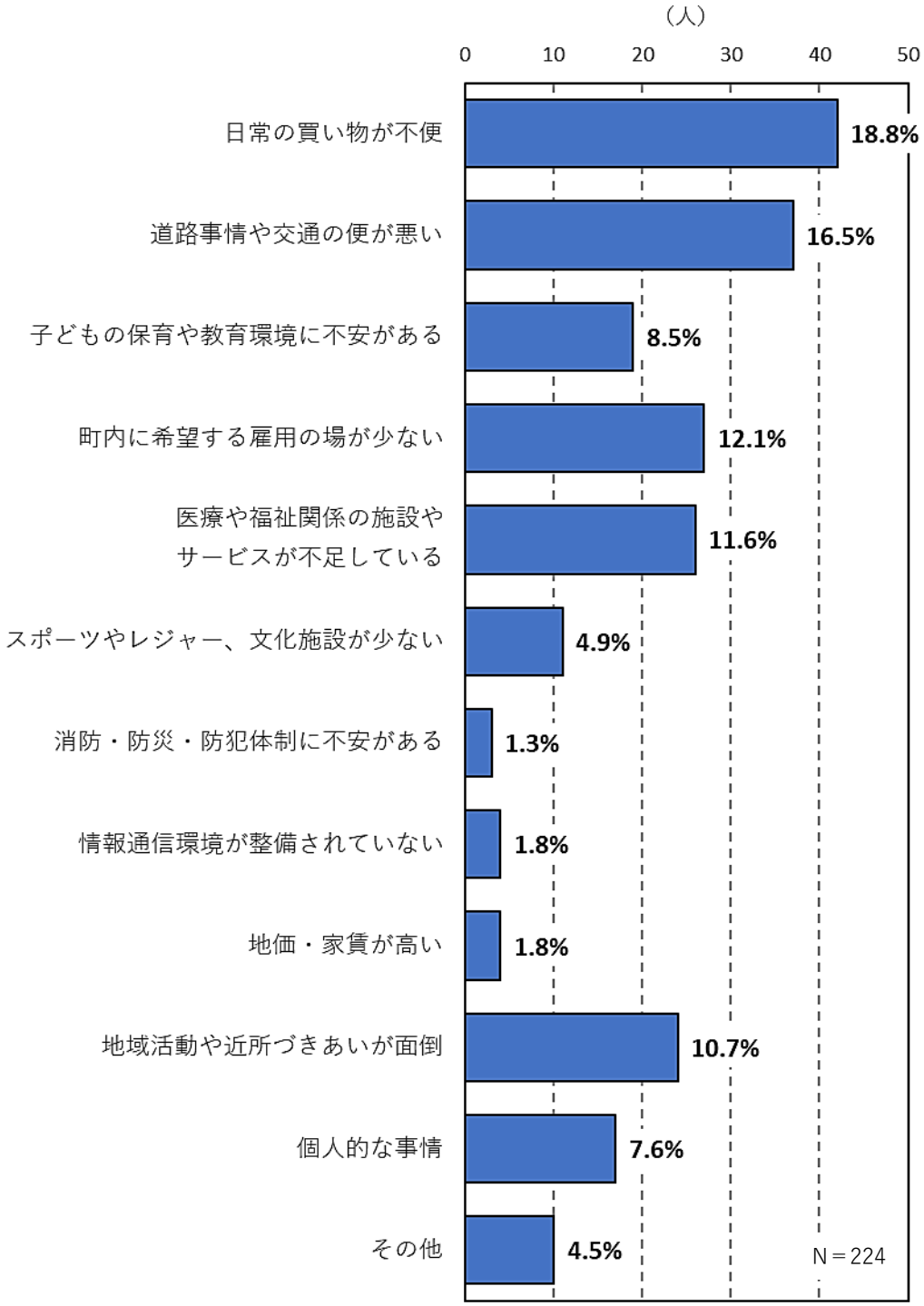
・業種別では、「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」で最も高いのが 1 次産業の 85.3%であり、次いで 2 次産業 66.6%、3 次産業 56.1%と続いた。一方「どちらかといえば住み続けたくない」「住み続けたくない」では、3 次産業が 16.4%、次いで 2 次産業 10.6%、1 次産業 4.0%と続いた。

・居住年数別では、5 年未満で「どちらかといえば住み続けたくない」の割合が最も高く、居住年数が増加するにつれて、「住み続けたい」の割合が多くなる傾向にあった。

10. あなたはこれからも最上町に住み続けたいと思いますか？

区分	居住継続の意向	全体		住み続けたい		どちらかといえば住み続けたい		どちらともいえない		どちらかといえば住み続けたくない		住み続けたくない		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
		662	100.0%	251	37.9%	178	26.9%	141	21.3%	62	9.4%	18	2.7%	12	1.8%
性別	男性	303	100.0%	129	42.6%	87	28.7%	54	17.8%	19	6.3%	11	3.6%	3	1.0%
	女性	349	100.0%	117	33.5%	91	26.1%	84	24.1%	43	12.3%	7	2.0%	7	2.0%
	無回答	10	100.0%	5	50.0%	0	0.0%	3	30.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	20.0%
年齢	18～29歳	43	100.0%	5	11.6%	16	37.2%	15	34.9%	4	9.3%	3	7.0%	0	0.0%
	30～39歳	71	100.0%	9	12.7%	24	33.8%	21	29.6%	11	15.5%	3	4.2%	3	4.2%
	40～49歳	83	100.0%	23	27.7%	23	27.7%	26	31.3%	10	12.0%	1	1.2%	0	0.0%
	50～59歳	119	100.0%	41	34.5%	32	26.9%	26	21.8%	16	13.4%	4	3.4%	0	0.0%
	60～69歳	171	100.0%	69	40.4%	53	31.0%	31	18.1%	11	6.4%	4	2.3%	3	1.8%
	70～79歳	115	100.0%	66	57.4%	22	19.1%	15	13.0%	8	7.0%	3	2.6%	1	0.9%
	80歳以上	59	100.0%	38	64.4%	8	13.6%	7	11.9%	1	1.7%	0	0.0%	5	8.5%
	無回答	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
居住区	旧富沢小学校区	80	100.0%	34	42.5%	15	18.8%	16	20.0%	9	11.3%	2	2.5%	4	5.0%
	旧赤倉小学校区	39	100.0%	15	38.5%	13	33.3%	8	20.5%	3	7.7%	0	0.0%	0	0.0%
	旧向町小学校区	237	100.0%	86	36.3%	66	27.8%	54	22.8%	23	9.7%	5	2.1%	3	1.3%
	旧満沢小学校区	28	100.0%	14	50.0%	4	14.3%	7	25.0%	2	7.1%	1	3.6%	0	0.0%
	旧東法田小学校区	30	100.0%	10	33.3%	13	43.3%	5	16.7%	1	3.3%	0	0.0%	1	3.3%
	旧月楯小学校区	36	100.0%	12	33.3%	6	16.7%	11	30.6%	2	5.6%	4	11.1%	1	2.8%
	旧大堀小学校区	183	100.0%	72	39.3%	54	29.5%	33	18.0%	17	9.3%	4	2.2%	3	1.6%
	旧瀬見小学校区	22	100.0%	6	27.3%	5	22.7%	7	31.8%	3	13.6%	1	4.5%	0	0.0%
	無回答	7	100.0%	2	28.6%	2	28.6%	0	0.0%	2	28.6%	1	14.3%	0	0.0%
世帯構成	単身	28	100.0%	11	39.3%	4	14.3%	9	32.1%	4	14.3%	0	0.0%	0	0.0%
	夫婦のみ	122	100.0%	52	42.6%	31	25.4%	20	16.4%	14	11.5%	4	3.3%	1	0.8%
	子どもと同居	168	100.0%	74	44.0%	40	23.8%	30	17.9%	13	7.7%	5	3.0%	6	3.6%
	親と同居	131	100.0%	31	23.7%	42	32.1%	34	26.0%	16	12.2%	7	5.3%	1	0.8%
	子どもと親と三世代同居	173	100.0%	66	38.2%	52	30.1%	38	22.0%	14	8.1%	0	0.0%	3	1.7%
	その他	36	100.0%	14	38.9%	9	25.0%	10	27.8%	1	2.8%	2	5.6%	0	0.0%
	無回答	4	100.0%	3	75.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%
就業形態	経営者（自営業を含む）	132	100.0%	71	53.8%	38	28.8%	16	12.1%	4	3.0%	2	1.5%	1	0.8%
	常時雇用	250	100.0%	67	26.8%	74	29.6%	72	28.8%	27	10.8%	7	2.8%	3	1.2%
	臨時雇用（パートを含む）	85	100.0%	20	23.5%	27	31.8%	17	20.0%	15	17.6%	5	5.9%	1	1.2%
	無職	185	100.0%	90	48.6%	33	17.8%	36	19.5%	15	8.1%	4	2.2%	7	3.8%
	無回答	10	100.0%	3	30.0%	6	60.0%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%
業種	第１次産業（農林水産業）	75	100.0%	43	57.3%	21	28.0%	7	9.3%	3	4.0%	0	0.0%	1	1.3%
	第2次産業（製造業、建設業、砕石業等）	132	100.0%	44	33.3%	44	33.3%	30	22.7%	10	7.6%	4	3.0%	0	0.0%
	第3次産業（小売・卸売業、サービス業、公務）	232	100.0%	63	27.2%	67	28.9%	60	25.9%	31	13.4%	7	3.0%	4	1.7%
	無回答	28	100.0%	8	28.6%	7	25.0%	8	28.6%	2	7.1%	3	10.7%	0	0.0%
居住年数	5年未満	17	100.0%	2	11.8%	5	29.4%	2	11.8%	6	35.3%	2	11.8%	0	0.0%
	5～９年	17	100.0%	2	11.8%	4	23.5%	7	41.2%	3	17.6%	1	5.9%	0	0.0%
	１０～１９年	31	100.0%	8	25.8%	9	29.0%	8	25.8%	5	16.1%	1	3.2%	0	0.0%
	２０～２９年	67	100.0%	12	17.9%	20	29.9%	26	38.8%	6	9.0%	3	4.5%	0	0.0%
	３０年以上	528	100.0%	226	42.8%	140	26.5%	98	18.6%	41	7.8%	11	2.1%	12	2.3%
	無回答	2	100.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%

11. 問 10 で 4 または 5 に回答した方にお聞きします。
最上町に住み続けたくない理由は何ですか？



・「住み続けたくない」「どちらかといえば住み続けたくない」と回答した 80 人に理由を聞いたところ、「日常の買い物が不便」が 18.8%で最も高く、次いで、「道路事情や交通の便が悪い」16.5%、「町内に希望する雇用の場が少ない」12.1%、「医療や福祉関係の施設やサービスが不足している」11.6%、「地域活動や近所づきあいが面倒」10.7%と続いた。

・性別では、全体の結果と同様の傾向がみられたが、「日常の買い物が不便」「医療や福祉関係の施設やサービスが不足している」において、女性の割合が男性を上回った。

・年齢別では、30 代以下では、「子どもの保育や教育環境に不安がある」「町内に希望する雇用の場が少ない」「スポーツやレジャー、文化施設が少ない」において、他年代より割合が高く、40 代以上では「医療や福祉関係の施設やサービスが不足している」の割合が高くなっている。

・居住区別では、ほぼ全体の結果と同様の傾向がみられたが、旧富沢小学校区で「町内に希望する雇用の場が少ない」と回答した割合が最も高かった。

・世帯構成別では、単身・夫婦のみ・子どもと親と三世代同居では、「医療や福祉関係の施設やサービスが不足している」と回答した割合が最も高かった。

・就業形態別では、臨時雇用で「町内に希望する雇用の場が少ない」「医療や福祉関係の施設やサービスが不足している」の割合が最も高かった。

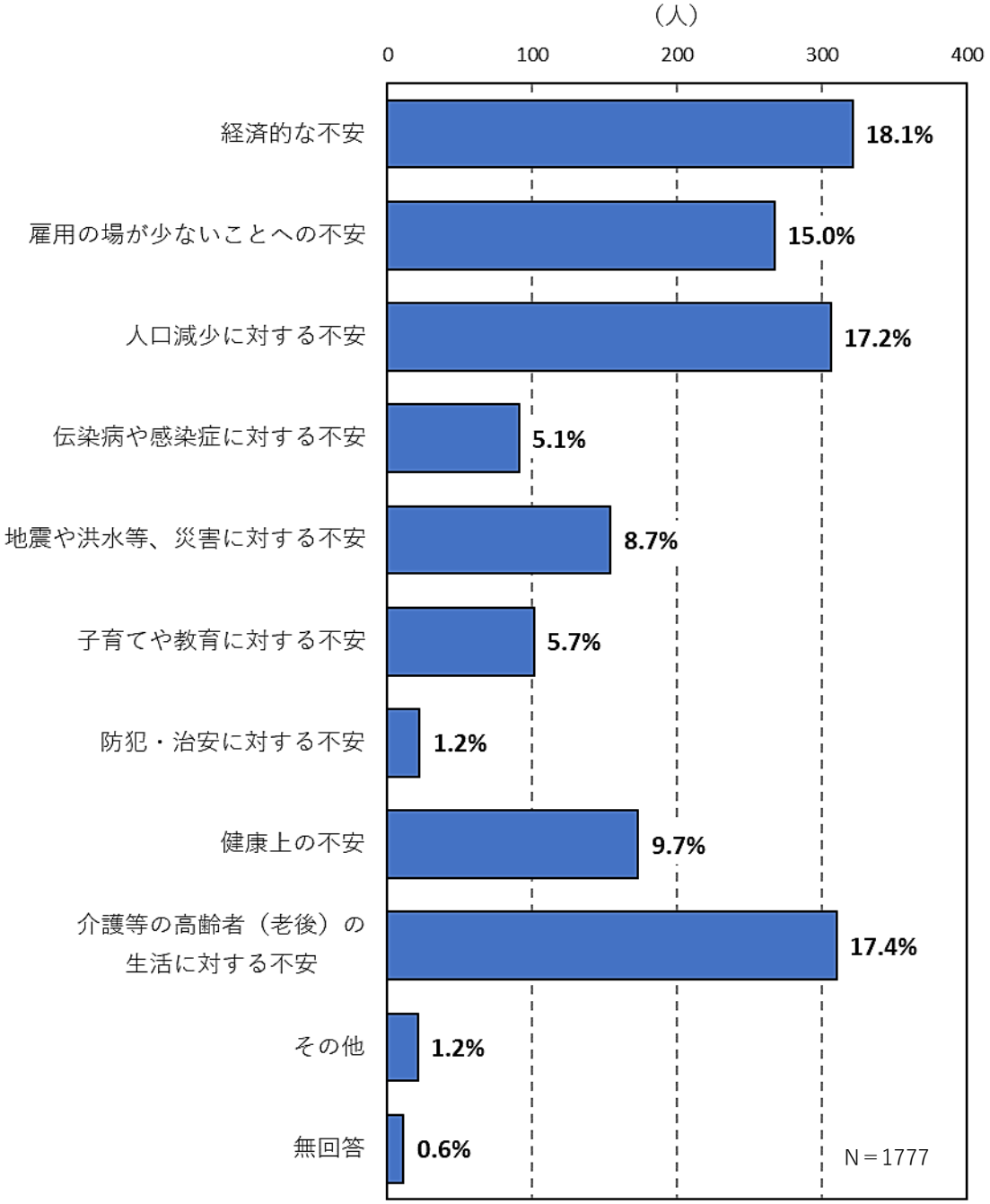
・業種別では、ほぼ全体の結果と同様の傾向がみられた。

・居住年数別では、ほぼ全体の結果と同様の傾向がみられたが、5 年未満では「子どもの保育や教育環境に不安がある」の割合が最も高くなっている。

11. 最上町に住み続けたくない理由は何ですか？

区分	住み続けたくない理由	全体		日常の買い物が不便		道路事情や交通の便が悪い		子どもの保育や教育環境に不安がある		町内に希望する雇用の場が少ない		医療や福祉関係の施設やサービスが不足している		スポーツやレジャー、文化施設が少ない		消防・防災・防犯体制に不安がある		情報通信環境が整備されていない		地価・家賃が高い		地域活動や近所付き合いが面倒		個人的な事情		その他	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
		224	100.0%	42	18.8%	37	16.5%	19	8.5%	27	12.1%	26	11.6%	11	4.9%	3	1.3%	4	1.8%	4	1.8%	24	10.7%	17	7.6%	10	4.5%
性別	男性	88	100.0%	13	14.8%	15	17.0%	8	9.1%	11	12.5%	8	9.1%	5	5.7%	3	3.4%	0	0.0%	1	1.1%	9	10.2%	8	9.1%	7	8.0%
	女性	136	100.0%	29	21.3%	22	16.2%	11	8.1%	16	11.8%	18	13.2%	6	4.4%	0	0.0%	4	2.9%	3	2.2%	15	11.0%	9	6.6%	3	2.2%
年齢	18～29歳	18	100.0%	4	22.2%	2	11.1%	3	16.7%	3	16.7%	1	5.6%	3	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	11.1%	0	0.0%
	30～39歳	38	100.0%	8	21.1%	5	13.2%	5	13.2%	4	10.5%	3	7.9%	2	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	18.4%	3	7.9%	1	2.6%
	40～49歳	32	100.0%	7	21.9%	8	25.0%	3	9.4%	4	12.5%	6	18.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%	0	0.0%	3	9.4%	0	0.0%	0	0.0%
	50～59歳	59	100.0%	9	15.3%	10	16.9%	4	6.8%	9	15.3%	6	10.2%	4	6.8%	0	0.0%	3	5.1%	0	0.0%	7	11.9%	5	8.5%	2	3.4%
	60～69歳	39	100.0%	7	17.9%	6	15.4%	1	2.6%	3	7.7%	5	12.8%	1	2.6%	1	2.6%	0	0.0%	1	2.6%	6	15.4%	3	7.7%	5	12.8%
	70～79歳	32	100.0%	7	21.9%	6	18.8%	2	6.3%	3	9.4%	4	12.5%	0	0.0%	2	6.3%	0	0.0%	3	9.4%	1	3.1%	3	9.4%	1	3.1%
	80歳以上	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	1	33.3%
	無回答	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	1	33.3%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
居住区	旧富沢小学校区	31	100.0%	4	12.9%	6	19.4%	1	3.2%	8	25.8%	3	9.7%	0	0.0%	1	3.2%	0	0.0%	3	9.7%	2	6.5%	1	3.2%	2	6.5%
	旧赤倉小学校区	9	100.0%	2	22.2%	3	33.3%	1	11.1%	1	11.1%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%
	旧向町小学校区	75	100.0%	15	20.0%	10	13.3%	7	9.3%	10	13.3%	8	10.7%	2	2.7%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	8	10.7%	11	14.7%	3	4.0%
	旧満沢小学校区	9	100.0%	2	22.2%	1	11.1%	1	11.1%	1	11.1%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	22.2%	1	11.1%	0	0.0%
	旧東法田小学校区	3	100.0%	1	33.3%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%
	旧月楯小学校区	17	100.0%	4	23.5%	4	23.5%	2	11.8%	0	0.0%	2	11.8%	1	5.9%	1	5.9%	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.9%	1	5.9%
	旧大堀小学校区	59	100.0%	11	18.6%	7	11.9%	6	10.2%	5	8.5%	9	15.3%	7	11.9%	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%	8	13.6%	2	3.4%	3	5.1%
	旧瀬見小学校区	12	100.0%	1	8.3%	3	25.0%	1	8.3%	1	8.3%	1	8.3%	0	0.0%	1	8.3%	0	0.0%	1	8.3%	2	16.7%	0	0.0%	1	8.3%
	無回答	9	100.0%	2	22.2%	2	22.2%	0	0.0%	1	11.1%	1	11.1%	1	11.1%	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%
世帯構成	単身	12	100.0%	2	16.7%	1	8.3%	1	8.3%	1	8.3%	2	16.7%	1	8.3%	1	8.3%	1	8.3%	1	8.3%	0	0.0%	1	8.3%	0	0.0%
	夫婦のみ	50	100.0%	8	16.0%	7	14.0%	3	6.0%	5	10.0%	9	18.0%	1	2.0%	1	2.0%	1	2.0%	2	4.0%	4	8.0%	5	10.0%	4	8.0%
	子どもと同居	49	100.0%	10	20.4%	8	16.3%	7	14.3%	6	12.2%	2	4.1%	3	6.1%	1	2.0%	0	0.0%	1	2.0%	5	10.2%	3	6.1%	3	6.1%
	親と同居	64	100.0%	12	18.8%	11	17.2%	4	6.3%	11	17.2%	5	7.8%	6	9.4%	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%	8	12.5%	6	9.4%	0	0.0%
	子どもと親と三世代同居	40	100.0%	8	20.0%	8	20.0%	2	5.0%	4	10.0%	8	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.5%	0	0.0%	5	12.5%	2	5.0%	2	5.0%
	その他	9	100.0%	2	22.2%	2	22.2%	2	22.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	22.2%	0	0.0%	1	11.1%
就業形態	経営者（自営業を含む）	17	100.0%	5	29.4%	4	23.5%	1	5.9%	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	3	17.6%	2	11.8%	0	0.0%
	常時雇用	98	100.0%	20	20.4%	17	17.3%	9	9.2%	11	11.2%	10	10.2%	8	8.2%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	11	11.2%	7	7.1%	4	4.1%
	臨時雇用（パートを含む）	52	100.0%	7	13.5%	8	15.4%	2	3.8%	9	17.3%	9	17.3%	2	3.8%	1	1.9%	3	5.8%	1	1.9%	6	11.5%	3	5.8%	1	1.9%
	無職	54	100.0%	10	18.5%	7	13.0%	6	11.1%	6	11.1%	6	11.1%	1	1.9%	1	1.9%	0	0.0%	3	5.6%	4	7.4%	5	9.3%	5	9.3%
	無回答	3	100.0%	0	0.0%	1	33.3%	1	33.3%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
業種	第１次産業（農林水産業）	9	100.0%	2	22.2%	3	33.3%	1	11.1%	1	11.1%	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%
	第2次産業（製造業、建設業、砕石業等）	37	100.0%	7	18.9%	6	16.2%	1	2.7%	7	18.9%	3	8.1%	2	5.4%	2	5.4%	2	5.4%	0	0.0%	2	5.4%	4	10.8%	1	2.7%
	第3次産業（小売・卸売業、サービス業、公務）	106	100.0%	20	18.9%	18	17.0%	8	7.5%	12	11.3%	12	11.3%	5	4.7%	0	0.0%	2	1.9%	1	0.9%	16	15.1%	8	7.5%	4	3.8%
	無回答	15	100.0%	3	20.0%	2	13.3%	2	13.3%	1	6.7%	4	26.7%	2	13.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%
居住年数	5年未満	22	100.0%	4	18.2%	2	9.1%	5	22.7%	3	13.6%	2	9.1%	3	13.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.5%	2	9.1%	0	0.0%
	5～９年	12	100.0%	2	16.7%	2	16.7%	1	8.3%	1	8.3%	2	16.7%	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	25.0%	0	0.0%	0	0.0%
	１０～１９年	15	100.0%	3	20.0%	2	13.3%	0	0.0%	3	20.0%	1	6.7%	2	13.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	13.3%	2	13.3%	0	0.0%
	２０～２９年	26	100.0%	5	19.2%	5	19.2%	3	11.5%	2	7.7%	4	15.4%	3	11.5%	0	0.0%	3	11.5%	0	0.0%	1	3.8%	0	0.0%	0	0.0%
	３０年以上	147	100.0%	28	19.0%	26	17.7%	9	6.1%	17	11.6%	17	11.6%	2	1.4%	3	2.0%	1	0.7%	4	2.7%	17	11.6%	13	8.8%	10	6.8%
	無回答	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

12. あなたは、日常の暮らしの中でどんなところに不安を感じていますか？



・全体では、日常的に感じる不安では「経済的な不安」が 18.4％と最も高く、次いで「介護等の高齢者（老後）の生活に対する不安」17.4％、「人口減少に対する不安」17.2％、「雇用の場が少ないことへの不安」15.0％と続いた。

・性別では、全体の結果とほぼ同様の傾向がみられたが、「人口減少に対する不安」に関しては男性の割合が女性より高く、「地震や洪水等、災害に対する不安」では女性が男性を上回っている。

・年齢別では、40 代以下では、「経済的な不安」「雇用の場が少ないことへの不安」「子育てや教育に対する不安」の割合が高い一方、40 代以上では「介護等の高齢者（老後）の生活に対する不安」の割合が高くなっている。

・居住区別では、ほぼ全体の結果と同様の傾向がみられた。

・世帯構成別では、夫婦のみで「介護等の高齢者（老後）の生活に対する不安」の割合が最も高く、子どもと親と三世代同居で「人口減少に対する不安」が最も高くなっている。

・就業形態別では、経営者で「人口減少に対する不安」、無職で「介護等の高齢者（老後）の生活に対する不安」の割合が最も高かった。また、常時雇用・臨時雇用ともに経済的不安が最も高かった。

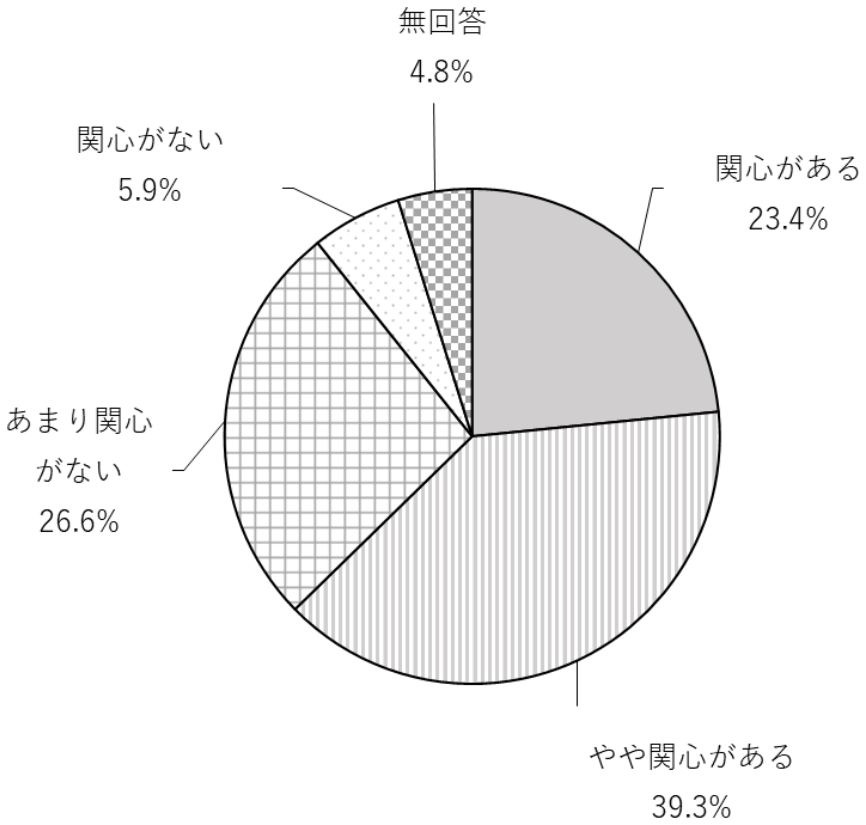
・業種別では、1 次産業で「人口減少に対する不安」、第 2・3 次産業で「経済的な不安」の割合が最も高かった。

・居住年数別では、5 年未満では「子育てや教育に対する不安」の割合が最も高く、5～19 年では「雇用の場が少ないことへの不安」、20～29 年では「経済的な不安」、30 年以上では、「介護等の高齢者（老後）の生活に対する不安」の割合が最も高かった。

12. あなたは、日常の暮らしの中でどんなところに不安を感じていますか？

区分	日常的に感じる不安	全体		経済的な不安		雇用の場が少ないことへの不安		人口減少に対する不安		伝染病や感染症に対する不安		地震や洪水等、災害に対する不安		子育てや教育に対する不安		防犯・治安に対する不安		健康上の不安		介護等の高齢者（老後）の生活に対する不安		その他		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
		1777	100.0%	321	18.1%	267	15.0%	306	17.2%	91	5.1%	154	8.7%	101	5.7%	22	1.2%	173	9.7%	310	17.4%	21	1.2%	11	0.6%
性別	男性	824	100.0%	148	18.0%	124	15.0%	163	19.8%	35	4.2%	61	7.4%	49	5.9%	5	0.6%	83	10.1%	146	17.7%	7	0.8%	3	0.4%
	女性	931	100.0%	170	18.3%	141	15.1%	139	14.9%	55	5.9%	92	9.9%	50	5.4%	16	1.7%	87	9.3%	161	17.3%	14	1.5%	6	0.6%
	無回答	22	100.0%	3	13.6%	2	9.1%	4	18.2%	1	4.5%	1	4.5%	2	9.1%	1	4.5%	3	13.6%	3	13.6%	0	0.0%	2	9.1%
年齢	18～29歳	113	100.0%	21	18.6%	12	10.6%	13	11.5%	14	12.4%	19	16.8%	18	15.9%	2	1.8%	6	5.3%	5	4.4%	3	2.7%	0	0.0%
	30～39歳	194	100.0%	42	21.6%	35	18.0%	29	14.9%	16	8.2%	14	7.2%	27	13.9%	5	2.6%	7	3.6%	17	8.8%	0	0.0%	2	1.0%
	40～49歳	223	100.0%	44	19.7%	51	22.9%	31	13.9%	7	3.1%	12	5.4%	28	12.6%	1	0.4%	7	3.1%	40	17.9%	2	0.9%	0	0.0%
	50～59歳	320	100.0%	57	17.8%	55	17.2%	56	17.5%	11	3.4%	28	8.8%	11	3.4%	3	0.9%	28	8.8%	66	20.6%	5	1.6%	0	0.0%
	60～69歳	452	100.0%	81	17.9%	59	13.1%	82	18.1%	17	3.8%	44	9.7%	8	1.8%	4	0.9%	60	13.3%	90	19.9%	4	0.9%	3	0.7%
	70～79歳	321	100.0%	54	16.8%	37	11.5%	64	19.9%	17	5.3%	24	7.5%	8	2.5%	5	1.6%	43	13.4%	65	20.2%	3	0.9%	1	0.3%
	80歳以上	151	100.0%	22	14.6%	18	11.9%	31	20.5%	8	5.3%	13	8.6%	0	0.0%	2	1.3%	21	13.9%	27	17.9%	4	2.6%	5	3.3%
	無回答	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
居住区	旧富沢小学校区	212	100.0%	38	17.9%	39	18.4%	34	16.0%	9	4.2%	18	8.5%	13	6.1%	2	0.9%	16	7.5%	40	18.9%	1	0.5%	2	0.9%
	旧赤倉小学校区	107	100.0%	19	17.8%	15	14.0%	21	19.6%	2	1.9%	11	10.3%	5	4.7%	1	0.9%	11	10.3%	18	16.8%	4	3.7%	0	0.0%
	旧向町小学校区	635	100.0%	111	17.5%	98	15.4%	123	19.4%	30	4.7%	49	7.7%	42	6.6%	7	1.1%	56	8.8%	106	16.7%	9	1.4%	4	0.6%
	旧満沢小学校区	79	100.0%	10	12.7%	14	17.7%	13	16.5%	7	8.9%	8	10.1%	3	3.8%	3	3.8%	10	12.7%	11	13.9%	0	0.0%	0	0.0%
	旧東法田小学校区	80	100.0%	12	15.0%	6	7.5%	11	13.8%	6	7.5%	14	17.5%	5	6.3%	0	0.0%	9	11.3%	15	18.8%	1	1.3%	1	1.3%
	旧月楯小学校区	101	100.0%	24	23.8%	10	9.9%	19	18.8%	1	1.0%	12	11.9%	4	4.0%	0	0.0%	11	10.9%	19	18.8%	0	0.0%	1	1.0%
	旧大堀小学校区	485	100.0%	93	19.2%	78	16.1%	74	15.3%	29	6.0%	31	6.4%	26	5.4%	8	1.6%	52	10.7%	87	17.9%	4	0.8%	3	0.6%
	旧瀬見小学校区	61	100.0%	10	16.4%	4	6.6%	8	13.1%	6	9.8%	10	16.4%	2	3.3%	1	1.6%	5	8.2%	13	21.3%	2	3.3%	0	0.0%
	無回答	17	100.0%	4	23.5%	3	17.6%	3	17.6%	1	5.9%	1	5.9%	1	5.9%	0	0.0%	3	17.6%	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%
世帯構成	単身	67	100.0%	13	19.4%	8	11.9%	8	11.9%	4	6.0%	7	10.4%	3	4.5%	2	3.0%	9	13.4%	12	17.9%	1	1.5%	0	0.0%
	夫婦のみ	330	100.0%	54	16.4%	37	11.2%	56	17.0%	15	4.5%	36	10.9%	6	1.8%	1	0.3%	46	13.9%	74	22.4%	4	1.2%	1	0.3%
	子どもと同居	454	100.0%	87	19.2%	57	12.6%	77	17.0%	24	5.3%	37	8.1%	24	5.3%	10	2.2%	53	11.7%	73	16.1%	5	1.1%	7	1.5%
	親と同居	361	100.0%	74	20.5%	58	16.1%	56	15.5%	20	5.5%	28	7.8%	18	5.0%	9	2.5%	28	7.8%	62	17.2%	8	2.2%	0	0.0%
	子どもと親と三世代同居	455	100.0%	71	15.6%	88	19.3%	90	19.8%	24	5.3%	38	8.4%	40	8.8%	0	0.0%	27	5.9%	73	16.0%	2	0.4%	2	0.4%
	その他	100	100.0%	21	21.0%	16	16.0%	16	16.0%	4	4.0%	8	8.0%	10	10.0%	0	0.0%	10	10.0%	14	14.0%	1	1.0%	0	0.0%
	無回答	10	100.0%	1	10.0%	3	30.0%	3	30.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	20.0%	0	0.0%	1	10.0%
就業形態	経営者（自営業を含む）	345	100.0%	63	18.3%	41	11.9%	80	23.2%	14	4.1%	25	7.2%	11	3.2%	6	1.7%	36	10.4%	63	18.3%	5	1.4%	1	0.3%
	常時雇用	679	100.0%	129	19.0%	121	17.8%	114	16.8%	33	4.9%	57	8.4%	60	8.8%	6	0.9%	39	5.7%	111	16.3%	8	1.2%	1	0.1%
	臨時雇用（パートを含む）	232	100.0%	53	22.8%	44	19.0%	28	12.1%	14	6.0%	21	9.1%	8	3.4%	3	1.3%	20	8.6%	37	15.9%	2	0.9%	2	0.9%
	無職	491	100.0%	70	14.3%	57	11.6%	77	15.7%	28	5.7%	49	10.0%	20	4.1%	7	1.4%	76	15.5%	94	19.1%	6	1.2%	7	1.4%
	無回答	30	100.0%	6	20.0%	4	13.3%	7	23.3%	2	6.7%	2	6.7%	2	6.7%	0	0.0%	2	6.7%	5	16.7%	0	0.0%	0	0.0%
業種	第１次産業（農林水産業）	204	100.0%	34	16.7%	26	12.7%	40	19.6%	13	6.4%	18	8.8%	1	0.5%	4	2.0%	24	11.8%	42	20.6%	1	0.5%	1	0.5%
	第2次産業（製造業、建設業、砕石業等）	365	100.0%	81	22.2%	64	17.5%	59	16.2%	14	3.8%	32	8.8%	24	6.6%	3	0.8%	27	7.4%	58	15.9%	2	0.5%	1	0.3%
	第3次産業（小売・卸売業、サービス業、公務）	612	100.0%	112	18.3%	103	16.8%	110	18.0%	30	4.9%	45	7.4%	47	7.7%	8	1.3%	40	6.5%	104	17.0%	11	1.8%	2	0.3%
	無回答	75	100.0%	18	24.0%	13	17.3%	13	17.3%	4	5.3%	8	10.7%	7	9.3%	0	0.0%	4	5.3%	7	9.3%	1	1.3%	0	0.0%
居住年数	5年未満	48	100.0%	5	10.4%	8	16.7%	6	12.5%	5	10.4%	8	16.7%	9	18.8%	1	2.1%	1	2.1%	4	8.3%	0	0.0%	1	2.1%
	5～９年	47	100.0%	8	17.0%	11	23.4%	7	14.9%	3	6.4%	4	8.5%	5	10.6%	0	0.0%	4	8.5%	5	10.6%	0	0.0%	0	0.0%
	１０～１９年	84	100.0%	14	16.7%	19	22.6%	12	14.3%	4	4.8%	6	7.1%	15	17.9%	0	0.0%	2	2.4%	11	13.1%	1	1.2%	0	0.0%
	２０～２９年	180	100.0%	35	19.4%	25	13.9%	28	15.6%	13	7.2%	20	11.1%	18	10.0%	2	1.1%	12	6.7%	23	12.8%	4	2.2%	0	0.0%
	３０年以上	1,414	100.0%	258	18.2%	203	14.4%	253	17.9%	66	4.7%	116	8.2%	53	3.7%	19	1.3%	154	10.9%	266	18.8%	16	1.1%	10	0.7%
	無回答	4	100.0%	1	25.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%

13. あなたは、最上町の町政に関心をお持ちですか？



N＝662

・全体では、「関心がある」および「やや関心がある」は全体の約 6 割を占めている。一方、「あまり関心がない」「関心がない」と答えた割合は約 3 割ほどとなっている。

・性別では、「関心がある」と答えた割合は、男性が女性より高く、一方、「あまり関心がない」では女性が男性を上回る結果となった。

・年齢別では、30 歳未満で「あまり関心がない」と答えた割合が最も高く、30～40 代においても、「あまり関心がない」と答えた割合が 50 代以上と比較して高い傾向がみられた。また、80 代以上では「関心がある」が最も高くなっており、全体として、年代が高くなるにつれて関心が高い傾向があり、逆に年代が若くなるにつれて関心が低い傾向がみられた。

・居住区別では、ほぼ全体の結果と同様の傾向がみられたが、「関心がない」の割合が、富沢・満沢・東法田の旧小学校区で他の地区と比較して高かった。

・世帯構成別では、ほぼ全体の結果と同様の傾向がみられたが、夫婦のみで「関心がある」と答えた割合は、他世帯構成と比較して高くなっており、また、親と同居では「あまり関心がない」の割合が高くなっている。

・就業形態別では、ほぼ全体の結果と同様の傾向がみられたが、経営者で「関心がある」と答えた割合は、他と比較して高くなっており、また、臨時雇用では「あまり関心がない」の割合が高くなっている。

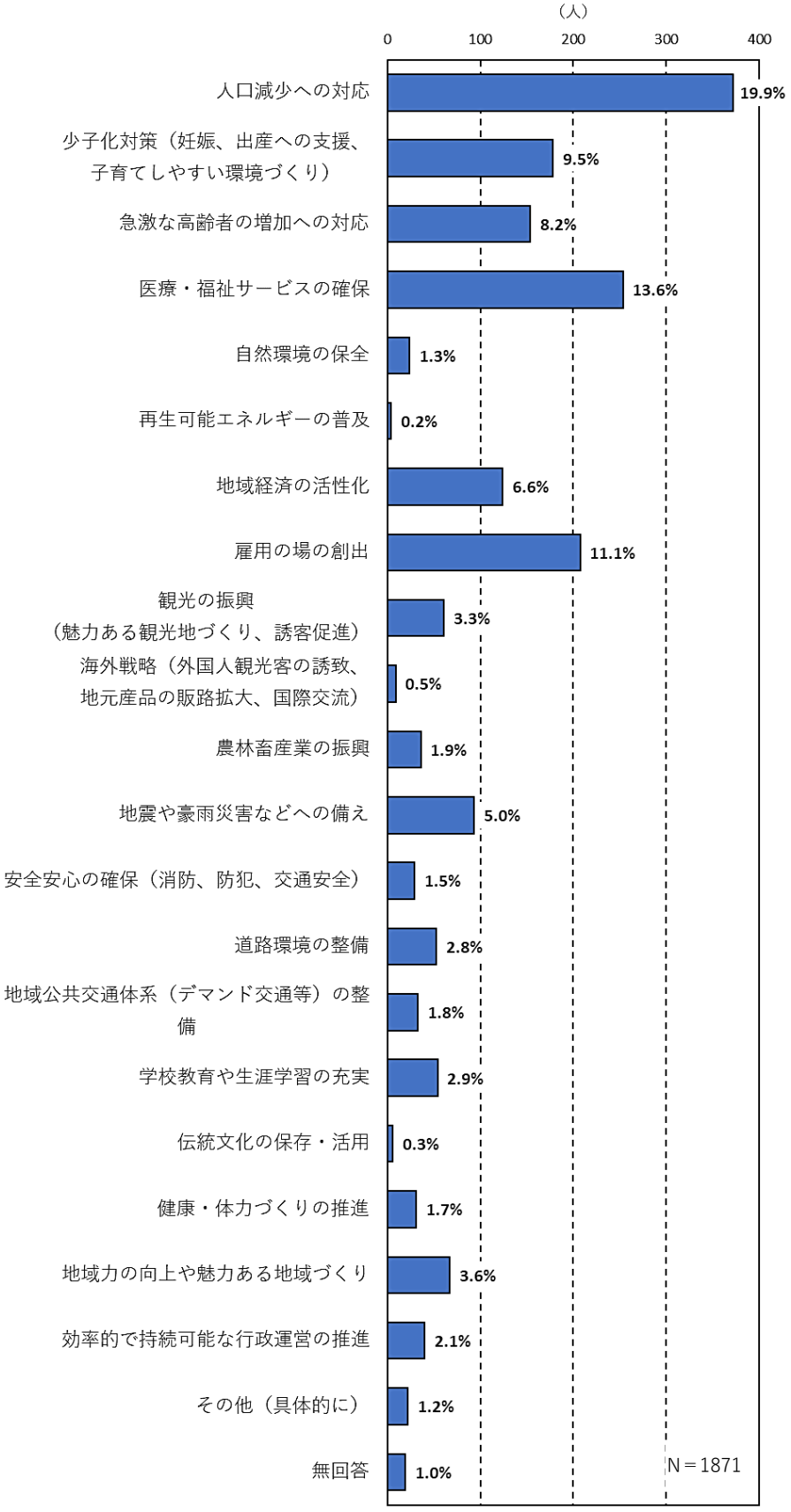
・業種別では、ほぼ全体の結果と同様の傾向がみられた。

・居住年数別では、5 年未満では「あまり関心がない」の割合が最も高く、5 年以上では「やや関心がある」で最も高い割合となっている。

13. あなたは、最上町の町政に関心をお持ちですか？

区分 ＼ 町政への関心		全体		関心がある		やや関心がある		あまり関心がない		関心がない		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
		662	100.0%	187	28.2%	267	40.3%	60	9.1%	19	2.9%	6	0.9%
性別	男性	303	100.0%	94	31.0%	115	38.0%	64	21.1%	19	6.3%	11	3.6%
	女性	349	100.0%	60	17.2%	142	40.7%	111	31.8%	20	5.7%	16	4.6%
	無回答	10	100.0%	1	10.0%	3	30.0%	1	10.0%	0	0.0%	5	50.0%
年齢	18～29歳	43	100.0%	4	9.3%	15	34.9%	19	44.2%	5	11.6%	0	0.0%
	30～39歳	71	100.0%	8	11.3%	29	40.8%	28	39.4%	3	4.2%	3	4.2%
	40～49歳	83	100.0%	13	15.7%	28	33.7%	30	36.1%	11	13.3%	1	1.2%
	50～59歳	119	100.0%	30	25.2%	50	42.0%	32	26.9%	4	3.4%	3	2.5%
	60～69歳	171	100.0%	42	24.6%	72	42.1%	41	24.0%	8	4.7%	8	4.7%
	70～79歳	115	100.0%	32	27.8%	53	46.1%	19	16.5%	5	4.3%	6	5.2%
	80歳以上	59	100.0%	26	44.1%	12	20.3%	7	11.9%	3	5.1%	11	18.6%
	無回答	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
居住区	旧富沢小学校区	80	100.0%	15	18.8%	29	36.3%	22	27.5%	9	11.3%	5	6.3%
	旧赤倉小学校区	39	100.0%	7	17.9%	21	53.8%	10	25.6%	1	2.6%	0	0.0%
	旧向町小学校区	237	100.0%	55	23.2%	89	37.6%	69	29.1%	11	4.6%	13	5.5%
	旧満沢小学校区	28	100.0%	7	25.0%	8	28.6%	9	32.1%	3	10.7%	1	3.6%
	旧東法田小学校区	30	100.0%	6	20.0%	11	36.7%	8	26.7%	4	13.3%	1	3.3%
	旧月楯小学校区	36	100.0%	8	22.2%	15	41.7%	9	25.0%	2	5.6%	2	5.6%
	旧大堀小学校区	183	100.0%	49	26.8%	75	41.0%	42	23.0%	8	4.4%	9	4.9%
	旧瀬見小学校区	22	100.0%	7	31.8%	8	36.4%	6	27.3%	0	0.0%	1	4.5%
	無回答	7	100.0%	1	14.3%	4	57.1%	1	14.3%	1	14.3%	0	0.0%
世帯構成	単身	28	100.0%	7	25.0%	9	32.1%	8	28.6%	0	0.0%	4	14.3%
	夫婦のみ	122	100.0%	43	35.2%	44	36.1%	25	20.5%	7	5.7%	3	2.5%
	子どもと同居	168	100.0%	36	21.4%	63	37.5%	45	26.8%	7	4.2%	17	10.1%
	親と同居	131	100.0%	18	13.7%	54	41.2%	45	34.4%	12	9.2%	2	1.5%
	子どもと親と三世代同居	173	100.0%	41	23.7%	78	45.1%	43	24.9%	9	5.2%	2	1.2%
	その他	36	100.0%	9	25.0%	11	30.6%	10	27.8%	4	11.1%	2	5.6%
	無回答	4	100.0%	1	25.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%
就業形態	経営者（自営業を含む）	132	100.0%	43	32.6%	50	37.9%	28	21.2%	5	3.8%	6	4.5%
	常時雇用	250	100.0%	49	19.6%	106	42.4%	72	28.8%	18	7.2%	5	2.0%
	臨時雇用（パートを含む）	85	100.0%	11	12.9%	34	40.0%	32	37.6%	7	8.2%	1	1.2%
	無職	185	100.0%	49	26.5%	67	36.2%	41	22.2%	9	4.9%	19	10.3%
	無回答	10	100.0%	3	30.0%	3	30.0%	3	30.0%	0	0.0%	1	10.0%
業種	第１次産業（農林水産業）	75	100.0%	19	25.3%	29	38.7%	21	28.0%	2	2.7%	4	5.3%
	第2次産業（製造業、建設業、砕石業等）	132	100.0%	33	25.0%	53	40.2%	33	25.0%	12	9.1%	1	0.8%
	第3次産業（小売・卸売業、サービス業、公務）	232	100.0%	41	17.7%	99	42.7%	72	31.0%	14	6.0%	6	2.6%
	無回答	28	100.0%	10	35.7%	9	32.1%	6	21.4%	2	7.1%	1	3.6%
居住年数	5年未満	17	100.0%	0	0.0%	5	29.4%	10	58.8%	0	0.0%	2	11.8%
	5～９年	17	100.0%	2	11.8%	8	47.1%	4	23.5%	3	17.6%	0	0.0%
	１０～１９年	31	100.0%	9	29.0%	11	35.5%	7	22.6%	4	12.9%	0	0.0%
	２０～２９年	67	100.0%	9	13.4%	28	41.8%	24	35.8%	5	7.5%	1	1.5%
	３０年以上	528	100.0%	134	25.4%	208	39.4%	131	24.8%	27	5.1%	28	5.3%
	無回答	2	100.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%

14. あなたは今後、最上町がどのようなことに重点的に取り組むべきだと思いますか？



・全体では、「人口減少への対応」が 19.9%と最も高く、次いで「医療・福祉サービスの確保」13.6%、「雇用の場の創出」11.1%、「少子化対策」9.5%、「急激な高齢者の増加への対応」8.2%と続いた。

・性別では、全体での傾向と同様の結果となっているが、「地震や豪雨災害などへの備え」で女性が男性を上回っている。

・年齢別では、全体での傾向と同様の結果となっているが、30～40 代で「学校教育や生涯学習の充実」が他の年代と比較して高くなっている。

・居住区別では、ほぼ全体の結果と同様の傾向がみられたが、「地域経済の活性化」の割合が、旧赤倉小学校区で他の地区と比較して高かった。また、「地震や豪雨災害などの備え」では、旧東法田小学校区、旧瀬見小学校区に高い割合がみられた。

・世帯構成別では、ほぼ全体の結果と同様の傾向がみられたが、「地域公共交通体系の整備」の割合が、単身・夫婦のみ世帯で他と比較して高かった。

・就業形態別では、ほぼ全体の結果と同様の傾向がみられ、常時雇用で「少子化対策」、臨時雇用・無職で「地震や豪雨災害などへの備え」の割合が他と比較して高かった。

・業種別では、ほぼ全体の結果と同様の傾向がみられ、1 次産業で「高齢者の増加への対応」、2 次・3 次産業で「少子化対策」「雇用の場の創出」の割合が他と比較して高かった。

・居住年数別では、5 年未満では「少子化対策」、5～19 年で「雇用の場の創出」、20 年以上で「人口減少への対応」の割合が最も高かった。また、「学校教育や生涯学習の充実」が 10～19 年で他と比して高い割合であった。

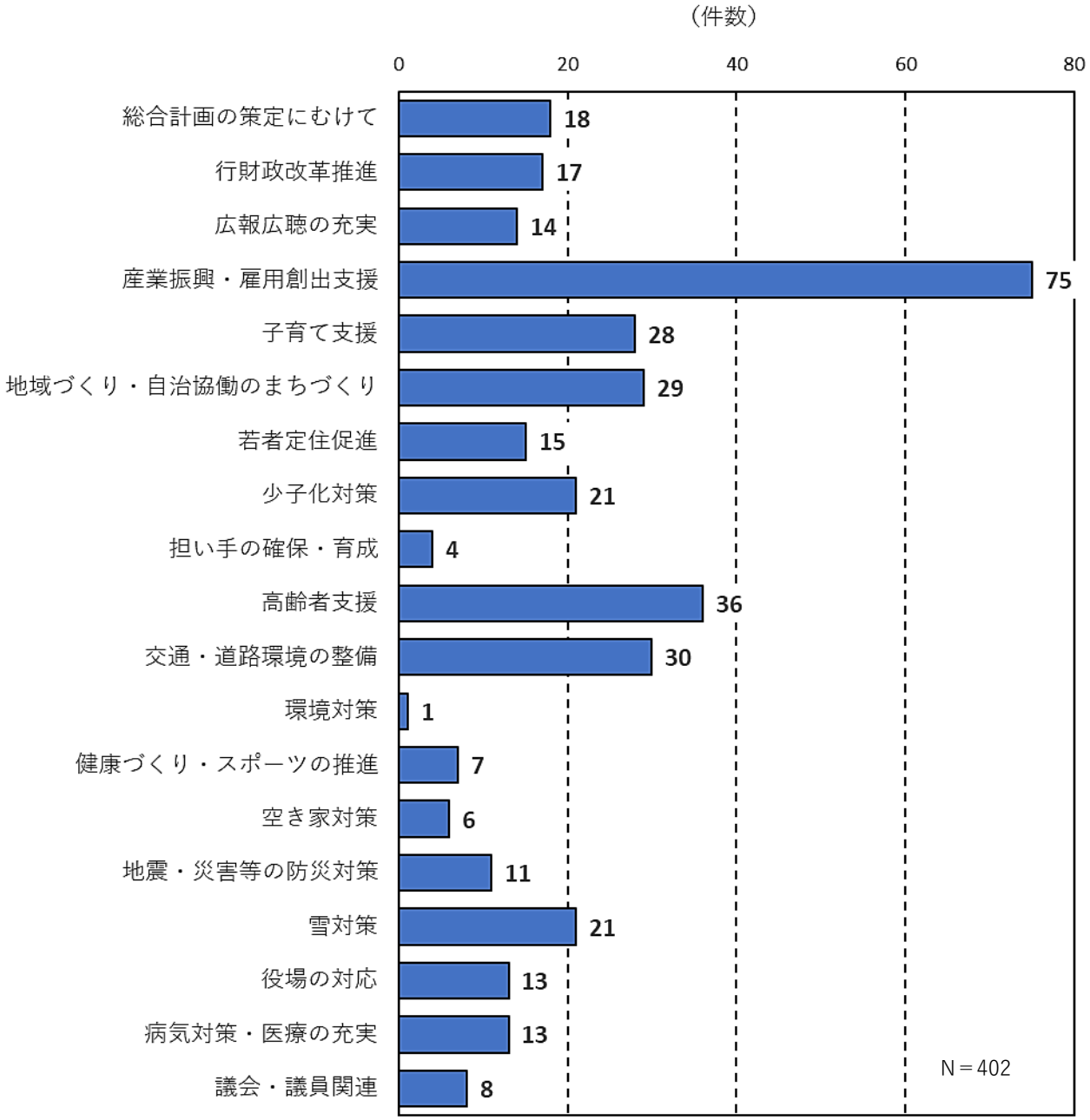
14. あなたは今後、最上町がどのようなことに重点的に取り組むべきだと思いますか？

区分	重点的に取り組むべき施策	全体		人口減少への対応		少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）		急激な高齢者の増加への対応		医療・福祉サービスの確保		自然環境の保全		再生可能エネルギーの普及		地域経済の活性化		雇用の場の創出		観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）		海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）		農林畜産業の振興	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
		1871	100.0%	372	19.9%	178	9.5%	154	8.2%	254	13.6%	24	1.3%	4	0.2%	124	6.6%	208	11.1%	61	3.3%	9	0.5%	36	1.9%
性別	男性	856	100.0%	175	20.4%	83	9.7%	78	9.1%	111	13.0%	14	1.6%	3	0.4%	69	8.1%	97	11.3%	25	2.9%	4	0.5%	22	2.6%
	女性	993	100.0%	193	19.4%	94	9.5%	74	7.5%	142	14.3%	9	0.9%	1	0.1%	53	5.3%	109	11.0%	36	3.6%	5	0.5%	13	1.3%
	無回答	22	100.0%	4	18.2%	1	4.5%	2	9.1%	1	4.5%	1	4.5%	0	0.0%	2	9.1%	2	9.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.5%
年齢	18～29歳	123	100.0%	17	13.8%	23	18.7%	16	13.0%	11	8.9%	1	0.8%	1	0.8%	8	6.5%	10	8.1%	6	4.9%	1	0.8%	2	1.6%
	30～39歳	197	100.0%	27	13.7%	34	17.3%	15	7.6%	27	13.7%	4	2.0%	0	0.0%	8	4.1%	28	14.2%	8	4.1%	1	0.5%	1	0.5%
	40～49歳	236	100.0%	36	15.3%	18	7.6%	12	5.1%	33	14.0%	3	1.3%	0	0.0%	16	6.8%	35	14.8%	15	6.4%	2	0.8%	4	1.7%
	50～59歳	347	100.0%	69	19.9%	35	10.1%	36	10.4%	46	13.3%	1	0.3%	0	0.0%	24	6.9%	48	13.8%	12	3.5%	3	0.9%	8	2.3%
	60～69歳	487	100.0%	101	20.7%	37	7.6%	35	7.2%	69	14.2%	8	1.6%	2	0.4%	39	8.0%	51	10.5%	12	2.5%	1	0.2%	10	2.1%
	70～79歳	322	100.0%	85	26.4%	16	5.0%	26	8.1%	45	14.0%	5	1.6%	1	0.3%	22	6.8%	25	7.8%	5	1.6%	1	0.3%	8	2.5%
	80歳以上	156	100.0%	37	23.7%	14	9.0%	14	9.0%	22	14.1%	2	1.3%	0	0.0%	7	4.5%	11	7.1%	3	1.9%	0	0.0%	3	1.9%
	無回答	3	100.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
居住区	旧富沢小学校区	221	100.0%	38	17.2%	24	10.9%	16	7.2%	31	14.0%	2	0.9%	1	0.5%	11	5.0%	32	14.5%	10	4.5%	0	0.0%	3	1.4%
	旧赤倉小学校区	115	100.0%	22	19.1%	9	7.8%	9	7.8%	15	13.0%	2	1.7%	0	0.0%	13	11.3%	9	7.8%	9	7.8%	2	1.7%	0	0.0%
	旧向町小学校区	658	100.0%	132	20.1%	60	9.1%	59	9.0%	84	12.8%	11	1.7%	1	0.2%	43	6.5%	84	12.8%	15	2.3%	3	0.5%	15	2.3%
	旧満沢小学校区	80	100.0%	16	20.0%	11	13.8%	8	10.0%	9	11.3%	1	1.3%	0	0.0%	3	3.8%	9	11.3%	3	3.8%	0	0.0%	1	1.3%
	旧東法田小学校区	88	100.0%	17	19.3%	5	5.7%	7	8.0%	15	17.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	5.7%	8	9.1%	1	1.1%	0	0.0%	3	3.4%
	旧月楯小学校区	102	100.0%	20	19.6%	10	9.8%	7	6.9%	11	10.8%	0	0.0%	0	0.0%	8	7.8%	12	11.8%	5	4.9%	2	2.0%	4	3.9%
	旧大堀小学校区	524	100.0%	109	20.8%	51	9.7%	44	8.4%	76	14.5%	6	1.1%	1	0.2%	37	7.1%	49	9.4%	14	2.7%	1	0.2%	8	1.5%
	旧瀬見小学校区	63	100.0%	12	19.0%	5	7.9%	3	4.8%	13	20.6%	1	1.6%	1	1.6%	4	6.3%	3	4.8%	4	6.3%	1	1.6%	1	1.6%
	無回答	20	100.0%	6	30.0%	3	15.0%	1	5.0%	0	0.0%	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.0%
世帯構成	単身	75	100.0%	18	24.0%	4	5.3%	4	5.3%	10	13.3%	2	2.7%	1	1.3%	3	4.0%	6	8.0%	0	0.0%	1	1.3%	3	4.0%
	夫婦のみ	354	100.0%	80	22.6%	21	5.9%	20	5.6%	53	15.0%	11	3.1%	1	0.3%	23	6.5%	33	9.3%	12	3.4%	2	0.6%	7	2.0%
	子どもと同居	457	100.0%	87	19.0%	37	8.1%	38	8.3%	60	13.1%	4	0.9%	0	0.0%	31	6.8%	46	10.1%	15	3.3%	2	0.4%	7	1.5%
	親と同居	376	100.0%	67	17.8%	43	11.4%	41	10.9%	47	12.5%	3	0.8%	2	0.5%	29	7.7%	42	11.2%	17	4.5%	3	0.8%	7	1.9%
	子どもと親と三世代同居	497	100.0%	95	19.1%	60	12.1%	38	7.6%	67	13.5%	3	0.6%	0	0.0%	33	6.6%	67	13.5%	14	2.8%	1	0.2%	12	2.4%
	その他	103	100.0%	22	21.4%	12	11.7%	11	10.7%	16	15.5%	1	1.0%	0	0.0%	5	4.9%	13	12.6%	3	2.9%	0	0.0%	0	0.0%
	無回答	9	100.0%	3	33.3%	1	11.1%	2	22.2%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
就業形態	経営者（自営業を含む）	375	100.0%	85	22.7%	28	7.5%	33	8.8%	37	9.9%	8	2.1%	0	0.0%	35	9.3%	34	9.1%	13	3.5%	3	0.8%	14	3.7%
	常時雇用	713	100.0%	122	17.1%	88	12.3%	66	9.3%	107	15.0%	4	0.6%	2	0.3%	46	6.5%	98	13.7%	27	3.8%	5	0.7%	11	1.5%
	臨時雇用（パートを含む）	245	100.0%	46	18.8%	15	6.1%	17	6.9%	28	11.4%	5	2.0%	0	0.0%	17	6.9%	30	12.2%	13	5.3%	0	0.0%	3	1.2%
	無職	510	100.0%	114	22.4%	43	8.4%	35	6.9%	78	15.3%	7	1.4%	2	0.4%	25	4.9%	43	8.4%	7	1.4%	0	0.0%	8	1.6%
	無回答	28	100.0%	5	17.9%	4	14.3%	3	10.7%	4	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.6%	3	10.7%	1	3.6%	1	3.6%	0	0.0%
業種	第１次産業（農林水産業）	211	100.0%	51	24.2%	14	6.6%	21	10.0%	23	10.9%	5	2.4%	0	0.0%	18	8.5%	19	9.0%	4	1.9%	0	0.0%	17	8.1%
	第2次産業（製造業、建設業、砕石業等）	379	100.0%	73	19.3%	39	10.3%	32	8.4%	60	15.8%	4	1.1%	2	0.5%	25	6.6%	46	12.1%	11	2.9%	1	0.3%	3	0.8%
	第3次産業（小売・卸売業、サービス業、公務）	664	100.0%	113	17.0%	71	10.7%	55	8.3%	84	12.7%	6	0.9%	0	0.0%	51	7.7%	85	12.8%	32	4.8%	6	0.9%	8	1.2%
	無回答	79	100.0%	16	20.3%	7	8.9%	8	10.1%	5	6.3%	2	2.5%	0	0.0%	4	5.1%	12	15.2%	6	7.6%	1	1.3%	0	0.0%
居住年数	5年未満	48	100.0%	6	12.5%	10	20.8%	4	8.3%	9	18.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	6.3%	5	10.4%	1	2.1%	1	2.1%	1	2.1%
	5～９年	47	100.0%	8	17.0%	8	17.0%	3	6.4%	5	10.6%	1	2.1%	0	0.0%	1	2.1%	12	25.5%	2	4.3%	0	0.0%	1	2.1%
	１０～１９年	84	100.0%	11	13.1%	10	11.9%	2	2.4%	9	10.7%	1	1.2%	0	0.0%	3	3.6%	11	13.1%	4	4.8%	0	0.0%	1	1.2%
	２０～２９年	198	100.0%	32	16.2%	23	11.6%	20	10.1%	21	10.6%	3	1.5%	1	0.5%	11	5.6%	21	10.6%	8	4.0%	1	0.5%	6	3.0%
	３０年以上	1489	100.0%	315	21.2%	126	8.5%	125	8.4%	210	14.1%	19	1.3%	3	0.2%	106	7.1%	158	10.6%	46	3.1%	7	0.5%	26	1.7%
	無回答	5	100.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%

14. あなたは今後、最上町がどのようなことに重点的に取り組むべきだと思いますか？

区分 ＼ 重点に取り組むべき施策		全体		地震や豪雨災害などへの備え		安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）		道路環境の整備		地域公共交通体系（デマンド交通等）の整備		学校教育や生涯学習の充実		伝統文化の保存・活用と文化芸術の振興		健康・体力づくりの推進		地域力の向上や魅力ある地域づくり		効率的で持続可能な行政運営の推進		その他（具体的に）		無回答	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
		1871	100.0%	93	5.0%	29	1.5%	53	2.8%	33	1.8%	54	2.9%	6	0.3%	31	1.7%	67	3.6%	40	2.1%	22	1.2%	19	1.0%
性別	男性	856	100.0%	25	2.9%	15	1.8%	29	3.4%	12	1.4%	16	1.9%	4	0.5%	12	1.4%	20	2.3%	22	2.6%	11	1.3%	9	1.1%
	女性	993	100.0%	67	6.7%	14	1.4%	24	2.4%	21	2.1%	36	3.6%	2	0.2%	18	1.8%	47	4.7%	18	1.8%	11	1.1%	6	0.6%
	無回答	22	100.0%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	9.1%	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	18.2%
年齢	18～29歳	123	100.0%	6	4.9%	1	0.8%	6	4.9%	0	0.0%	2	1.6%	0	0.0%	3	2.4%	6	4.9%	1	0.8%	2	1.6%	0	0.0%
	30～39歳	197	100.0%	11	5.6%	4	2.0%	3	1.5%	0	0.0%	14	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.0%	5	2.5%	2	1.0%	1	0.5%
	40～49歳	236	100.0%	9	3.8%	3	1.3%	5	2.1%	4	1.7%	18	7.6%	2	0.8%	0	0.0%	13	5.5%	4	1.7%	3	1.3%	1	0.4%
	50～59歳	347	100.0%	13	3.7%	3	0.9%	10	2.9%	4	1.2%	6	1.7%	2	0.6%	3	0.9%	10	2.9%	9	2.6%	4	1.2%	1	0.3%
	60～69歳	487	100.0%	29	6.0%	10	2.1%	16	3.3%	10	2.1%	8	1.6%	0	0.0%	10	2.1%	21	4.3%	11	2.3%	4	0.8%	3	0.6%
	70～79歳	322	100.0%	18	5.6%	5	1.6%	11	3.4%	11	3.4%	4	1.2%	1	0.3%	7	2.2%	9	2.8%	8	2.5%	5	1.6%	4	1.2%
	80歳以上	156	100.0%	7	4.5%	3	1.9%	2	1.3%	4	2.6%	2	1.3%	1	0.6%	8	5.1%	3	1.9%	2	1.3%	2	1.3%	9	5.8%
	無回答	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
居住区	旧富沢小学校区	221	100.0%	7	3.2%	2	0.9%	8	3.6%	9	4.1%	4	1.8%	0	0.0%	8	3.6%	7	3.2%	3	1.4%	1	0.5%	4	1.8%
	旧赤倉小学校区	115	100.0%	5	4.3%	2	1.7%	3	2.6%	2	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	9	7.8%	1	0.9%	2	1.7%	0	0.0%
	旧向町小学校区	658	100.0%	35	5.3%	5	0.8%	14	2.1%	11	1.7%	24	3.6%	3	0.5%	11	1.7%	19	2.9%	15	2.3%	6	0.9%	8	1.2%
	旧満沢小学校区	80	100.0%	4	5.0%	3	3.8%	5	6.3%	1	1.3%	1	1.3%	0	0.0%	2	2.5%	2	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%
	旧東法田小学校区	88	100.0%	9	10.2%	1	1.1%	4	4.5%	3	3.4%	3	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.4%	3	3.4%	0	0.0%	1	1.1%
	旧月楯小学校区	102	100.0%	5	4.9%	1	1.0%	2	2.0%	1	1.0%	1	1.0%	0	0.0%	2	2.0%	4	3.9%	3	2.9%	2	2.0%	2	2.0%
	旧大堀小学校区	524	100.0%	18	3.4%	15	2.9%	14	2.7%	5	1.0%	21	4.0%	3	0.6%	5	1.0%	21	4.0%	14	2.7%	10	1.9%	2	0.4%
	旧瀬見小学校区	63	100.0%	9	14.3%	0	0.0%	1	1.6%	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%	1	1.6%	0	0.0%	1	1.6%	1	1.6%
	無回答	20	100.0%	1	5.0%	0	0.0%	2	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.0%	1	5.0%	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%
世帯構成	単身	75	100.0%	5	6.7%	1	1.3%	2	2.7%	4	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	5.3%	3	4.0%	1	1.3%	1	1.3%	2	2.7%
	夫婦のみ	354	100.0%	22	6.2%	4	1.1%	14	4.0%	13	3.7%	5	1.4%	1	0.3%	10	2.8%	10	2.8%	7	2.0%	5	1.4%	0	0.0%
	子どもと同居	457	100.0%	27	5.9%	11	2.4%	7	1.5%	7	1.5%	19	4.2%	1	0.2%	9	2.0%	21	4.6%	7	1.5%	7	1.5%	14	3.1%
	親と同居	376	100.0%	18	4.8%	8	2.1%	10	2.7%	3	0.8%	3	0.8%	1	0.3%	3	0.8%	15	4.0%	9	2.4%	5	1.3%	0	0.0%
	子どもと親と三世代同居	497	100.0%	17	3.4%	4	0.8%	18	3.6%	5	1.0%	21	4.2%	2	0.4%	5	1.0%	18	3.6%	13	2.6%	3	0.6%	1	0.2%
	その他	103	100.0%	4	3.9%	1	1.0%	2	1.9%	1	1.0%	6	5.8%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.9%	1	1.0%	1	1.0%
	無回答	9	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%
就業形態	経営者（自営業を含む）	375	100.0%	14	3.7%	5	1.3%	14	3.7%	5	1.3%	5	1.3%	3	0.8%	5	1.3%	14	3.7%	14	3.7%	3	0.8%	3	0.8%
	常時雇用	713	100.0%	23	3.2%	12	1.7%	18	2.5%	5	0.7%	27	3.8%	1	0.1%	6	0.8%	20	2.8%	14	2.0%	9	1.3%	2	0.3%
	臨時雇用（パートを含む）	245	100.0%	23	9.4%	2	0.8%	7	2.9%	5	2.0%	10	4.1%	0	0.0%	1	0.4%	10	4.1%	8	3.3%	4	1.6%	1	0.4%
	無職	510	100.0%	33	6.5%	10	2.0%	13	2.5%	16	3.1%	11	2.2%	2	0.4%	19	3.7%	23	4.5%	3	0.6%	6	1.2%	12	2.4%
	無回答	28	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.6%	2	7.1%	1	3.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.6%	0	0.0%	1	3.6%
業種	第１次産業（農林水産業）	211	100.0%	8	3.8%	2	0.9%	9	4.3%	1	0.5%	3	1.4%	0	0.0%	3	1.4%	5	2.4%	6	2.8%	0	0.0%	2	0.9%
	第2次産業（製造業、建設業、砕石業等）	379	100.0%	17	4.5%	10	2.6%	12	3.2%	4	1.1%	10	2.6%	1	0.3%	2	0.5%	13	3.4%	10	2.6%	4	1.1%	0	0.0%
	第3次産業（小売・卸売業、サービス業、公務）	664	100.0%	31	4.7%	7	1.1%	17	2.6%	10	1.5%	27	4.1%	3	0.5%	7	1.1%	20	3.0%	18	2.7%	10	1.5%	3	0.5%
	無回答	79	100.0%	4	5.1%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	2	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	6	7.6%	2	2.5%	2	2.5%	1	1.3%
居住年数	5年未満	48	100.0%	3	6.3%	0	0.0%	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.2%	0	0.0%	1	2.1%	1	2.1%
	5～９年	47	100.0%	2	4.3%	0	0.0%	1	2.1%	0	0.0%	2	4.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	１０～１９年	84	100.0%	7	8.3%	0	0.0%	4	4.8%	2	2.4%	10	11.9%	0	0.0%	2	2.4%	3	3.6%	2	2.4%	2	2.4%	0	0.0%
	２０～２９年	198	100.0%	10	5.1%	2	1.0%	8	4.0%	1	0.5%	5	2.5%	0	0.0%	4	2.0%	14	7.1%	4	2.0%	2	1.0%	1	0.5%
	３０年以上	1489	100.0%	71	4.8%	27	1.8%	39	2.6%	30	2.0%	35	2.4%	6	0.4%	25	1.7%	47	3.2%	34	2.3%	17	1.1%	17	1.1%
	無回答	5	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

15. その他の意見・自由記述欄



自由記載の意見内容を項目別にまとめたところ、記入実人数が 257 人に対して、402 件もの意見が寄せられた。

14.あなたは今後、最上町がどのようなことに重点的に取り組むべきだと思いますか？ （21 その他を回答した方のみ）具体的に		
病院、介護施設等		
町内の介護施設に入居するには100人待ちとか200人待ちと聞くと、我々老人は不安になる。	男性	70～79歳
有料老人ホームがあると良いと思います。 また、空き家を利用したシェアハウスがあると良いと考えます。	女性	60～69歳
若者定住、雇用状態		
若者がUターンして来ても働く場所がなく、保険や年金がとても高い金額であるため、親が支払うことになる。 親が働けるうちは良いと思うが、とても大事なことである。	女性	50～59歳
雇用の場が少ないため、子供は都会に出て行くので、老人たちばかりになります。 冬になると除雪が大変で困ります。	女性	70～79歳
私たちが小さいころの最上町は、住みやすい環境だったのに、年数が経つにつれて、若者も少なく、ただ仕事ができない事です。 最上町にも仕事があると良いですね。	女性	40～49歳
役所関係		
防災無線があまり聞こえないので、家の中につけてもらいたいと私は思います。	女性	70～79歳
重点施策の選定、広報紙の有効活用（町民の声を提示する） なるだけ早い時期に三位一体の意見交換を実施する。 アンケート内容をできるだけ反映させる。	男性	60～69歳
健康センターや役場がもっと利用しやすい(行きやすい)窓口になってくれたらなと思います。	女性	30～39歳
「少子化対策」－結婚しなければその後の対策も何もないと思う。 「いかに結婚してもらうか、させるか」対策が大事！！	男性	70～79歳
雇用の場の創出、労働者の賃金UP、人材不足の解消、新型コロナウイルス対策	男性	40～49歳
健康と福祉のまち。	男性	40～49歳
例えば、コロナの時、アベノマスクより新庄市は山尾マスクが早かった。 マスクが手に入らない時、身動きのとれない年寄りや町民に平等に何かできることはなかったのか、今後もこのような事態が起きたら、教訓を生かせる対応をしてくれるのか。 とにかく、鈍いし、遅いと思う。	記載なし	

14.あなたは今後、最上町がどのようなことに重点的に取り組むべきだと思いますか？ （21 その他を回答した方のみ）具体的に		
交通、道路整備		
地域公共交通体系でデマンド交通が運用されているが、予約が前日の午後までとは利用者をあまりにも制限しているのではないか。当日9時まで可能にはお願いできないものでしょうか。 デマンド交通が病院、買い物とさらに利用者が増えることが更なる有効活用と考えます。	女性	50～59歳
小生一刎で暮らしているのですが、老後の足がなくなる不安がある。	男性	70～79歳
町道の老朽化が目立っている。交通の安全等のためにも整備が必要と思います。	男性	60～69歳
冬期における雪害対策の充実、除排雪の強化と流雪溝の整備推進。 これが定住につながる一つの手段になる。	男性	60～69歳
通学児童が居る場所の歩道の確保(除雪や歩道がない) 子どもたちが安全に遊べる場所	女性	30～39歳
町の入り口(瀬見、堺田)に町をアピールする看板があってもよいのではと思います。	男性	50～59歳
豪雪への対策をお願いします。	女性	50～59歳
住んでいる町なのに、町の施設を利用するための足(交通)がない。 旅館の日帰り入浴をしたくても、免許がないといけない。 若い人は働きに行くので、日中の足がない(日中独居高齢者は置き去り) 当日の体調や気分で出かけたいのに、デマンドの前日予約はめんどくさい。	男性	80歳以上
交通の不便。 最上町は何といっても交通手段が1番重要だと思います。 お年寄りも免許を返納させて交通手段がないということは、足をなくしたことと一緒なので、死ねと言われていることと一緒だと思う。 もう少し真剣に考えて欲しい。	男性	80歳以上
万全な除雪道路。屋根の雪下ろしに対する援助。流雪溝、消雪等の完備。	男性	70～79歳

14.あなたは今後、最上町がどのようなことに重点的に取り組むべきだと思いますか？ （21 その他を回答した方のみ）具体的に		
まちづくり		
図書館、本屋、喫茶店がある町に。	女性	18～29歳
町のPRキャラクター(モガンバ君、アスパー君パラミちゃん等)を出し、他方面へアピールしていけたら良いなと思いました。 ゆるキャラグランプリに参加して、全国方に認知されたら、もっと色んな幅が広がるかと思います。 ツイッターで朝日町の桃色ウサヒのように、SNSを活用し、頑張って盛り上げて最上の町となるよう努めて欲しいと思います。	女性	40～49歳
子ども達の遊ぶ、スポーツをする場所やレジャー施設がなく日曜日になると、東根や天童の遊園地まで連れて行かなければならないので、いつも近くにあればと思います。	男性	30～39歳
安全な町にして下さい。	男性	50～59歳
若い人の働く場所がなかったら若い人は育ちません。 観光にもっと力を出して。他の町から負けてませんか。	女性	80歳以上
朝、目が合っても挨拶をしない大人も子供も最上町はどうなっている。 あいさつ運動はどうなってしまったのか。 大人の人が見本になってもらいたい。	女性	60～69歳
お店も少ない。 もっと買い物の楽しめる町であればよいのに。 でも人口が少ないから不可能。	男性	18～29歳
高齢化が進み何をするにも動く人が同じ顔ぶれとなり、活性化というにはほど遠い状況だと思う。 まずは最上町で暮らすことに「安心」できるまちづくりを望む。	女性	50～59歳
健康・体力づくりの推進で、集落で何回かやれる機会があれば良い。	女性	70～79歳
その他		
雪についての対策。	男性	60～69歳
これからも健康に十分気を付けて元気で長生きしたいと思います。	男性	80歳以上
豪雪への対策。	女性	50～59歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
病院、介護施設等		
私も60歳後半に入っています。 介護等の高齢者になってからの心配です。 施設に入れないことが一番の心配です。 紅梅荘でも、60人待ち～90人待ちと言われました。（母の話です）これでは、お父さんと2人になれば、お互いに年を取りますので、家では無理になります。 そんなに酷くなくても、いつの間にか、施設に入っている人が、2人ほどいました。（母は左側でした）今は偉い人のコネはないと言いますが、どうなんでしょうねー。 私はいろいろな人の話を聞いてましたが、みんながそのことをいうのですよね。 このような人を受け入れてくれる施設が出来ればと思っています。（母も92歳で死亡でしたけど介護もされなく、入院して間もなく逝っていました） 私たちにとっては、ホントはとても助かりました。 どのようなことにしても、困っていたらその人に手をさしのべて一緒に考えてくれるまちづくりをして欲しいと思います。	女性	60～69歳
子どもの医療で、皮膚科、耳鼻科等は利用する機会が多いと思います。 周りでもわざわざ遠くまで通院している人が多いです。	女性	30～39歳
・色々な活動は実行しているのでしょうが、どれも中途半端なように思われます。強いインパクトがない！！ ・大雨になると47号瀬見地区が通行止めになるのでなんとか考えて欲しい。交通量が多いのに嫌なイメージになる。 ・高齢化社会なので、病院利用が多くなると思われる。病院の看護師さんがもう少し気軽に相談できる雰囲気があると良い。それには病院長が職員を大切にしないと雰囲気は変わらないと思う。院長が職員に対し思いやりを持って対応すれば変わると考える。	女性	60～69歳
・医療関係や保育、福祉の取り組みはコロナの中、とても頑張ってくれたなと思っています。デイサービスを利用する人、家族にとっても変わらず利用できた事、有難く思いました。 ・コロナでお客さんが減る中、町を盛り上げようとしていた取り組みは感じられました。清掃業の方も毎週ご苦労様でした。ありがとうございました。 ・今後についてですが、健康センターや役場の窓口が住民にとってもっと行きやすい場所(身近な存在)、開所日や時間を、平日仕事している方も利用しやすいようになってくれたらな…と思いました。	女性	30～39歳
子育て支援に力を入れているように思い、高齢者支援(介護)には全く力が入っていない。 これから超高齢化社会になっていくのにとても不安を感じる。 家族に介護する人がいれば若い人は仕事をやめ、介護をしなくてはならない。生活苦になっていく。 もっともっと弱者にやさしい町であって欲しい。 介護にもお金がかかる。年金だけでは無理！！	男性	50～59歳
高齢者が安心して暮らせるまちづくり ・医療・経済・交通　など	女性	70～79歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
病院、介護施設等		
少子高齢化がどんどん進む中で、介護や医療に携わる人材の確保が難しくなっています。（少ない人数で皆さん頑張っています） 入所の施設が増えれば介護・医療従事者の数も増やさなければなりませんが、現状困難です。なので、在宅でも軽度要介護者が生活を続けて行けるよう、在宅でのサービス充実が必要だと思います。 高齢者の自動車運転も増えていると感じます。それは、必要な時に足がないからしょうがなく乗っている方もいると思います。ある程度の年齢になったら、無料タクシー券が使える、移動販売するサービス、高齢者のひとり暮らし用アパート等、難しい事も多いと思いますが、今後必要になってくると思います。 子供たちの遊び場、遊具の充実も期待しています。子供たちが楽しめるイベントや行事もコロナが収まったら出来れば嬉しいです。 ※西公園の古い遊具を新しくして欲しいです。体育館地下の遊び場もきれいに整備してくれれば雨の日も遊べるのに…と思います。	女性	30～39歳
高齢者が安心して生活できるまちづくり。 充実した医療体制の確立、雇用の充実をお願いします。	男性	60～69歳
色々なビジョンや計画を町では示すが、「満足な結果を得た」というものが少ないのではないか。 かつては福祉の町と声高らかに訴えた時期もあったが、今はもう聞こえなくなった。 祖父母を介護し、父母を介護し、行政からの満足な支援などはなく、認知症、介護度3.4でも福祉施設への入所も利用者が多すぎて利用することができなかった。 介護するものが仕事を変えないと生活ができないというのはおかしい。 人・食・環境にやさしいまちづくり？基本方針は立派だが、普通の人が普通に生活できるような、もっと地に足の付いた現実的な基本方針を立てて欲しい。 私が「この町を出たい」と思うのは、雪の問題、厳しい冬、家を守ることが難しく、大変な負担で、町のきれいな将来像、基本方針なんて絵に描いた餅に過ぎない。腹立たしい。	男性	70～79歳
高校生まで医療費無料。	男性	40～49歳
町内の施設に入れない老人がいて、町外の人が入っているのはどうなのか？	女性	60～69歳
まちづくり推進室の皆様、毎日ご苦労様です。 私はあまり町政には関心がありませんが、「最上町立病院は毎年赤字です」ということをよく耳にしますが大丈夫なのでしょうか？ 私達老人にとって医療や福祉サービスが充実していることは、とても心強いことですが、そのツケが子供や孫たちを苦しめる結果になりはしないかと心配です。 人口は減る一方で、最上町の存続にも関わってくることになりはしないでしょうか？ 「これは大げさな考えであって、そのような心配はありませんよ」というお言葉が聞ければ幸いに存じます。	女性	70～79歳
医療の充実は常に思います。 小児科、眼科、皮膚科など子育て世代には必要です。 3年保育の無償は大変ありがたいが、入所前の幼児の一時預かりが「ひまわり」のみではなく、大堀でも可能である事と、利用料が他の市町村に比べ短時間であることと安価ではないという気がします。 同居世帯が多い最上町ですが、そうでない世帯などもっと気軽に預けられるとありがたいです。	女性	記載なし
紅梅荘の入所者を多くしてもらいたいです。	男性	60～69歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
役所関係		
今回の最上町まちづくりアンケート調査は素晴らしい取り組みであり、敬意を示したいと思います。 行政は、住民の意見又個人の相談を受け止める窓口などがあれば、もっと町に対して安心と親しみを持つことにつながり、さらに良い方向へ進むと思います。 町民の意見を聞き、素早く動き判断し行動につなげる町職員が必要と思います。 どこかの町で、「すぐやる課」というものを設置したと聞いたことがあります。 真摯に話を聞き、対応していただける心構えが第一に、大事かと思います。 出来る出来ないは、別の話であって、深い対話からスタートして、はじめてお互いの信頼関係が築かれるものと思います。 今後も、ご指導のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。	男性	60～69歳
人口減少、高齢化が進む現状の中、特にどの年代層の人口減少が進んでいるのか、さらにみていく必要があるのではないか。 子育てには保育料ゼロ未来の取り組み、医療費の補助など、若い世代にむけて町の動力をどのように伝え、定住をはかり、まちづくりに取り組むよう働きかけが求められると考えます。	女性	50～59歳
議員定数を減らすべき。 町の税収が増えているのなら、町民の税負担を減らす。使うことばかり考えられない。	男性	50～59歳
これまで培ってきた行政と議会の実務実態が、「今の町の現実！」と強く認識する。 その上で改めるは何か？をしかと見定め、管理職を始め、職員が一丸となって修正に取り組むべし！ 一つ、達成できない十のことを諸々と並べ立てるよりも、確実に実現できる三の成果を生み出すことのほうが、はるかに効果を生む。 二つ、先ずは、コロナの進行を見計らいつつになるが、行政会議、町民の同意会議を設定する。 三つ、現行の広報紙に町民提唱の投書を記載して、行政への関心力を高め、公務実態に反映させる。 ※最後に一番肝心な事※ コロナの終息後になるが、日ごとに進む人口減少化社会に対処対応できるまちづくり。 後世にツケを残す無責任な施策を改め、持続可能な行政、現役世代が身銭を出し合っても、現行政規律を正常な形に修正する。 行政も議会も、町民も、自主基盤の確立なくして住民生活向上成り立たず‼そろそろ本気でかかれ‼ 町民生活の基礎、土台は、議会と行政の集約である。そこで公を成す人は、現状の実態を強く認識し、明日の繁栄に努力すべし‼行政中枢の場を、実態検証して、提起する声を重く受け止めろ！町長、副町長にも提示して!	男性	60～69歳
空き家をどうにかして欲しいです。 風の強い日は板やトタンが飛んできて危険です。 ノラ猫などの動物は、住み家にもなっているので管理や維持どうにかしてください。 弱者に優しい町だと住みやすい。 積極的な声かけや、継続した見守りがあると安心。 利用できるサービスや補助があっても、こちらから言わないと知らないまま。 聞けない人、知っていても言えない人、言いづらい人っていると思います。 相談行きたいけど自分からは…。	女性	40～49歳
転居してきてまだ日が浅いですが、自然豊かで住みやすい町だと感じています。 医療機関が少ないため、最上町でも24時間対応の健康医療相談電話サービスが受けられると安心できると思いました。 また、マイナンバーカードのコンビニ交付ができるようになるとさらに便利になると思います。	女性	30～39歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
役所関係		
防災無線がはっきりしなく、聞き取れにくい。	女性	60～69歳
あまりわからないのですが、話聞いたところなんですけど、町議会議員の人数が多いのではないかと。 選挙の時だけぺこぺこしてるけど、終わった後となんか違うと思いませんか？	女性	60～69歳
孤立している若者が目立っています。 どうか、その様な家庭の事情や支援方法を伝えていただきたく思います。 彼らは、トンネルの中で24時間苦しんでいます。 お年寄りに優しい町は、もちろん、これから人生をスタートするはずのそういう若者にこそ優しい町になって欲しいと願っています。 みんな自立したいと思っています。 だけど、その家から、無職の為部屋や家を借りられないのです。 思い込みが強い文章でごめんなさい。これからもよりよい町政に期待致します。	男性	50～59歳
まずは税金を無駄遣いにしないで欲しい。 子供を育てる環境を作って欲しい。	男性	30～39歳
この度、アンケートを受けて感じた事は、第4次総合警計画・後期計画で行った施策・事業だけで素晴らしい結果だと思います。本当にお疲れ様です。 次に第5次と進まれるわけですが、いろんな諸事情(人口減少・超高齢化社会・地域経済、そしてコロナ感染他)から、益々取り組みにくくなってくるわけで、内容を広げずに無理ない活動で良いかと思われます。 第4次、第5次とつけられるととても重く感じます。 2021～2030はフレッシュで明るいテーマがいいかな～ 別のことで小さい事ですが… 「広報もがみ」の「お誕生日おめでとうございます」欄の件でしたが、いつも女の子？男の子？と悩みます。 女の子→ちゃん　男の子→くん　をつけてみてはどうでしょうか？ 親の名も、一人親の場合もあるでしょうけど、OKなら父、母、両名の名前が分かると嬉しいですね。 以上、勝手な意見をすみません～	女性	50～59歳
町長さんは選挙の時に人口減少について大変興味がありましたが、減少がつづいています。 最上町では働く所がないのです。 最上町に働く場所を誘導する事が第一と思います。	女性	70～79歳
人が減っていく中で、全てを維持していくのはムリ。 あきらめるところはあきらめて、力を入れるところに集中して人もお金も投入して欲しい。 特に子供たちの教育、環境整備、可能性のある産業、事業者に厚く支援を。 公平性とか言っている場合ではないでしょう。	男性	40～49歳
行政として行うべき事が不十分で町民に依存し過ぎている。 聞こえはいいが行政が行わなければならない事を行動力を持って行うべきである。	男性	60～69歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
役所関係		
最上町はいろんな施策が行われているが、今一歩だと思われます。 特に人口減少で空き家が多く目につき、年数に進むにつれてこわれひどくなると思います。 今後の空き家対策と地域の活性化等に努力して欲しいです。	男性	60～69歳
冬が来るのが毎年心配である。 除雪も年々体の不調で頼むにもお金がかかります。不安をかかえて生活しています。	男性	60～69歳
人口減少によるが若者が落ち着いて仕事出来る場がない。全くない。 また都会に出ていく事になる。若者支援を真剣に考えて欲しい。	女性	50～59歳
やる事が中途半端で効果的だと思えない。 全ての事をだら一っとしていて、もっとメリハリのきいた行為が必要だと思う。 町の歴史をふりかえり、誇りと愛着をもってここにしかないものを大切にして欲しい。	男性	40～49歳
海外の人との交流をもっと増やすべき。	女性	18～29歳
最上町の人口に対して役場職員(天下りなど)議員人数が多いのではないでしょうか。 もっと若い人が働く場所があるようにしたら町にとどまるのではないでしょうか。	女性	30～39歳
アンケートについて、多岐にわたり課題が出ているが、「自分に関係ない活動の見えにくい」ところの項目はよくわかりませんでした。 10年間のまちづくりの歩みをみて再確認出来て良かった。 アンケートの結果はいつか広報にのせてもらいたいです。	女性	70～79歳
・若い方の考えをまちづくりに反映させて欲しい。(若い町職員の声を反映させて欲しい) ・若い方々の声を出させて欲しい、聞いて欲しい。	男性	70～79歳
「農業ばかりに力を入れている」という意見を耳にします。 学卒者の就職先が少ないので、雇用の場も増やして欲しい。 せっかく温泉地がたくさんあるのに生かしきれていないように思います。 スキー場もあるのにもったいない。 農業ももちろん重要ですが観光、【暮らしていける】まちづくりが必要だと思います。 ☆要望 役場や健康センターに出向かないと申請できないものは申請窓口の時間を幅広く対応してほしいです。 例えば、医療証の申請・交付ですが、昼12:00～13:00や17:00過ぎでも受付してもらえると助かります(このために仕事を休んで行っていることをご理解お願いします) ※役場の延長窓口は承知しています。	女性	40～49歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
役所関係		
今までのまちづくりについて全然見えない。何をやっているのか分からない。 まちづくり・町政のために議員研修(旅行)を行っていると思うが、何を学び・何を習得し何を町のために実行しているのか全然わからない。 遊び半分でやっているのであれば、税金の無駄遣い。廃止すべきである。 議員報を見る限り、形だけで実になっていない。	男性	50～59歳
資格を取ってUターンしましたが、親身に動いてもらえず町外で働いています。 かと思えば、高卒でも公務員として町職員になっている人もいて、町に対しての不信感しかありません。 住宅だけ増やしても働く受け皿がなければ、若者は離れていきます。 高齢者が増えている現状で、介護者がいないため施設が減ったことは大きな課題です。 施設職員の給料を上げ、介護スタッフの増員をして下さい。 このままでは在宅介護が増え、定年まで働くことも出来ません。 また、介護タクシーが町内にないのも問題です。在宅介護をしても、何かあれば救急車しか利用できないのは不便です。 防災無線を有料化するのはおかしい。町民の安全・命を考えていないと思います。 最上校存続をというのであれば、クーラーをつけてください。 閉校になった小学校から譲って下さい。 コロナでマスクをつけて夏場授業を受けるのは環境が悪い。 県内の高校でもつけ始めています。 1学年1クラスだけなので3台あれば間に合います。よろしくお願いします。	女性	40～49歳
・広報もがみ、議会だよりの作成ご苦労様です。しかしどのくらいの人が目を通してくれるのか考えられます。言葉にしても横文字をあまり使わず、年寄に読みやすいように頼む。 ・年間使う町からの連絡の用紙代はいくらですか。行政を町民との話し合いですが、私のところではなし。 ・公助という言葉について、絵にかいたモチです。商店が少なくなり寂しい町となりました。 ・長い町政は良くない。後進に道を譲られ、新しいまちづくりに力をつけるべきでは？茶飲み話でよく行政の不満は出るが、聞こえていってますか。 ・町職員でしたら町内に住んで、町民のために働いてくれ。皆の税金で生活しているわけだから。	女性	80歳以上
・農業と観光の結びつきをもっと…！！ おいしい農産物を(地元の)もっと食べたい。 ・どこの市町村でも少子高齢化に悩み、いろんな政策を考えていると思います。 日々、頑張って下さっている職員の皆様ありがとうございます。(ただ少し職員の方多いのでは？と思う時もあります。) ・町報や町の配布物を、隅から隅まで読んではいないのですが、一番の心配事はやはり少子高齢化です。’人’がいなくなるというのが、一番困るので、「人を生かすまちづくり」(具体的に言われると…ん一？)を目指しては？農業も観光業も何でも大変ですが… ・一番気がかりなことが医療です。十数年前、町長さんは「産んで下さい、もう一人皆さん産んで下さい」とおっしゃたけれど、連休中の夜、急患で町立病院に行ったら「小さい子に合う薬がないので、新庄の病院に行って下さい」と看護婦さんに言われました。 待ってる間に子供が吐いたのを見て笑った。 あれからだいぶ経ちますが、働きながら育児しているお母さん方、私のような思いを今もしているのでしょうか？ 産んでも育てるのは大変！！保育状況もだいぶ良くなっているようですが…(保育所の先生方には本当に助けられました。ありがとうございます！) 「お母さん方が働くことは良い事ですが、0～2才まではなるべくお母さんが育児できる環境だといいですね」なんてチラっと都会から来た教育関係の方が言っていましたが…	女性	50～59歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
役所関係		
今回のコロナによる各家庭への支援金はいかがなものか？ 他市町村は各家庭全般に町として支援をしたが、我が町は子供世帯にだけ。 一番貧乏な町に思えた。	女性	50～59歳
この町に嫁いできて50年になろうとしています。 住めば都と言いますが、この町の「自然、歴史、文化、人々とのつながり」がとても素敵で、この町で生活できることの幸福を感じています。 教育に携わっていたのでどうしても、人材づくりということを重要に感じてしまいます。 人口が少なくなると人材も不足してきます。 なかなか町や地域のリーダになる人が少なくなっていると感じます。 子供たちに力をつけること(学力ももちろん生活力も)その力が大人になっても発揮されるようになっていけば良いと思うのですが、その子供たちの人数もどんどん減っている現状では、総合的に町全体で対策を考えていく必要があると思います。 (行政についてはよく分からないので、どうしてもソフト面での目標を考えてしまいます) すみません、まちづくりと言われても正直よく分かりません。 役場の皆さんは、私がこの町に来たころから比べれば格段に親切で感じが良くて、みんなとてもがんばって仕事に取り組んでおられると思います。御苦労様です。 ただ、忙しいからなのでしょうか、毎年同じことを繰り返しこなしているだけのように思えることと、横のつながりが希薄なように思う時があります(例えば同じ課の中で仕事が共有されていない、組織体としての動きが弱いなど) それぞれ町を良くするため、頑張っておられることには敬意を表します。これからもよろしくお願いします。	女性	70～79歳
毎日のお仕事ご苦労様でございます。 また、昨今の新型コロナウイルス対策で大変気苦労も多々あるかとご推察します。 お陰様で最上町内からは、感染者が出ておりません。 まずは町内から感染者を出さないよう、官・民・我々住民が一丸となって取り組みたいものです。 ひとり親世代や非課税世代だけでなく、中間層の方々にも手厚いご支援を強くお願いします。	男性	40～49歳
役場に勤めている方は、新庄に住んでいる人が多いように感じます。 その人たちが最上町に定住すれば税収も上がるし、税金も適正に使用できるのではないでしょうか。 最上町はのびのびと子育てできるかもしれませんが、子供が遊ぶ場が少なく、医療も不安があるので若者が定住しにくいのかなと思います。	女性	30～39歳
まちづくりと言われても、良く分からない。 この時期、子育て世代等への支援のみならず全町民への何かしらの支援があっても良いのでは？ プレミアム商品券のプレミアム率、低くない？ アンケートに防災無線の事があったので一言。 あの口調、アクセント、言葉と言葉の間。 (例)大雨〇警報　〇の間、何とかならない、聞きづらい。	女性	50～59歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
役所関係		
今後の最上町は、最後の設問14「最上町が重点的に取り組むべきこと」に尽きると感じられます。 人口減少は全国的な課題ですが、この町も同じで根底は職場と定住でしょう。 町に関心のある方を誘客し、見染めてもらう場所や食事・温泉等を今以上に宣伝を続ける事でしょう。 高齢者は自分で受け止めて楽しく過ごすも良し、若者に嫌われる刺激も良し、相手にされていると前向きに捉える事でもある。 身体的には病院はじめ介護・福祉医療も今以上に充実していく事が大事でしょう。 町職員の協働隊がいる中で、現実隣の区の評判は聞くが、実際わからない。 そこで姉妹区等として区をまたいで交流する為に各区に出向班等を設け、行事や会合に参加して良い所を吸収する。防災や安全では協力し、美化・サロン等は共通していると思います。（徐々に2～3・4地域とつなぐ） 最上町の特徴は、数ある中でも観光・農畜産と自然環境と考えれば予算を充実して進めて行けば悔いがないのではと思います。 勝手な解釈でしょうが、価値観の違いからか、徒党を組んで批判する風潮が全国のニュースで見られます。 望みではありますが、足を引っ張り合うことなく信じあう事。 今後も町民互いに声援を送り送られながら、努力すれば住みよい町になり、人口も戻るのではないでしょうか。	男性	70～79歳
ひとり親世帯の中には、再婚しているのに書類上は一人親として優遇されている方が多くいる。 必死に一人で育てている方がいる中でおかしいと思う。 町できちんと調べてほしい。全て税金。 高齢者や子育て支援は、充分なされていると思う。 40・50代世帯(高校・大学・専門学校を持つ世代)の支援が少ない。 一家を支えている世代への支援が欲しい。 高齢化が進み、70・80代は元気な方が多い。 その元気な世代の方がお金にも不自由していない。 一家を支えている40代～60代が安心して働き、一家を支えていけるような支援がもっと欲しい。	女性	50～59歳
町職員採用には、今もまだコネ入職している。 学力が低いとわかっている者を入職させている最上町はおかしい。	女性	40～49歳
雇用に関する疑問が、ふつふつと湧き来るものを常に持っている。 魅力ある職が少ない町であり、公務員(町職員)になるのが一つの目標である。 しかし「なんであの人が」の疑問。 職員の子がいつの間にか町職員になっているケースが多い。 採用には透明性が絶対必要不可欠であると思う。広く公平な採用を願うのみです。	女性	70～79歳
町長の話を聞く機会があると、いつも構想だけで、1個も実現していないように感じる。 具体的に発言し、実行してもらいたい。	男性	70～79歳
防災(土砂災害)が重要。 特に谷合の傾斜地、近年の災害で「今までなかったから」と言い、言葉がよく聞こえますが、これはもう死語です。 工事で直すより、立ち退き(移転)を先に考えたほうが良いと思います。 そのほうが安価かも。100億のダムより移転。 アンケートばかりで役場は指導性を持ってください。	男性	70～79歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
役所関係		
町職員の方々の日々のご尽力はわかりますが、電話1本にしても、用がなされるまで、3回～3人は変わります。 どうゆうことなんだろう。1回で返答はないものなのかとつくづく思います。 まちづくりを考える前に・・・・・と思うことが多々です。 誰でも住み続ける町は、田舎とはいえ魅力ある町に住みたいと思いますし、できることはしたいという気持ちです。 庁舎に行っても、本当に分かる人がいない。 年のせいかもしれませんが違う気がします。誰でも参加でき、偏りのない行政を望みます。	女性	60～69歳
若者も頑張れるように努めてください。 今回のコロナの件で仕事をできない人ため、2カ月間の生活費をください。 お願いします。最上町。	女性	40～49歳
最上町のこれからを担う若者、学生たちが、最上町の魅力に気づき、「自分たちが暮らしている町は、こんなに誇れることがある」といった安心して帰郷できる町であってほしいです。 最上町の10年後に変化が必要だと、町民も行政も分かっているのならば、まちづくり推進室の職員のみなさんを筆頭に、町民である私たちも考えを変えていき、10年後みんなが笑って過ごしていける最上町であって欲しいと思います。 これからの最上町へは何が本当に必要なのかをよく検討していただき、より良い第5次総合計画が成り立ちますよう、願っています。	男性	18～29歳
健康、福祉、医療、教育・・・・町にとって大切なことはたくさんあり、それに向けて職員の方や関係する方は一生懸命取り組まれているのも知っています。 でも、前のページにも書きましたが、「人と人との接し方」を重要視していない中高年の経営者や町職員（臨時含む）が多いと思います。 「まちづくり」って健康、福祉、医療、教育だけじゃないと思います。 まあ年寄りに今さら言っても、正確直せないので無理でしょうけど。	男性	18～29歳
不便が改善されたり、新しい試みを始めたりしているのは分かるが、そのほとんどが、町の限られた地区の自己満足で、終わってしまっているように見える。 町民が元気で活き活きと過ごせない町は、外から見ても魅力のある町とは言えないと思う。 町の顔である役人が、横柄であったり、勉強不足であったりすることが、多岐にわたって見受けられます。 これが一番、誇りや愛着を感じられない要因である。	女性	40～49歳
役場の人が冷たい目でお客を見る。 除雪の人は知り合いの所はきれいに雪かきしていく。 ゴミ袋が高い。	女性	50～59歳
税金は当たり前に取るのに、全く良くならない。	男性	40～49歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
役所関係		
町長が進めている100万人交流につながるのですが、求人をだしても務めてくれる若者がいないため、町内の企業と連携して、町外、県外の学校や職案に対して移住を含めた対応が必要です。 例えば、空き家を格安で借りられるようにして安心して住める場を確保し、町内の企業で働いてもらう。 大雨や津波などの危険性は、大都市より少ないことをPRし、子育てに関しては充実していると思います。	女性	40～49歳
これまでの総合計画等は、総花的で中身まで何も見えていなく、実行されていない。 人口減少・地域経済の活性化・除雪対策の3点に絞って、実現可能な項目から実施すべきと思います。	男性	70～79歳
自治体で働く人たちの活力がみえないのが気になる。 トップの責任とか、リーダーシップを発揮して引っ張ってほしい。 少子化の急な人口減少の進行が予想以上に加速し、10年計画にも見直しが迫られているようだ。 今後より一層、町民の意見や提案を大切にして、高齢化で山積する課題に立ち向かって欲しい。 長い歴史を持つ、二つの温泉街の疲弊が心配だ。 町の生き残りの環にもなっていると思われるので、ここへの支援を強めて欲しい。（特にコロナ禍の打撃が大きい）	女性	70～79歳
住宅の補助をもっと手厚くして欲しい。	女性	60～69歳
最上町は、災害もほかの県や市と違って、最大級にならないので住みよい町なのに、私の子供たちはじめ、どうして毎月の人口減に歯止めがかからないのか、不思議でなりません。 子供たちに聞いてみると、娘は最上町に魅力を感じないと言っています。どうしてなんでしょうか。 世間の話を聞くと、仕事の選択が決められた職業しかないとの話です。 私たちもこれから年老いたとき、1人でこの場所で生きていけるのか不安です。 長い年月、最上町に住んでる人を大切にしないで、若い人、若い人と言っていたのではダメなんじゃないですか。 もっと集落もまとまって、便利な場所に移ってはどうですか。 移住した人に聞くと、最上町は水道代が高いとのことです。どうにかなりませんか。 文句ばかり言ってすみません。	女性	60～69歳
今、子育てを始めたばかりで、日々奮闘中なのですが、この子が成人を迎えるころ、正直、このまま町に住み続けることがこの子にとって良いことなのか、考えてしまいます。 小さなコミュニティの中で、一生を終えてしまうともったいないと思ってしまいます。 都会には、都会の良いところ、田舎には田舎の良いところがあると思いますが、人生を豊かにするには、色んな人の意見を受けいれたり、考えを理解してこそだと思います。 どうにか、これ以上、人口が減少してしまわないように、子育て世代への支援や、雇用の確保を第一優先にして欲しいと思っています。	女性	18～29歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
役所関係		
・議員の高齢化とレベルアップ。 ・定数を減らし、個々の給料のアップ。 ・企業誘致をし、雇用の拡大。 ・専業農家だけで生活できる環境を作る。 ・Iターン、Uターンを受け入れて居住環境と働き口の確保。 ・再生可能なエネルギーを使用し、地産地消の取り組み（エネルギーの内生化）	男性	40～49歳
はっきり言って不透明なことが多く、よく分からない。 情報を自分からも知ろうと思わないからだと思いますが・・ 何でもですが、中途半端に町おこしをしても無駄です。 ビジョンと計画を立てて町民一人一人に夢と希望を与えられるまちづくり、納得させるだけの大きなビジョンを持って「THE最上」を目指し作ってください。それがあなた達の仕事なので・・ あなた達が自分の仕事を好きと一人一人思わなければ、挑戦もアイデアも何もなく普通にノルマをこなして仕事をしているただの「こま」の一人。 町の職員としてこの町を変えてやろうと行動にうつせる奴いないくせに、こんなアンケートしないでください。 8～17時までの人達が！！ 役場職員ごときで町民の前や、集会時、公共の場で偉そうにしないでください。みんな思ってます。頭にくる！！	男性	40～49歳
①雇用の場、最上町はアスパラと土木しかない！ ②少子化対策、若者の働く仕事が最上町には無い！ ③医療、町立病院にはまともな先生がいない！ ④役場職員が退社時、車に走って帰るのはなぜ？ ⑤コロナで学校が休みだったのに、給食センターの職員が出勤していたが、何をしていたのか？	男性	50～59歳
コロナのため、子供がいる世帯に給付金があったようだが、他の市町村では全世帯に何らかの形で給付金があったと聞き、最上町でも全世帯を対象の給付金ができるまちづくりにして欲しいです。	男性	50～59歳
交流拡大、観光振興をもっと活性化を推進していかなければいけないと思う。 インターネット、メディアを活用して、最上町にきてもらうこと、知ってもらうこと。 待ってばかりいてはダメだと思います。	女性	70～79歳
基本構想、基本計画、実施計画の文章が並んでいるだけで、私には分からない。 その計画の為に町が何をやって町民は何をやるのか明確でない。 公約通りに進んでいるのか検証してほしい。 役場職員の顔がみえてこないので、自治協働のまちづくりはどんな形になっていくのか。 公園は何か所も設ける必要があるのでは。広場でも良いので。	女性	70～79歳
アンケートの中で、あまり関わりの少ないまちづくりの質問があったので、答えにくいところもありました。 これからはもう少し、行政の仕組みや働きに関心をもっていきたいと思います。	女性	60～69歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
役所関係		
関東圏へPRに行ったり、国際交流を行ったりと最上町を知ってもらったりしている努力が見られる。 最近は人口の流出があり、町の人口が年々減少化していることが気になります。 若者定住住宅があることで、世帯数は増加しているようですが、親との同居をやめて、入居している家庭が少なくないのでは・・ 他県へ進学で町外に行ってしまうと、働く場がなくては若者達は戻ってきません。 他県ではいろいろな手段をとって企業誘致をしているところがあるようです。 IT社会になっている今、空いている小学校等利用して、若者が戻ってこれるような、外から人が来るようなまちづくりを考えてみてはどうでしょうか。 また、町の職員であれば、町内に住んで仕事をしていただくのが良いと思われます。宜しくお願いします。	女性	50～59歳
私は高齢者なので、行政には詳しくありません。 今のままの最上の地である最上町を持続できれば最高だと思っています。 スタッフの皆様ご苦労様でございました。	女性	80歳以上
・3区若者定住住宅の整備についてですが、親と同居していた長男夫婦がその若者定住住宅に引っ越した方が多く、その為、高齢者世帯が増えています。 その住宅は除雪の心配がないとのことですが、高齢者世帯では、除雪で苦労しています。介護施設を利用しなくてもよい高齢者住宅の整備が先ではなかったでしょうか。 ・デマンド交通について、町民へもう少し分かりやすく説明が必要と思います。「デマンド」という名前、覚えずらいです。 ・人口減少に伴い、町職員と町議員を減らす必要があると思います。	女性	60～69歳
人口減少、高齢化等課題が多い中、最上町の未来が希望がもてるようになって欲しいです。 アンケートをしてみて、最上町のことがよく理解できてなかったことに気づきました。 これから行政に少しでも目を向けようと思います。 また、アンケートの内容が難しかったです。もう少し答えやすいようにしていただきたい。	女性	60～69歳
私が思うこと。 人口減少、若い人の雇用、医療、福祉、税金・・ だんだんと目に見えて人口が減っていく中、若い人たちがUターンしても働く場所がない。 高齢者が多く、町にお金がなければ病院経営もできなくただの診療所のようなものしか成り立たなくなるのではないか。 私達高齢者にとっては、とても不安で仕方がないです。このようなことが現在の最上町には今すぐ起こりうることではないかと思います。 その中で、町議会議員、町職員（役場職員）があまりにも多すぎると思う。 県・町税で賄うのも今の時期考えさせる大きな問題だと思います。 アンケートの中にいろいろありましたが、一番はやはり若い力と人口を減らさない、増やす工面をすることが大事かなと思います。私個人の思いを書きました。町民のために頑張ってください。	男性	60～69歳
いろいろ努力は感じられますが、私が生活している今の環境では、まだまだこうだったらいいのにと思うことが多々あります。 介護、子育てに対する不安、それを相談できるところが良く分からないなど。 日中働かないわけにはいかないし、それ以外の時間で対応してもらえない等。	女性	30～39歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
役所関係		
子育てに不安のない町であって欲しい。 今の現状では、いい町とは言えない。 子育て世代の力になるようなまちづくりをして欲しい。 保育所等は無償化になっているが、小中学校に入学してからが金銭面ではかかるので、給食費無償のところもあると聞きます。 町でも就学児世代にも住みやすい町にして欲しい。 町営住宅も鮭川ではとてもいい環境が整っているようです。 町ではどうなんでしょうか。 もう少し良いところを参考にすばらしい所を吸収して欲しい。 大堀の公園は、小さい子がのびのび遊びに行けるところではないと思います。 遊具の劣化、野良猫の糞もあり、衛生上よくない面もあります。 町にも何回か言ったのですが、全然改善されません。 小さい子から小中高生までのびのび遊べ、自慢のできるまちづくりを進めて欲しい。	女性	30～39歳
・町の人口もかつて13000人でした。それが8000人台にまで減少しております。 ・小学校も8校から2校に減少しました。 ・町の財政をみると、基金がかなり減ってきてます。 それらを踏まえて、第5次総合計画は現状にあった見直しが必要かと思います。 たとえば、町議の皆さんの定数は適正なのか？町の職員数はどうなのか？廃校の学校を今後維持していくのが可能なのか？等、人口規模に合った計画が必要かと思います。	女性	60～69歳
他の市町村のホームページでは、もっと内容が充実しています。 保育園の料金や水道料金表やダウンロードできる書類など・・・ 舟形町では結婚するとお祝い金や除雪機購入の際の補助金があるのに最上町はなにもない。 コロナの給付金で商品券などをもらった市町村があると聞いたが最上町は何かあったのか・・	女性	30～39歳
・若者定住および少子化対策にもっと力を入れて欲しい。特に子育てがしやすい環境づくりにおいて「保育」の部分をもっと充実させて欲しい。現状の保育は受け入れ側に優位性が強く「子供を預かってあげています」感が強く、子供を保育所に預けて安心して仕事ができる環境ではないとの声が聞かれます。 ・バイオマスエネルギーは良いのかが疑問であり、近年の森林伐採は自然災害を人災にしてしまわないかが心配である。 ・デマンド交通により高齢者が地域へ出る機会を失い、商店街が衰退し経済が低迷してくるのではと感じています。町営バスの維持は、経済的な負担は大きかったと思うが、町民の「安心」「安全」という部分においては、経済的な負担を町民への投資と考えていただきたかった。	男性	50～59歳
数年間にわたり、地域づくりの補助金が各地域に配布されてきましたが、多くが無駄なものに使用されているように思います。 当初は防災機器をそろえたりと、それなりに有効な使われ方をしておりましたが、だんだんと予算の消化的なものになっているようです。 地域の意見をくみ上げ、行政に取り入れることは大事ですが、地域への丸投げ的な予算の使い方は理解できません。 町職員はもちろんのこと、議員の方々もまちづくり、地域づくりに関して数多くの事例に接し、また関わりを持ち、行政に携わっているわけで、町民の意見を集約して、集中的に予算を配分していくべきだと思います。	男性	60～69歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
役所関係		
ひとり親世帯対象に3万円の給付が議会で決まりましたが、ひとり親の子供たちはいろいろな面で免除されているのではないでしょうか。 逆に両親がいても、コロナの影響で仕事が休みになったり、一日おきにだったりと大変だったのではないでしょうか。 町内外に住所があるけど、県外の短大、大学、専門学校に行っている子供達等、全ての子供達に平等に給付金をあげるべきではないですか。 他の市町村をみても、マスクを配ったり、牛肉券を配ったり、全町民に商品券を配ったりしています。	女性	50～59歳
広報もがみ、防災無線、たまにくる回覧板で町の情報を知ります。 現在は仕事をしていますが、お年寄りもかかえてるため、この先介護することになると思います。 その時どう生活をやりくりしていけばよいのかと考えてしまいます。 今時点でもデイサービス施設もいっぱい縁故優先みたいな。。。話を聞いています。 子供も成人した為、よその子供たちと接することが100％ありません。 50代の私がないので、せめて子供たちとお年寄りの関係性がもっとあればと思います。 ※粗大ごみが年3回あります。ステッカーを貼ってですが、1個￥500ではすごく高く量も多いと大変です。大場組などの処分場他にあるのならば内容を知りたいです。	女性	50～59歳
町外で仕事をしているため、最上町のことは分からないが人口が減少していることで、今後どうなるかは、不安である。 働く場所がないことで、若い世代が町を離れてしまうと思うが、これは、今後も改善しないと思う。 廃校の活用はどうなっているかわかりませんが、民家の空き家も、たくさんあるので、町で処分することもできないとしたら、今後、増々、増加してくると思う。	女性	50～59歳
若者定住・人口減少を食い止めるためにも、職場の確保と重要課題として載せたい。 交通面（宮城・鳴子間）の整備も重要課題・再検討の項目に追加して頂きたい。	女性	50～59歳
第四次計画が行われている様ですが、住民が一つになれば夢はかなうと思います。 この計画を何人の住民が知っているのでしょうか？ このアンケートをいただかないと毎月の広報やチラシだけでは理解できない事だと思います。すごく頑張っていると思いますが、まずは役場職員の方々がどれだけ、施策展開に対して理解し、地区の方々と一緒に活動することが重要になるのでは。 ひとりの住民としてこの計画実現に加わりたいと思いますが、何をすればいいか分かりません。	記載なし	
まちづくり以前に、役場窓口にたつべき人間をもっと審査すべき。 話が通じない、対応が悪すぎる。 又、役場でたくさんの若者20～30代の方々が頑張っているのに、その上司にあたる立場の方がその頑張りを受け取っているように見えない。 経験や年齢だけでこの町を作っていけるとは思えない。 若者を育てるべき人材が少なすぎる。 これではだれでも、役場で働けるのではないのか？学歴があるだけの人材は採用すべきではない。本当に頑張っている人がかわいそうです。 常に、新しい事に挑戦していくまちづくりを望む。	記載なし	
ここ何年も住んできて何かが変わった印象はない。 現状維持も良いことだとは思うが、それなら年老いただけの議員は必要ない。 なんの為の税金なのか、議員の生活の為に働いて税金を払っているわけではない。 もっと若い目線でまちづくりをしていくべき。	記載なし	

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
交通、道路整備		
いつもご苦労様です。 自分の分からないところで、皆さん支援色々と活動なされており、次から次とか仕事をなされて立派だと思っています。 協力してくれる人たちとのふれあいを通じて、感じるものがあります。 難しいことは分かりません。 赤倉、富沢、月楯、東法田の旧小学校の活用が、うまく利用できればいいなと思っています。 老人も多く、運転もできなくなるころには、買い物、病院にいけるバスとか・・・将来お願いしたいし、町立病院も末長く続けて欲しいし、また無理かと思えど最上校も存続できればと思っています。	女性	60～69歳
高齢化は避けられません。 様々な取り組み、頑張りはとても伝わっております。頑張っていると思います。 しかし、高齢者が増える中で、ネットでしか情報が見れない、バスを予約しないと出かけれないなどというのは、ネットで情報をとることができない環境にある人たちにはとっては不便だと思います。 新しいことに取り組み、まちづくりを頑張っておられますが、様々な事をやりすぎて、高齢者がついていけない、社会に参加できなくってしまうのではないか不安に感じます。	女性	30～39歳
冬の除雪を道路は通行止めにならない様にして。 高齢者の多い町なので重要なことだと思います。 公民館などの駐車場の除雪もして欲しいです。 災害の時、集まる場所に雪が山になって入れなくては困ります。 この様な事で、地震や大雨、大雪に強い最上町になれば良い事です。	男性	40～49歳
町全体の中で整っている所があれば、もう少し考えてもらいたい地区もあります。 去年は雪が少なく、除雪の面は楽に過ごせましたが、最上町は豪雪地帯。 排雪する側溝が万全な所もあれば、雨水が流れるくらいの側溝しかない所もあります。 融雪溝が家にある、ないとの差がどれだけ重労働になるか、町全体でもう一度見直してもらいたいです。お願いします。 町の除雪はきれいに排雪して行ってくれます。	女性	60～69歳
・デマンド交通など年配者がもっと公共交通機関を使用できやすい体制を整えて欲しいです。この度のデマンド交通のシステムには使いづらく、住民にいろいろな事が周知されていない。まわりの反応も最悪です。 ・商店街の活性化は今更無理な事です。道路の拡大などの税金は無駄としか思えません。むしろ新庄などへの交通の便とか道路をもっと短時間で行けるようにするとかの方が良いと思います。 ・最上町は今後のまちづくりとしては、あくまで新庄のベッドタウンとして子育てをしやすい環境にするとか、税金を安くするとか、しながら新規移住者を増やす政策を第一に考えるべきだと思います。東根市の様にはいかなくても最上地方の人口増のお手本になって欲しいと思います。	女性	60～69歳
高齢者側として、デマンド型交通はとても不便だと思う。 デマンド交通…。病院に予約日以外に受診する際に足がなく受診できないのはどうかと思う。定期便を10時、12時に追加する工夫等、高齢者にも分かりやすく情報発信するべきでは？	女性	30～39歳
一人暮らしのお年寄りが、交通の不便で悩むことのない町を作ってほしい。 子育てと同様、お年寄り支援もあってほしい。 年金を少なくしないで欲しい。最低限、生活に支障がない程度にして欲しい。	男性	80歳以上
交通手段で悩みます。	女性	80歳以上

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
交通、道路整備		
今までのように町営バスがあると良いです。	女性	60～69歳
今まで通り、バス運行だと良いけれど、予約制だと、病院が予約通りにできなく、バス予約しても不便に感じます。今まで通りのバス運行を望みます。	女性	80歳以上
公共交通体制を見直して欲しいです。 バスを今までのように利用できなくなり、困っている人がいることを聞いています。 保育園、学校の統合により、通わせにくいと思うようになりました。 人数が増え、規制が多くなったように思えます。 先生との関りも少なくなったように思えます。	女性	40～49歳
質問に対しての答えにはなりませんが、常に感じることです。 住まいの問で、住んでいる地区が分かると思いますが、地区内では、夏、冬問わず年中、土や砂利を運んだダンプが走っており、常に道路が汚れている現状です。 また、道路の悪化も早く、自家用車で走っていても車はいつも汚れる。 タイヤが穴に当たらない時がないほど、穴だらけ。業者の方も仕事とは思いますが、走った後の清掃(定期的に)して欲しいと感じています。近所では、子供が砂利で滑って転んでしまうとも聞いています。なんとか、町と連携して住み良い、走りやすい環境を維持していただきたいと強く願います。	女性	50～59歳
道路の整備はできている所もありますが、まったく整備や直しが出来ていない地区があります。 47号沿いの道路は大丈夫ですが、集落の道路は狭いままなので、何年後にくるとは聞きましたが、通りにくかったり、道が狭いことで、安全性に欠けている気がします。	女性	18～29歳
企業誘致や災害時の避難場所はどこになるのか。 高い場所などなし、道路も47号一本のみでどこにも行けない。 Uターンする若者が最上の魅力をそう感じているか？ 大洪水になったときはどこに逃げる？	男性	80歳以上
・歩道の割れ目が多くなり、草が生えすぎている。 ・高齢者の為、小学生も少子化により一人二人の下校になる時もあるため、迎えが困難になり、バス通学にして欲しいと願います。	女性	70～79歳
・瀬見地区の雪対策を行って欲しい。 特に国道沿いは道路に雪を出す人が多く、車で通ると危険を感じる。流雪溝の設置等の対策をしてもらいたい。 ・大型ショッピングモールの誘致をして欲しい。 最上町は自然豊かでいいところではありますが、ショッピングモール等の施設がなく、休日は山形市や庄内地域に出かけることが多いです。 家族連れや友人等でにぎわう場所が近くにあると良いかと思います。また、雇用や人口減少の対策としても有効かと思います。	男性	18～29歳
今後歳を重ねるうえで、雪寄せるのも大変になり、スノーダンプを使うのも大変です。 今年は暖冬だったけれど・・・家の前の雪よせ誰かしてくれないかなぁ―と思います。 冬がくるのが怖いです。	女性	50～59歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
まちづくり		
老夫婦ですので、目に見えるまちづくりをお願いします。 最上町に限らず、大変な時ですから、高望みせず、足元を確実に歩むことです。	男性	60～69歳
町の魅力を全国へ発信して、「この最上町に住みたい」と思える。 うまれた子供がこの町に残りたい。といえるまちづくりを目指していくべきだと思います。	男性	18～29歳
赤倉温泉、瀬見温泉とありますが、お客様をもてなす際に、宿泊施設は別としても景観が悪すぎると思います。 旅館から見える空き家、空き地、道路…リフレッシュしようとするお客様が見る景観では無いと思います（どこの温泉地もそうですが） 瀬見、赤倉の日帰り入浴施設は綺麗ですが、周辺をもっと綺麗にできないでしょうか？ 子育ての点から、町民体育館の使用ももう少しかと思います。 同じ規模の体育館は、運動以外にも雨天時の学校行事やイベントにも必要かと思います。（災害対策としても） また、スポ少等での親子イベントの話をすると必ずバーベキューという話ができます。 屋根付きの広場があると雨天を考えずに芋煮会やバーベキューなど利用でき子育ての中心となる野外施設になるかと思います。 若者家族では、子育て＋飲み会で横展開になるかと思います。 缶ビール？ありで何でも使える屋根付き広場をお願いします。	男性	40～49歳
百万人交流を掲げているが、実際町民で感じている人はいるんでしょうか？ もっと町民が活き活きできるようなまちづくりを目指して欲しい。	男性	30～39歳
少子高齢化が進んでいる今日ですが、最上町で就職したいと言って県外の大学に進学し、いざ、卒業という段階になったら、最上町で働けないという現実に直面し、親も子も戸惑いをかくせない状況です。 町長は若者に頑張ってもらわないとといういつも口に出していますが、若者が、働ける魅力のあるまちづくりをして欲しいと思っています。	女性	60～69歳
最上町のために、一生懸命にまちづくりに取り組んでいてくださると思います。 正直、町民の1人としてもっと意欲的に情報収集したり、いろいろなイベントや、企画など興味を持ち、勉強しなければと思いますが、中々自分の生活に追われ、多方面に目を向けられずにいる現状です。 私個人として思うことは、やはり今後、高齢化社会となっていく現実に若い人や子供が少ない中元気な高齢者になり、お互いに助け合っていかなければと思います。 若い人だけでなく、年を取っても働ける人には、仕事のできるような対策や、最上町は幸いに災害の少ない住みやすい町ですが、冬の雪への対策だと思います。 高齢者になりますと、雪の片づけが何より心配です。 そう言った事への充実した対策などを考えて欲しいと思います。 自分の老後はもちろん自分の努力も必要ですけれど、後は医療の充実だと思います。 増々の最上町の町民が住みやすく、元気で生きていけるようにお願い致します！	女性	60～69歳
安定した収入がある生活ができれば、まちづくりのいろいろな問題がよくなると思います。	男性	60～69歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
まちづくり		
これからの世の中は、SNSの発達により在宅(テレワーク)での仕事が可能であり、それが全国的に広まってくるでしょう。 地方や家庭で仕事ができる整備づくりや、人の受け入れ環境の整備を、「人マネ」や「他の自治体のマネ」でなく、最上町独自のやり方を研究し、発達していくころが大切だと思います。 よく「魅力のあるまちづくり」と言われていますが、外から遊びに来る人のための魅力ではなく、そこに住んでいる人々が「魅力ある町だ」と思わなければ本物ではないと思います。 上記を充実するための具体的なアイディアと方策を研究していかねばならない。 そのための一例として ・広く町民からアイディア・方策を募集し、採用されれば何らかの還元をする等々	男性	60～69歳
1.人が元気 2.地域が元気 3.産業が元気 この中で人が元気でなければ地域も産業も元気でなくなります。 【人口減少対策、少子高齢化、産業振興のための仕事、若者雇用対策(地方離れ対策)】 最上町の人口減少にならない為のまちづくりを考えなければと思います。厳しい問題だと思います。	女性	60～69歳
東根や天童が人口が増えているのは、若者が希望する職種が多いからだと思う。 当町の場合、それをモデルとするのは無理があると思うが、出来るだけ若者が希望する職種と言う事を最大限考えるべきだと思う。 特に若い女性の働ける職場の確保というのが町の活性化発展のキーポイントになると思う。	男性	70～79歳
まちづくりの提案はとても良い事なのですが、行動面が少し足りないような気がします。 もっと町と町民参加によるまちづくりを考えていく事が大切だと思います。	女性	70～79歳
やはり、若い世代の人達の活躍の場、働きやすい環境、住みやすい環境、新しい発想と未来構図をどんどん意見を出し、改革が必要だと思います。 色々な場面での世代交代。。。等… 若い人達が前に出れません。別に先輩達を踏んで上に立つという事ではありません。継承して育てていくという事も必要です。若い人を育てていく為には、何をすれば良いかという事も、現実にとらえ、どうすれば人口減少を食い止められるのかを、早急に結果を出さなければ、減っていく一方です。 たくさん考えて、たくさん時間をかけて、最上町の為に一生懸命働いている方、ありがとうございます。このアンケートで私は、少ししか伝わっていません。申し訳ないです。ネットやSNSを利用して、もっと興味を持てるまちづくりを期待したいと思います。	女性	40～49歳
最上町の10年間の主なまちづくりの歩みに、尽力された関係者皆様に御礼申し上げます。 メインテーマの総合計画を実現のための基本方針から4までの施策はまちづくりにとても重要であると思います。 私が特に思うことは高齢者が一年毎に増加しているのが実態だと思っています。 調査の問いにもありましたが、暮らしの中での介護等の高齢者(老後)の生活に対する不安が一番心配です。 町でも安全で安心して暮らせる「まちづくり推進」のための、支援事業を行っていますがこれからも各事業のより一層の充実と継続をお願い致します。	男性	60～69歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
まちづくり		
昨年より最上町に引っ越してきました。 日頃の町の取り組みについてよく理解できておらず申し訳ありません。 町民のためこれから町を支えていく子供たちのため、より良いまちづくりをお願いします。	女性	30～39歳
人口減少は予想を上回る早さで動いており、くい止める事が先だと思います。 中心部だけではなく、集落の支援こそが大切だと感じ所です。	男性	70～79歳
未来を担う子ども達を大切にしたまちづくりに、もっと力を入れて欲しい。 小学校の閉校、保育園・保育所の閉園や閉所で子どもたちの心の負担を考えて欲しかった。 登下校時、安全に帰れるように大人が立ったり、危険な場所がないかしっかり調べ整備して欲しい。要望をしっかり受けとめて欲しいと言っていた方もいました。 期待しています。よろしくお願いいたします。	女性	30～39歳
コロナ禍への対応お疲れ様です。 町報にあった「行政と地域住民が車の車輪のごとく」という方針には賛成ですが、以前から言われて来た割に実際はあまり進んでいないように感じます。 (行政に対し)地域側でまちづくり計画を立てるのは、現状では町内会が中心となっていますが、こちらの場合、町内会は行政の下請け的な役割が強く、公益性に拘るあまりに、思考や活動が硬直化しているように思います。 勿論、町内会が地区で担う役割は大きいですが、広義の「まちづくり」に関しては柔軟に動ける別の組織があっても良いと思います。 また、行政とは話が違うかもしれませんが、町議会の女性比率がゼロというのも、この町の民主主義が発展途上であることを示しているのではないでしょうか。 もう一つ、親族にオストメイト(人工肛門)の者が居ますが、その様な人が利用可能なトイレが町内に殆どなく、不便に感じているとのことです。 他所の人気の観光地に行くと必ずその様な多目的トイレがあり、綺麗に維持されています。町内は赤倉温泉駅や瀬見温泉駅など観光地の玄関となる駅のトイレを含めしっかり整備していただきたいです。よろしくお願いします。	男性	30～39歳
町の活性化に力を入れて欲しいです。 観光客が増えるように。町全体を総合的に観光出来る様な工夫をしてみてはどうでしょうか。 例えばバスツアーにして、温泉付き前森高原・温泉付きなたぎり峠散策・温泉、食事付き赤倉温泉スキー場とか。 観光客が増えることで子ども達も自慢できるふるさとに感じるのではないでしょうか。 それと、各地域で花火大会をしていますが、最上祭りだけにしてもっと盛大に見ごたえのある花火大会にして欲しいです。 最上町内外から沢山の人が集まれば経済的にも良い影響があると思います。	女性	40～49歳
・若い方の考えを欲しいづくりに反映させて欲しい。 (若い町職員の声を反映させて欲しい) ・若い方々の声を出させて欲しい、聞いて欲しい。	男性	70～79歳
観光に力を入れて、最上の名所が出来て、お客が増えて、仕事が増え、若者の定住して、町に活気が出来ればよいと思う。 また老人ホームなどがもう少し大きい物が出来て、これから高齢者が増えるので病院もふくめ充実すればよいと思う。	男性	80歳以上

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
まちづくり		
高齢化が進んでいる今、少しでも長生きして安心して毎日が過ごせること。 ・集落から町への交通手段 ・移動販売 ・家族が安心して外出が出来る様、短期入所施設等(特老はまだまだ空きがなく待機者が多い) 最上町に里帰りしても、子供も大人も屋外で遊べる場所、休憩場所等、外でゆっくりする所がない。特に向町。 ・絹出川河川の整備、公園等 昔の様に気軽に最上町に帰ってきて欲しい。	女性	70～79歳
第4次総合計画を改めて読ませていただきました。 基本方針の1.2.3は基本施策がしっかりしており、取組概要は大変的確であったと思います。 今後の課題としては、町民の人口減をいかに食い止めていくか、むしろ人口増をいかには図っていくかがこれからの課題ではないでしょうか。 当町には幸い、前森高原(牧場)という大自然があります。現在の牧草地をいかに高活用していくかが問題です。 大胆に、中央の方から自動車産業(ホンダ、日産、スバル)などを誘致して、人口増をはかり町全体を活性化する考えです。 短期間では難しいかもしれないが、町全体の活性化人口増を願って頑張っていけばよいと思われます。	男性	80歳以上
・高齢者が冬の豪雪におびえず住み続けれる町 ・通院や買い物弱者に対応する手立て ・特産物の開発と宣伝 ・観光の目玉づくり(風景・行事・歴史・食・おもてなし等) ・文化財の整理・保管・展示 ・若者が楽しめる場づくり(スポーツ・音楽、交流の場)	男性	80歳以上
日々、まちづくりに努力されてる職員の皆様には心より感謝申し上げます。 年代、性別、地域の違いなどでアンケート結果も違ってくると思われますが、どの項目を見てもとても重要で、大事な事ばかりだと思いました。 満足度を考えると、あまり分からないことや気付かなかったことがあり、改めて町の発展の為アイディアを出したり、より良い方法を考えていただいていることに気づきました。 日々の生活に精一杯で身の回りや関心のあることは理解できても、分野が違ったり関心が薄かったり、気付いていない人も多いのではないかと感じます。 年を重ねる毎に将来に不安を感じるようになってきましたが、最上町で楽しく暮らして行けるよう、みんなで協力し合って幸せな生活がおくれることを願っております。大変ご苦労様です。	女性	60～69歳
文章などでは表現されているが実際、理解できる内容が少ない。 具体的に何を行っていたのか分からない。 今後どのようなまちづくりを行っていくのか、もう少し分かりやすく具体的に表現出来ませんか？	女性	30～39歳
今後単身で生活をする高齢の方が増えてくると思います。 自宅では生活が大変な方が共同で生活出来る様な場があればよいと思います。例えば、陽だまりの家のような所がもっと増えればよいと思います。	女性	60～69歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
まちづくり		
・基本計画に基づき、着実に進めてきていると思います。 ・子供～老人に至るまで、住みよい暮らしやすい最上町であって欲しいと思います。働ける人たちが全て仕事に就ける様な環境づくりが大切だと思います。	女性	60～69歳
・瀬見温泉、赤倉温泉が今よりもっと活発に人が集まってくれるようなところになって欲しい。 ・子供を育てやすい町になって欲しい。 ・認知症の方も住みやすい町になって欲しい。	女性	30～39歳
大石田町、尾花沢には整備された図書館があり、利用する学生が大勢います。 テスト期間中は図書館に座れないこともあります。 最上町には図書館があっても利用している人が少ない。 子供の時から図書館を利用することがなかったからかもしれないが、学力向上させる一つのきっかけになるのではないかと思います。	男性	40～49歳
町民の声を聞き、それが前向きに活かされる町であって欲しい。 集会はとにかく区長、民生委員の方々で、その方々から町民に伝わらないような気がします。自覚の持てるまちづくりのできる何か良い案はないのでしょうか。 高度な医療を受けるためには遠距離で不便。JRも新幹線の乗り継ぎに不便。 だけど、「こういう楽しく生きられる町」になれば、町を離れる人は少なくなると思います。 老いも若きも、娯楽を求めているのは事実です。町民も楽しめる観光地作りをぜひ着手してみてください。観光地は、後世に残るものであり、経済活動の拠点になるはずです。	女性	50～59歳
一人ひとりの余裕がなければまちづくりはできません。 親が90歳、そして私達が60歳、子供が30歳、孫が3.4歳。つながりは私達60歳で終了。 一人になるのを待って終わってしまう家族の多いこと。 コロナの中、遠くの子供たちは帰ってこれず、自然豊かな最上町はただの灰色になってしまっては悲しすぎます。 最上町の良いところは、自然豊か。最上の人が楽しめる農産物、もっとハイカラに。老人もハイカラに。 人が居ないのだから1か所を濃く楽しめる場所、お金をかけて、そこは田舎の都会。 1日遊んで、落ちついて、なごんで、キラキラになって明日が楽しくなる。最上町に住み続けたくて不安で不安で仕方がない。よい最上町にしたいですね。	女性	60～69歳
学校の統合化を進めているかと思いますが、大反対です。 子供の声が聞こえなくなった集落は、シーンと静まり返り、活気がない。交番も撤退。あちらこちらに校舎の廃墟が目立ちます。 そんな場所で、若い夫婦たちは、住みたい、ここで子育てしたいと思うでしょうか。 何でもかんでも一緒にというのはどうかと思います。 旅館の立て直しも、廃墟になってからでは遅いと思います。せっかく素晴らしい源泉があるのにもったいないです。 良い企画があってもすぐに打ち切りごめん。そんなのつまらないです。 大人の声だけでなく、子供の声や子育てしている人、地域のお年寄り、みんなの声をよく聞いてみてください。宜しくお願いします。 子供の声が賑わう部落に私はずっと住みたいと思います。	女性	40～49歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
まちづくり		
町の活性化を促すには、若い人の心をどうやって町に関心を持たせるかが大事だと思います。山形県内でよく「住みたい町ランキング」の上位にいる、東根市や天童市をみると、若者をターゲットにしたまちづくりが盛んに行われています。 特に子育て世代をターゲットにしたまちづくりが施設の増設や、イベントなど、多くの魅力あるまちづくりが積極的に行われておりとても羨ましく思います。 最上町でもこれまで色々なことをしていますが、どれも中途半端な感じがして、残念に思うことが多々あります。 20年近く前に嫁いできてからずっと思うことは、図書スペースのあまりの酷さです。 幼児本を別の場所に分けたときは、酷くがっかりしました。 大人と子供、それぞれが好きな本を読みたいときはどうしたらよいのでしょうか。一緒の空間で異年齢が過ごす時間が大事だと思います。 そして学習スペースが全くないことも、とても残念です。 これは、町として学力を伸ばすことを放棄しているようなものです。 スペースがあったとしても、それだけでは人は寄り付きません。いい環境を整えてこそ、利用価値が上がるのです。 西公園の活用方法や他にもいろいろと意見はあると思いますが、またの機会にしたいと思います。 若者定住の家賃はもう少し安くしたほうがいいと思います。空き家を借りて住んだほうが、よっぽどよさそうだし、町営住宅とか。	女性	40～49歳
どのようなまちづくりをしてきたのかよくわかっていませんが、道路の整備などしていて頑張っていると思います。 少しづつ無理のない程度で、取り組めるものから取り組んでいけばよいと思います。	男性	18～29歳
まちづくりが何なのか、あまりにも目に見えないのでコメントが出来ませんでした。 これから災害が多くなるので、旧小学校をなるべく利用することが大切な事かと思います。公民館はもちろんのこと。 災害時は、避難所として最高に利用するときには、必要な物もあればよいと思います。	女性	60～69歳
安全で住みやすいまちづくりを目指して欲しいです。	女性	50～59歳
今の現状では、「元気とやる気」を持つことが難しい日々です。 どのようなまちづくりを目指すどころか、毎日毎日コロナ情報です。	女性	80歳以上
満沢小学校が閉校した後、色んな人々が出入りするようになりました。 また、その前の家がゲストハウスといった色んな人出入りするようになり、防災の方で心配なものがあります。 本当に、ここに来た人が、見たこともない人が多くなったので、恐ろしものがあります。 何とかしてもらいたいです。 満沢の道路に袋入りのごみを投げていく人が多くなったように思います。	女性	60～69歳
児童館などの利用を充実して欲しい。 保育園小学校の放課後、町の施設(町民体育館、旧小学校の体育館、グランド)を利用して、子供たちを思いきり遊ばせて欲しい。 スクールバスなどを利用して送迎し、有料でも良いと思う。	男性	40～49歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
まちづくり		
なでしこクラブに参加したいのですが、平日・日中の企画だが多く、平日の夕方、もしくは土日とかの企画だと、お勧めしながら参加できるのですが。	女性	50～59歳
屋内スポーツは、西公園体育館が使えない状況なのは痛い。 バスケやバレーなど室内競技が行うことができない状況です。 そうなるとほかの市町村で大会を行うことになります。なんとかならないかと思っていました。 西公園体育館の改修は無理だと思いますが、違った形での施設があればよいと思います。	男性	40～49歳
生活していて、ワクワク、楽しく愉快でほのぼのとする町が理想です。 そのために、町民一人ひとりが豊かな心にならないとダメですね。	男性	60～69歳
若い人を大切にするまちづくり。	男性	50～59歳
若い人の意見を聞く機会。若い人の意見を取り入れる機会。 どうしても、まだまだ元気なお年寄りに対して優先されていると感じている。	女性	40～49歳
温泉があるのに、何も呼び込めるものがないのが残念です。	女性	50～59歳
向町中心のまちづくりに見える。 学校がなくなったことにより、地域に元気がなくなったように見える。 旧小学校に職員を置いて、何をすることがあるのか、わからない。	女性	50～59歳
保育園での様子がわからずに、どのように園での生活を送っているのか知りたい。 昨年は東根の保育園に預けていたので比べてしまいます。 前の保育園だと1ヶ月ごとに園での生活している様子を見て知っていました。また、保育園のホームページもありました。 こちらの保育園は、ホームページも、写真の購入もないのかと思ってしまいます。 また、英語も3歳から保育園で学習がありました。遅れていると感じます。 毎月のメールについては良いと思います。 まだ住んだばかりで、子育てについて分からない事ばかりですので、交流の場を広げて欲しいです。近所付き合いは良いので住みやすいと思いました。	女性	18～29歳
町内の公園が充実して欲しい。(遊具の手入れや、遊具の増加)予算にもよりますが・・・少しでも何かあれば子供たちも遊びやすいと思います。 若者に限らず、働きやすい環境づくりが大切。	女性	18～29歳
一人ひとりの個性を活かした、みんなが住みやすく、平等なまちづくりをしてほしい。 温泉施設に特化してほしい。鳴子温泉と連携して、特別なサービスをして欲しい。	男性	18～29歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
まちづくり		
小さい子供がいる家庭でないので、子育て環境についてはよく分かりませんが、高齢者に関することよりも充実しているのではないかと感じます。 就労できる期間があと数年と考えると老後が不安です。 集まれる場所があっても出向けない、手段がない。雪国での生活や家屋の維持等。	女性	50～59歳
緑豊かな最上町、災害の少ない住み良い町だと日々感じておりますが、冬の雪に対して、流雪溝の整備が願いです。 私事になりますが、義母が骨折し、介護認定を受けることになり、介護施設のお世話になるようになり、介護士の方にも助けていただいております。 施設もこの2年で4ヶ所移動しているのですが、どこの施設でも大変良くしていただき、本当に心から感謝しております。が、介護士の不足、また、待遇を考えますと本当に気の毒に感じております。 私はもっと福祉に対しての配慮が必要だと思います。	女性	60～69歳
今後の未来が明るく、希望が持てるような町にしていただきたい。 日々、毎日が変わりつつあるので。	女性	50～59歳
コロナが収束したら、インバウンド招致の充実、冬の観光を整備し、海外のお客様に非日常的を提案できる「イベント」や名物になる催し物などを開催できるまちづくりがもっとできればと思う。	男性	50～59歳
最上町が進めてきたまちづくりは、概ね頑張っていると感じます。	男性	40～49歳
最上町に移住したいと思えるような対策・まちづくりを目指してもらいたいです。	男性	60～69歳
皆様大変頑張っておられると思いますが、今後も継続したまちづくりを目指して欲しいと思います。 また、今後の課題として、高齢者が自動車免許証返納後のフォローの充実、若者の雇用の場を増やすこと、老若男女の健康意識を高め健康寿命を延ばすための意識改革、特に高齢者のための移動スーパー等の開設などのまちづくりを目指して欲しいと思います。	女性	60～69歳
自分の持ち家ではないので。 あとは最上町の土地代がいくら位なのか分かりませんが・・。 町内いたるところに土地はあるので、値段は気にせず好きな地域に誰でもマイホームを建て、住みやすい環境があれば、向町の一部だけでなくとも田舎に住みたいと思うような人が住みやすくなるのではないだろうか。土地代を安く！！ 大型工業、企業に使ってもらえば、人の動きも変わってくると思う。 働く場所も確保できるし、便乗した商業も発展されるのではないだろうか。 子供を育てるために、両親共働き。子供のスポ少や部活の応援や送迎。仕事⇔家庭⇔子ども・・。 地域活動に参加する余裕がないのが現状である。 町内で買い物することしか町に貢献することができていない。 働きながらも苦に感じないで地域行事などに参加できるような関わりを持てるよう一緒に考えていけたらよいのかなと思いました。	女性	40～49歳
前森高原といういいところがあるので、何の花でもよいのですが、花の種をまいて、誰でも気軽にこれる場所であって欲しい。	女性	60～69歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
まちづくり		
今世の中がコロナコロナで大変なことになっています。 私は最上町に住んでのびのび暮らしています。のびのびして暮らすのが最高！！ コロナの影響で若い人たちが田舎暮らしを考えてくれればよいのですが。 私個人で思っていることですけど、でもそれには安心して子供を産んで育てられる環境また若い人の働く場所が必要。 町から子供たちの声が聞こえないのは寂しいです。私たち高齢者も子供たちの声で元気になれます。 メインテーマの、人が元気・地域が元気・産業が元気。こんないいテーマがあるので、みんなで頑張って安全で安心して暮らせる最上町にしていきましょう。	女性	60～69歳
約50年暮らしてみて、若い時は若者向けのイベントが沢山あり、早くから高齢者向けの病院、施設等、設備が整い、老若男女、各々に暮らしやすい町と思いながら過ごしてきました。 全国的に少子高齢化が問題視されている中、最上町はどう対策をとっていくのか心配です。 目指すことは、ほとんどの人が暗中模索の状態なのではないかと思うのですが・・。 このようなアンケートを何回も書いているうちに、どなたかいい発想、意見、考えが出てくるように思いますがいかがでしょうか？	女性	70～79歳
住みやすいと言っても一番が健康です。 でもいくら田舎といっても立派なスポーツクラブが欲しいです。 月楯の廃校した学校をまちづくりとしてスポーツクラブになって欲しいです。 そうなるともちろん働く人もいるし、健康の為通う人もたくさんいると思います。	女性	50～59歳
・百万人交流について、最上町でしか体験できないことに力を入れるべき（乗馬など） ・文化・芸術に対する支援。文化、芸術でのまちづくりという視点が弱い。	女性	40～49歳
夏は涼しく住みやすいと思いますが、冬に雪が多いとき、夫が雪はきを頑張ってやっているが、老人2人ではなかなか大変です。 雪はきの人を頼んだりしていますが、その時、町からの補助があれば良いです。 若い方は出会いの場を多くして、こちらにおよめさんに来てもらい人口を増やして欲しいです。	女性	70～79歳
安心安全まちづくり対策 想定を超える100年に一度あるかの自然災害そして被害、孤立につながる集落危機箇所の再検証。 避難スイッチは誰が？身近な人の呼びかけ、これまでの危機管理、ハザードマップなどの再構築。 また地域医療体制から他地域との総合医療体制の強化が必要かも・・・新型感染症パンデミック対策・町内企業による中高高齢者の雇用向上対策。	男性	70～79歳
町がどう変わってきているかの実感が持てないでいる。 町が持っている豊かな自然を生かし、町外の人から行ってみようとする気を起させる施策が欲しい。	男性	70～79歳
自分は、もう年なので、娘夫婦のことが心配です。自分の時は病院へ連れて行ってもらったり、色々な事で助けてもらってますが、私たちがなくなった後、娘夫婦も高齢になり、二人きりの生活。。。そんな老人世帯に住みやすい町にして欲しいと思います。	女性	80歳以上

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
まちづくり		
緑豊かで、綺麗な町なのに、町民のほとんどが町の魅力に気づいていないため、町民全体で良い町にしようなど、思う人も少ない。 町民（農業、町政、商業会福祉、医療、教育など）全職種が協力し合わなければ良いまちづくりはできないように思います。 それぞれが意見、面白いアイディアを出し、まちづくりをしていかなければ、人口減少に歯止めがかからないように思います。 私の具体的な案としては、 ★図書館が充実していない 本の量を増やしてほしい、勉強できるスペースを設けるなど。最上町にカフェがないので、パソコンを使って仕事をできるコワーキングスペースなどが欲しい。 wifiを充実させれば図書館の利用者も増えると思います。wifiに関してですが、wifispotが少ない。これじゃ、海外からの旅行者も増えないと思います。海外旅行者はwifi使うので。wifiの充実は必須だと思います。（公共施設すら整っていない現状です） せっかく、農家が沢山あるのだから「WWOOF JAPAN」に潜同してくれる農家の方に「WWOOF」のホストを募ってみたらどうでしょうか？ 町全体でウーフを盛り上げていけば、海外からのウーファーさんも来るだろうし、国際交流につながるし、ウーファーとして来てくれた方が最上町を好きになってくれて、定住につながるのではないでしょうか。私もウーフ経験者ですが、実際、海外の方や若者たちが沢山いました。農家の繁忙期には、収穫の際は、若者の力は本当に助かるはずだと思います。		
★せっかく空き家が沢山あるのだから「Airbnb」にホストとして登録してみたらいかがでしょうか？ 「Airbnb」で盛り上げていけば、旅行者も増えるのではないでしょうか。 今は、住所を持たないアドレスホッパーの方がいるくらいなので、その方に向け、長期滞在もすすめることができます。 また、今はコロナで在宅ワークも主流になってきたので、そういう方々に「定住」をすすめるのではなく、静かな環境で仕事をしたい方向けに期間限定の滞在をすすめた方が今の時代にあっていると思います。 また、「定住」ではないので、田舎に少しだけ、期間限定で住んでみたり、田舎暮らしを体験してみたい方々にぴったりだと思います。 なので、空き家を整備して「Aiebnb」に登録すればよいなと思います。 ★「生活インフラ」が整備されていない。 特に「水道」「下水道」です。下水道の整備は不可欠だと思います。 若者定住促進の前に、下水道を整備すべきではないでしょうか。 その次に、定住促進ではないでしょうか？ 新しい立派な施設を作るより、今あるものを、みんなで協力してリフォームしたり、目にみえるものでく、面白い企画を考えたり、アイディアを出し合ったり、人を育てることが大切なのではないでしょうか。	女性	30～39歳
★町に一つでも大きな集客力を持つ、「会社」「企業」「お店」を誘致するのはいかがでしょうか？ 極端ではありますが、「スターバックス」「コストコ」「IKEA」が誘致されるだけで、結構な集客力になるのではないでしょうか？ そのような大きな会社が誘致されると、住む人も増える、雇用も増える、周りにお店が出来てきて、経済も回る。何より人が増えるのではないでしょうか？ 会社誘致に力を入れてみてはいかがでしょうか？ また、あるものでいえば、「前森牧場」をもっと整備してみてはいかがでしょうか？ 町政と民間がもっと強力してみれば、例えばですが、最上町のウィンナーやお肉を使った料理が食べられるオシャレなイタリアンレストランや焼き立てパンが食べられるパン屋さんなどを作るなど、レストランが美味しければ、他県やほかの市からわざわざ来る人もいると思います。 例を挙げると那須高原は何てことない山なのに、最上町と似ているのに、町全体で、景観づくりをしていますし、オシャレなカフェなどもあり、成功しているので、そのアイディアを真似てみればいかがでしょうか。		

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
まちづくり		
第四次最上町総合計画・後期計画があることを初めて知りました。 最上町に住み始め5年以上経ち、少しずつ地域等が分かってきているところです。 第5次総合計画にむけては第4次総合計画をもとに、町民一人ひとりが主役になり、楽しいと思えるまちづくりを目指すべきだと思います。 役場からの声がけが少ないように感じます。 セミナー等はコロナウィルス感染もあり難しいですが、オンラインをいかし、最上町の特産物を使用したレシピ動画など配信するのも良いと思います。 職に限らず、楽器の演奏や、日曜大工の仕事、米作りなどなんでも良いと思います。 猫の駅長さん等も楽しそうですね。	女性	70～79歳
恒日、ご苦労様です。 今やっている事業、行事を続けていただければ良いかと思います。よろしくお願い致します。	女性	70～79歳
ご苦労様です。 少子高齢化が進む中、行政の皆さん、今後ともまちづくりよろしくお願い致します。	男性	50～59歳
不法投棄、ポイ捨ての項目ありましたが、人目につかないところは、監視カメラ設置するなど、するべきです。 山伐刀峠トンネル入口の側溝に大量の吸い殻を捨てる人を数回見ました。 高齢者だけの世帯の所、町としてどのようにフォローしてくれるのか、明確にしてほしい。 雪かき、災害時、避難を要するときなど、見えなさ過ぎて不安。 高齢者の為の、介護一歩手前の町営のシェアハウス、内に多目的、趣味を教養できる場を作るなど、他県、他市町村の良いところを見習うべき。 今までは働くところもなければ、雪も多ければ将来が不安すぎて、最上町には居たくないです。 仕方なくいるしかないので、全ての環境整備をお願いします。	記載なし	
一人で暮らすことを考えたとき、町内会に所属するとか考えられないし、働く場所もないし、賃金も低いし、一人暮らしに向かない地域だと思います。 それでは若者が離れていくのは当たり前と思います。 自分が一人暮らしを始めると考えたとき、地方都市のアパートに住むという選択肢しかないと思います。 最低でも夫婦でしか住めないかなと思いました。 二世帯、三世帯で済むのがあたりまえという風潮も古いと思います。 過疎化が進むということは住みづらいということだと思います。 これからも過疎化は進む一方だと思います。 高齢者も雪いっぱい降るし、町内会で集うなども大変だと思います。 社交的じゃない人間も大変住みづらいと思います。住む人を選ぶ地域です。	記載なし	
もっと楽しいと思える町にしてほしい。若者が住みやすい町に。	記載なし	

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
若者定住、雇用状態		
全国的に豪雨災害や地震災害がおきている中、最上町はどのような対策を取っていますか？ 子供達が進学卒業後、地元に戻っての就職先が無さすぎです。 高齢者へのサービスは充実していますが、若者への就職先等の充実をして欲しいです。	女性	40～49歳
若者の定住、働く場合	女性	60～69歳
若者が帰ってこれる最上町にして下さい。 雇用の場所、職場がないです。給料面も大切だと思います。魅力ある何かお願いします。	女性	50～59歳
若者の定住を図るには、雇用の場の確保が必要ではないか。 仕事のないところに人は来ない。博物館より仕事の場。	男性	80歳以上
自然を守りつつ、若者の定住しやすい雇用を充実させて欲しい。 災害対策や医療の充実も目指して欲しい。	女性	50～59歳
・若者が町を離れないで、住み続けていけるような職場の充実 ・高齢化がますます進むことへの福祉の充実	女性	60～69歳
・町内に希望する雇用の場が少ない ・子供の保育・教育環境 ・若者が住みたくなるまちづくり	女性	50～59歳
・子育て支援は他市町村と比べても充実している方だと思う。 ・結局、若い人は働く場所がなく出て行ってしまうのでは？ ・人がいなければ、何も始まらない…住み続けたいと思えるまちづくりが必要→働く場、住む場所(アパートとかあってもよいのにと思う…)	女性	30～39歳
人口については、若い人を多数増やすことだと思います。	女性	60～69歳
町内雇用の情報が、ほとんどないため、Uターンを考えている若者には不安でしかない。 また、超高齢化社会のため仕方ないと思うが、若者向けの飲食店やイベントがあってもよいと思う。 例えば飲食店を開業するにあたりの支援の充実化。 イベントをやるにあたり、ボランティア等の協力を促すなど、いずれにしても情報が少ないため、企画しても不安しかないので、SNSや紙媒体で情報をもっと発信してください。	男性	30～39歳
若者が働くところがたくさんあるとよい。	女性	60～69歳
若い人が安心して生活できるような職場があればよいのではないか。	男性	60～69歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
若者定住、雇用状態		
最上町は会社が少なく、働く場所がないため、どうしても出ていく人が多いと思います。 若者定住させたいなら、まず、最上町に働く場所を持ってくるようにお願いしたい。	女性	60～69歳
人口減少や少子化の原因は、若者の町離れにあるのでは。 原因として、働き場所が少ない。 あったとしても、基本収入が少ないなどがあると思う。 企業誘致や、優れた地場産業の企業対策が必要。	男性	50～59歳
働く場所がないのに、若者定住を進めるには矛盾を感じる。 生きていくには収入がなければ無理なので、農業以外にも雇用の場が必要だと思う。	女性	50～59歳
・若者が安心して勤務できる職場の確保。 ・税金をもう少し安くできないでしょうか？	女性	70～79歳
若者が働けるところが欲しいです。 そういう所がないので、若い人は町から出ていくのではないでしょうか。	女性	50～59歳
若者が働ける農業所得の確保(農業の法人化、会社化)で生活できる対策を進めて欲しい。	男性	70～79歳
難しいことはわかりません。 今年はコロナの影響でいろいろな方々か大変な思いをされていると思いますし、苦しい生活をされている方もいらっしゃると思います。 町の人口も減っているし、学校はどうなっていくのかなとか、観光はどうなるのかなとか、身近なことの思いはあります。 たくさんの職業があり、それぞれに発展してくれることを願っています。宜しくお願いします。	女性	50～59歳
企業を誘致し、若者の雇用の場を作り、若者の定住をはかり、人口の減少を少なくしたい。	男性	60～69歳
若い人たちが働きたいと思うような雇用の場がないと思います。	男性	50～59歳
これまで先立って進めてきたまちづくり、大変よろしいと思います。 また、若者たちの働くところも考えて欲しいです。	女性	70～79歳
若い人が働ける会社があればよいと思う。 コロナとか大雨とか不安がつきない世の中になってきました。 町民が心も体も元気になるような政策、声かけを希望します。	男性	60～69歳
町内に若者の働く場所が欲しいです。	男性	70～79歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
少子高齢化		
少子化の影響で現在は向町小学校と大堀小学校の二校になってしまったが、中学校になってから一つになるのは、遅いのではないかと思う。 現在の年中児は、大堀保育園で男子が一人だけなので、たびたびの交流があったとしても中学校で一人だけがまざるのは友達関係ができあがったところにまるっきり一人が入っていくというのはどうかと思う。 今までは多数の学校から中学でまざっていたのでたとえ一人だったとしても大丈夫だったと思うが、今はまるっきり二つの学校しかないので困ると思う。 そして少人数の学校で先生に十分手をかけてもらっていたギャップが出てくると思う。 そろそろ最上町も小学校一つにしてもよいのではないかと思う。	男性	50～59歳
高齢化のために、旧小学校をなんとか活用できないものか。 多額の税金をかけて新しいものを作っても、そのままではいけないのではないか。 町ではどんな考えなのか教えてほしいものです。 小学校、中学校にあいさつ運動を活発にしてもらいたい。 あいさつをしてもらって悪い気分になる人はいません。	女性	60～69歳
超少子高齢化、過疎化に伴い、様々な課題を解決するため、福祉の充実、子育て支援、若者定住、農業、産業、森の町、環境、サスティナブル、観光、などなどの様々な具体的取組みを分かりやすく推進していることに敬意を表します。 ただ、課題が多すぎるのか、何か一つ目玉となるようなものを中心に据えて、「わが町はこれを中心に、〇〇や□□の解決し、住みよい町を目指します」というのを打ち出してはどうだろうか。 「福祉を～の町」も良いのだが、何か目新しくて、町民がわかりやすく活力を得られるようなものを希望します。 それから、今一つ見えないのが、同じ課題を抱えた最上郡の他市町村との連携。 どんどん目に見える形で、助け合ったり、一緒に取り組んだり、共有できるところはしていくのはどうだろうか。 1つの町を大きな一つの町としてとらえていく方向で。	男性	50～59歳
高齢者が増えており、若い人への負担が心配。 高齢になっても生活のため、働く必要がある。 そのため、祖父母が子育て協力は難しくなっている。 「同居だから」では無理がある。 学童保育の時間を短くするのではなく、その月で、対応することも必要ではないでしょうか。中学生でも、一人で自宅にいるのが心配な子もいます。 「いこいの場」のような必要な場所があってもよいのではないでしょうか。 老人、子供が過ごせる場を・・・。	女性	30～39歳
私たちは、これから高齢者になるばかりなので、文章を載せるときは、あまり小さな字でなく、あまり立派な言葉でなく載せて欲しいです。	女性	60～69歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
少子高齢化		
今後、高齢化社会がさらに進んでいく事は避けられない事実です。 そのため、車の運転がノロノロになる可能性が高い。 国道の譲り合い車線の創設が必要だと思います。 時間があまりないこの状況で、すぐに出来ることからやって欲しい。	男性	70～79歳
超高齢化社会、少子化、若者定住は、日本に限らず、結婚＝子供の育成には繋がらず。 男女の出会いは学生時代からの継続であれば･･･。 若い人たちの、自分がこの世に生まれたと感謝する気持ちが大切。	女性	80歳以上
間違いなく高齢者が増えていくというのに、病床はあっても人手がなく、引き受けることができないという施設の状況は早く改善すべきだと思う。 残った家族が町内なら安心して面会に行ける。 また、保育園も本当なら6時ごろ、せめて5時ごろの迎えを通常として欲しい。 若い夫婦が安心して仕事ができるよう、今後、必ずしもじいちゃんばあちゃんが迎えに行けると限らなくなると思う。 町外で働く人も増えていると思う。 まずは、最上の未来を担う子供たちと増える高齢者の福祉の充実。 最上に住み20年以上になる。20年前に比べて若い世代の地元に対する関心が薄れていると感じる。それが残念でならない。 最上が一番よいところと思っていたので、郷土愛は自然と湧いてくるもので、周りが作るものではない。	女性	50～59歳

15.ご自由にご意見をお書きください。 （これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止めておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？）		
幼稚園・学校関係		
学校の統合には、賛成しましたが、学習に不満があります。 学校の先生方も大変なのは十分にわかるのです。 今後、学校の先生の人数を増やすなどの対策をしていただきたいです。	男性	30～39歳
子供たちが進んで学校に行きたくなる教育ができればと思います。	男性	50～59歳
子供は国の宝や町宝でしょう。 小学校に子供がいないこんな町で、私は子供のいない町なんか本当に残念です。 祭りやなんでも子供がいないと力が出ません。	男性	50～59歳
小学校運営の効率化のため、統廃合をやむを得ないが、出身地域で教育を受けられないため、愛着が湧くだろうか。 出身地域でも子供の声を聞かなくなり、寂しく思っているのではないか。	男性	50～59歳
その他		
大変よいと思います。	男性	60～69歳
特にございません。町民全員で頑張りましょう。	男性	60～69歳
町民のために努力をお願い致します。	女性	60～69歳
それ以前にこのアンケートについて、お年寄りには文字が小さくて読みにくく、記入が困難です。 アンケートとして・・・まずそこが問題ではないのでしょうか？（代筆者より）	女性	80歳以上
笑顔のたえない町でありますよう	女性	60～69歳
隣り近所仲良くなれるよう皆で頑張ろう	男性	80歳以上
色々頑張ってくださっているのだと思いますが、目に見えること、実感することが少ないため、よく分かりません。	女性	40～49歳